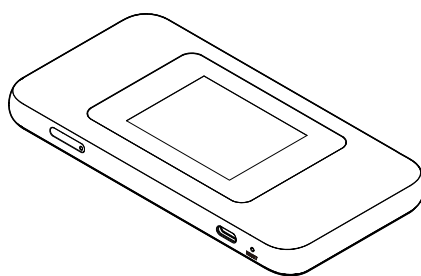


Speed Wi-Fi DOCK **5G** 01

User Guide 取扱説明書 詳細版



電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明取得

電気通信事業法に基づく技術基準適合認定取得

ごあいさつ

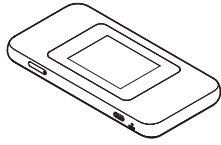
このたびは、Speed Wi-Fi DOCK 5G 01（以下、「本製品」または「デバイス」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に『取扱説明書 詳細版』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。

本製品の取扱説明書として、同梱の『つなぎかたガイド』および『ご利用にあたっての注意事項』、『取扱説明書 詳細版』（本書）をご用意しています。
本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

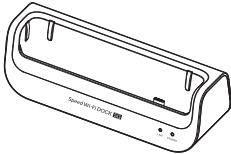
同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱品がすべてそろっていることをご確認ください。

☐ Speed Wi-Fi DOCK 5G 01本体



☐ ドック



☐ つなぎかたガイド

☐ ご利用にあたっての注意事項（保証書）

☐ SIM 取り出し用ピン（試供品）



※ 保証書を含め同梱品は大切に保管してください。

※ 充電用機器・USB ケーブル・Ethernet ケーブルは同梱されていません。指定の充電用機器（別売）・USB ケーブル（市販品）・Ethernet ケーブル（市販品）をお買い求めください。詳しくは、「10-4 周辺機器」(▶ P.92) を参照してください。

※ 電池は本製品に内蔵されています。

※ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■ 『つなぎかたガイド』、『ご利用にあたっての注意事項』

初めてお使いになる前に必要な情報や注意事項を説明しています。

■ 『取扱説明書 詳細版』（本書）

本製品のさまざまな機能や操作および設定をより詳しく説明しています。



■ 『取扱説明書』ダウンロード

• 最新の『取扱説明書』の PDF ファイルは、本製品の商品ページからダウンロードできます。

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/



※ UQ WiMAX ホームページからもダウンロードできます。

https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/



■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Setup Guide" and "Notes on usage" from the WiMAX Support Information website (available from approximately one month after the product is released).

• 『つなぎかたガイド』（英語版）と『ご利用にあたっての注意事項』（英語版）を本製品の商品ページに掲載しています（発売約 1 ヶ月後から）。

Download URL :

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/

※ UQ WiMAX ホームページからもダウンロードできます（発売約 1 ヶ月後から）。

https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/

■ 需要中文说明书的用户 中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

您可以在 WiMAX 支持信息网站上下载中文版的“设置指南”和“使用注意事项”（大约在产品发布一个月后提供）。

• 『つなぎかたガイド』（中国語版）と『ご利用にあたっての注意事項』（中国語版）を本製品の商品ページに掲載しています（発売約 1 ヶ月後から）。

下载网址：

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/

※ UQ WiMAX ホームページからもダウンロードできます（発売約 1 ヶ月後から）。

https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/

■ 한국어 버전 사용 설명서가 필요한 분들께 韓国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

WiMAX 지원 정보 웹사이트 (제품 출시 후 약 1 개월 후부터 제공) 에서 ‘설치 가이드’ 와 ‘사용 시 주의 사항’ 의 한국어 버전을 다운로드할 수 있습니다.

- 『つなぎガイド』(韓国語版) と 『ご利用にあたっての注意事項』(韓国語版) を本製品の商品ページに掲載しています (発売約 1 ヶ月後から)。

다운로드 URL:

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/

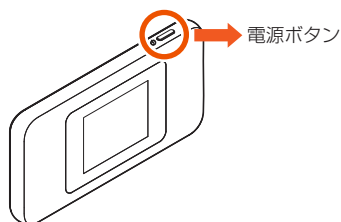
※ UQ WiMAX ホームページからもダウンロードできます (発売約 1 ヶ月後から)。

https://www.uqwimax.jp/wimax/support/guide/manual_download/

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

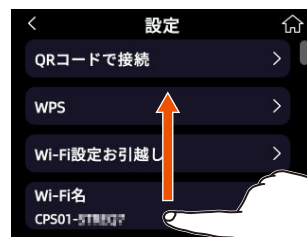
◎本書では、ボタンを次のように表記しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

【記載例】

ホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「デバイス情報」を表示する



■ 掲載されているイラスト・画面表示について

- ◎本書では「au Nano IC Card 05 U」の名称を「SIM カード」と表記しています。
- ◎本書は特に記載のある場合を除き、UQ の SIM カードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。
- ◎本書に記載されているイラストや画面は、実際の製品や画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎本書では「CPS01PUA / CPS01PUU ドック (同梱)」の名称を「ドック (同梱)」または「ドック」と表記しています。
- ◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ.....	1
同梱品一覧.....	2
取扱説明書について.....	2
本書の表記方法について.....	3
目次.....	4
注意事項.....	6
本製品のご利用について.....	6
安全上のご注意（必ずお守りください）.....	6
材質一覧.....	9
取り扱い上のご注意.....	9
無線 LAN（Wi-Fi®）機能について.....	11
電波障害自主規制について.....	12
各種暗証番号／PIN コード／PUK コードについて.....	12
データ通信料についてのご注意.....	12
マナーも携帯する.....	12

1 章 ご利用の準備

1-1 本製品の使いかた.....	14
ご利用になる前に.....	14
スマートフォンなどの通信機器との接続.....	14
1-2 各部の名称と機能.....	15
Speed Wi-Fi 本体.....	15
ドック.....	17
1-3 SIM カードについて.....	18
SIM カードを取り付ける.....	18
SIM カードを取り外す.....	18
1-4 充電する.....	19
指定の AC アダプタ（別売）を使って充電する.....	19
ドックを使って充電する.....	19
パソコンを使って充電する.....	20
充電時間.....	20
電池残量.....	20
ケアモード.....	20
1-5 電源を入れる／切る.....	21
電源を入れる.....	21
電源を切る.....	21
再起動する.....	21
強制的に電源を切って再起動する.....	21
端末をロックする／端末ロックを解除する.....	21
1-6 デバイス情報を確認する.....	23
デバイス情報の確認方法.....	23
WebUI 情報の確認方法.....	23
認証情報の確認方法.....	23
1-7 あらかじめ確認してください.....	24
接続端末の準備.....	24

2 章 基本操作

2-1 基本操作.....	28
タッチパネルの使いかた.....	28
ホーム画面を利用する.....	28
基本的な操作.....	29

3 章 無線 LAN（Wi-Fi®）接続／USB 接続

3-1 無線 LAN（Wi-Fi®）で接続する.....	31
ディスプレイメニューで Wi-Fi 情報を確認する.....	33
無線 LAN（Wi-Fi®）接続する.....	33
iPhone／iPad／iPad mini を接続する.....	35
スマートフォン／タブレット（Android™ 端末）を接続する.....	36
WPS 対応の無線 LAN（Wi-Fi®）端末を接続する.....	37
Windows パソコンを接続する.....	38
Mac を接続する.....	40

3-2 USB で接続する.....	41
USB 接続モードについて.....	41
Windows パソコンに USB で接続する場合.....	41
Mac に USB で接続する場合.....	41
3-3 ドックで接続する.....	42
ドックでできること.....	42
パソコン等を有線 LAN で接続する場合.....	42
ブロードバンドルーターと有線 LAN 接続して無線 LAN アクセスポイントにする場合.....	42

4 章 WAN 側回線の接続設定

4-1 WAN 側回線接続.....	44
新規にプロファイルを作成する場合.....	44
4-2 通信モードを切り替える.....	45
「プラスエリアモード」(+A) に切り替える.....	45
ネットワークモードを切り替える.....	45
5G SA 機能を設定する.....	45

5 章 便利な機能

5-1 5GHz 帯で利用する.....	47
5GHz 帯と 2.4GHz 帯を同時利用する.....	47
5-2 スマートフォンアプリを使う.....	48
「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」をダウンロード／インストールする.....	48
情報表示.....	48
アプリ設定.....	49
お知らせ機能.....	50
5-3 Wi-Fi 設定お引越機能を使う.....	51
設定方法.....	51
5-4 省電力に関する機能を使う.....	52
ディスプレイ設定.....	52
省電力機能.....	52
5-5 データ使用量の設定を行う.....	55
通知使用量.....	55
表示最大使用量.....	55
通知設定.....	55
5-6 その他の便利な機能.....	56
IP フィルタ機能.....	56
ポートマッピング.....	56
ブリッジモード.....	56
表示言語を切り替える.....	56

6 章 セキュリティ対策をする

6-1 セキュリティ機能について.....	58
セキュリティ機能について.....	58
暗号化.....	58
Wi-Fi 名非表示機能（Wi-Fi 名（SSID）の隠蔽）.....	58
MAC フィルタ機能.....	59
プライバシーセパレーター機能.....	59
アドバンスド NAT（NAPT）.....	59
不正アクセス検出機能.....	59
SIM カードをロックする／ロックを解除する.....	60
6-2 初期パスワードの変更に.....	61
WebUI でパスワード変更.....	61

7 章 工場出荷時の状態に戻す（初期化）

7-1 ディスプレイメニューでリセットする.....	63
ディスプレイメニューでリセットする.....	63
7-2 WebUI で初期化する.....	64
WebUI で初期化する.....	64
7-3 RESET ボタン（穴）で初期化する.....	65

8 章 機能設定

8-1 WebUI について.....	67
WebUI を起動する.....	67
WebUI のトップページ.....	67
WebUI にログインする.....	68
WebUI の詳細設定画面.....	68
8-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）.....	70
8-3 モバイルネットワーク.....	71
モバイル接続.....	WebUI ... 71
プロファイル管理.....	WebUI ... 71
通信モード.....	WebUI ... 71
ネットワーク設定.....	WebUI ... 72
SIM ロック管理.....	WebUI ... 72
8-4 LAN.....	73
DHCP.....	WebUI ... 73
DHCP 手動割当.....	WebUI ... 73
8-5 Wi-Fi.....	74
Wi-Fi基本設定.....	WebUI ... 74
Wi-Fi詳細設定.....	WebUI ... 74
ゲスト Wi-Fi.....	WebUI ... 75
プライバシーセパレーター機能.....	WebUI ... 75
Wi-Fi MACフィルタ.....	WebUI ... 75
PMF.....	WebUI ... 75
8-6 セキュリティ.....	76
MAC フィルタ.....	WebUI ... 76
IP フィルタ.....	WebUI ... 76
ポートマッピング.....	WebUI ... 77
DMZ 設定.....	WebUI ... 77
ブリッジモード.....	WebUI ... 77
8-7 管理.....	78
デバイス情報.....	WebUI ... 78
データ使用量.....	WebUI ... 78
USB テザリング.....	WebUI ... 78
省電力設定.....	WebUI ... 78
機内モード.....	WebUI ... 78
パスワード.....	WebUI ... 79
バックアップと復元.....	WebUI ... 79
ソフトウェア更新.....	WebUI ... 80
再起動／工場出荷時の状態に戻す.....	WebUI ... 80
高速起動.....	WebUI ... 80

9 章 本製品のディスプレイメニューについて

9-1 ディスプレイメニュー一覧.....	82
9-2 メッセージ一覧（ディスプレイ）.....	84

10 章 付録

10-1 ソフトウェアを更新する.....	86
ディスプレイメニューからのアップデート.....	86
WebUI 画面でのバージョンアップ.....	87
10-2 故障とお考えになる前に.....	88
10-3 アフターサービスについて.....	91
修理を依頼されるときは.....	91
補修用性能部品について.....	91
保証書について.....	91
アフターサービスについて.....	91
SIM カードについて.....	91
10-4 周辺機器.....	92
10-5 製品仕様.....	93
Wi-Fiルーター本体仕様.....	93
ドック仕様.....	93
10-6 データ通信端末の比吸収率（SAR）について.....	94
10-7 輸出管理規制.....	95
10-8 知的財産権について.....	96

商標について.....	96
10-9 索引.....	97

注意事項

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶ 右記）をお読みの上、正しくご使用ください。
 - ・故障とお考えになる前に、本書の「10-2 故障とお考えになる前に」（▶ P.88）で症状をご確認ください。
 - ・通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
 - ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、5G 方式、LTE 方式、WiMAX 2+ 方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
 - ・国外でのご利用可否につきましては、ご契約の通信事業者へお問い合わせください。また、海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
 - ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
 - ・「本製品の保守」と「稼働状況の把握」のために、お客さまが利用されている本製品の IMEI 情報を自動的に通信事業者に送信いたします。
 - ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の特性によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
 - ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。
- ※ 本書で表す「当社」とは、ご契約された通信事業者および製造元（CPSpeed株式会社）を指します。

- ◎ 接続する端末の OS の仕様変更やサービスの変更・終了等により、一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 『取扱説明書』の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 『取扱説明書』の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ 『取扱説明書』の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意（必ずお守りください）」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

※ 1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※ 2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※ 3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		濡れた手で扱ってはならないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ Speed Wi-Fi 本体、内蔵電池、ドック、充電用機器、SIM カード、周辺機器共通

⚠ 危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
- 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
- 接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れたり濡らさないでください。
- 濡れた状態や風呂場、加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
- 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
- 内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ ご注意いただきたい例
 - ・スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
 - ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む
- 分解、改造をしないでください。
- 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
- 火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 本製品の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。
また、内蔵電池の膨れなどにより、本製品が膨れている場合も、背面カバーを取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

- オプション品は、当社が指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりや砂などが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
- ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。
- 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
・ 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜く。
・ 本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、ご契約された通信事業者までご連絡ください。

注意

- 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。
SIMトレイやSIM取り出し用ピン（試供品）などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
データ通信など、継続しての使用や充電中は、本製品や内蔵電池・指定の充電用機器（別売）の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

Speed Wi-Fi 本体について

危険

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告

- 本製品の USB ポートや本製品内の SIM カードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やステープラーの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIM カードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切ってください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ディスプレイ部を破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
- ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

- ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、販売店などの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
- 内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

- SIM カードの取り外しの際は、指などの身体の一部を傷つけないよう、SIM 取り出し用ピン（試供品）の先端にご注意ください。
SIM 取り出し用ピン（試供品）の先端に触れると、けがなどの原因となります。
- 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
- 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」（▶ P.9）を参照してください。
- ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ ドック、充電用機器について

⚠ 危険

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 必ず指定の機器をご使用ください。他機器のドックなどは使用できません。
指定の機器以外を使用した場合、発熱、発火、破裂、故障、漏液の原因となります。

⚠ 警告

- 指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 雷が鳴り出したら、指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）には触れないでください。
感電などの原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）やドック、USB ケーブル（市販品）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 本製品に接続した指定の充電用機器（別売）をコンセントにつないだ状態で接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- コンセントに指定の充電用機器（別売）を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）に変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
- 本製品に指定の充電用機器（別売）を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）のコードや USB ケーブル（市販品）、接続端子、電源プラグ、ドックに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ベットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な充電用機器（市販品）で充電してください。
誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。
指定の充電用機器（別売）：100V AC（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能な充電用機器（市販品）：100V ～ 240V AC（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグと接続端子についたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

- 指定の充電用機器（別売）をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器（別売）のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、指定の充電用機器（別売）を持って抜いてください。
指定の充電用機器（別売）のコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 本製品に指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（市販品）を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。
また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 使用しない場合は、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したままにしておくと、地震や水漏れなどの予期しない状況で発熱し、火災ややけど、感電などの事故が発生する可能性がありますのでご注意ください。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。
- お手入れの際は、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

⚠ 注意

- コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器（別売）に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。
- 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」（▶ P.9）を参照してください。

■ SIM カードについて

⚠ 注意

- SIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内での使用について

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合、もしくは装着している方が周囲にいる可能性がある場合は、装着部から本端末を 15cm 以上離れるように携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。身動きが自由にとれないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくとおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードをオンまたは電源オフなど）。
- 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

< Speed Wi-Fi 本体 >

使用箇所	材質	表面処理
フロントカバー	PC 樹脂 + ABS 樹脂	塗装
背面カバー	PC 樹脂	塗装・レーザー刻印
SIM トレイ	PC 樹脂 + 繊維ガラス	塗装
電源ボタン	PC 樹脂 + ABS 樹脂	塗装
ディスプレイ部	ガラス	

< ドック >

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース	PC 樹脂 + ABS 樹脂	
Ethernet ポート	ナイロン、銅	ニッケルメッキ
ドックポート	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
LED ランプ	PC 樹脂	
フロントカバー上の緩衝部	TPU 樹脂	
バックカバー上のゴムパッド	シリコン	

< SIM 取り出し用ピン（試供品） >

使用箇所	材質	表面処理
SIM 取り出し用ピン（試供品）	ステンレス鋼	研磨

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ Speed Wi-Fi 本体、内蔵電池、ドック、充電用機器、SIM カード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- また、外部機器を外部接続端子に差しした状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度 5℃～ 35℃、湿度 35%～ 85%の範囲内でご使用ください。）
- Speed Wi-Fi 本体とドックの着脱を連続して何度も繰り返すと故障の原因となります。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 消毒液や除菌シートなどで拭くと、変色や変形、外装の印刷が消える原因となる場合があります。また、消毒液を本製品の近くで使用すると、本製品内部に消毒液が入って、故障の原因となることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通信中や充電中など、ご使用状況によっては Speed Wi-Fi 本体やドックが温かくなることがありますが異常ではありません。
- Speed Wi-Fi 本体が高温になった場合、保護機構が働き、自動的に電源が切れることがあります。その際は、しばらくしてから Speed Wi-Fi 本体の電源を入れ直してご使用ください。
- Speed Wi-Fi 本体をドックに取り付ける際、押しつけたり無理な力を加えないでください。Speed Wi-Fi 本体およびドックの傷つきおよび接触不良の原因となります。
- Speed Wi-Fi 本体のディスプレイが点灯した状態や通信状態でも充電はできませんが、充電時間がやや長くなります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 充電中に屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。

- お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品のお客さまによる分解や改造、修理しての利用は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの操作はしないでください。自動車・原動機付自転車・自転車運転中の操作は法律で禁止されています。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ Speed Wi-Fi 本体について

- Speed Wi-Fi 本体の電池は内蔵されており、取り外すことはできません。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃を Speed Wi-Fi 本体に与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された Speed Wi-Fi 本体は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。Speed Wi-Fi 本体は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として、「[適マーク]」が本製品のディスプレイで確認できるようになっております。
- 【確認方法】：ホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「デバイス情報」－「認証」で、認証情報を表示
- Speed Wi-Fi 本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明および技術基準適合認定が無効となります。技術基準適合証明および技術基準適合認定が無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を Speed Wi-Fi 本体に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、Speed Wi-Fi 本体内部に水滴が付くことがあります（結露といえます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- USB ポートに外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常は SIM トレイを取り付けた状態で使用してください。SIM トレイを取り付けずに使用すると、Speed Wi-Fi 本体にほこり・水などが入り故障の原因となります。誤って内部にほこり・水などが入ったときは、Speed Wi-Fi 本体の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- Speed Wi-Fi 本体内部の SIM カードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、Speed Wi-Fi 本体の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 砂浜などの上に直に置かないでください。Speed Wi-Fi本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、Speed Wi-Fi本体の電源を切り、ご契約された通信事業者までご連絡ください。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・手袋をしたままでの操作
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・水中での操作
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運び際は、タッチパネルに金属などの導電性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について



（本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならないときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 長期間ご使用にならない場合にも、定期的に充電してください。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いときや過放電状態で充電が開始しないとき、内蔵電池が膨れているときなど、機能が回復せず劣化している場合には寿命ですのでご使用をおやめください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器（別売）やUSBケーブル（市販品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ ドックについて

- 改造されたドックは絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電気通信事業法に抵触します。ドックは電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として、「技適マーク」がドックの銘板シールに表示されておりますので、はがさないでください。ドックのネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合認定が無効となります。技術基準適合認定が無効となった状態で使用すると、電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ドックを自動車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより事故の原因となります。ドックは室内の安定した場所での使用を前提とします。

■ SIM カードについて

- SIM カードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどに、SIM カードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIM カードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けた SIM カードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- SIM カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ 著作権・肖像権について

- お客さまが本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域では無線 LAN (Wi-Fi®) 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。(海外利用可能な通信事業者をご利用の場合)
- 無線 LAN (Wi-Fi®) 機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用している場合、手動で Wi-Fi 名 (SSID) をタップして接続する必要があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■ 2.4GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は 2.4GHz 帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ご契約された通信事業者までご連絡ください。
- ◎ 本製品はすべての無線 LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。
したがって、すべての無線 LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、無線 LAN (Wi-Fi®) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線 LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきまして、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は、2.4GHz 帯の周波数を使用します。

- 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能 : 2.4DS4/OF4
本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。干渉距離は約 40m 以下です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。(海外利用可能な通信事業者をご利用の場合)

航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4DS4/OF4	2.4	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	DS4	: DS-SS方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
IEEE802.11b/g/n/ax	OF4	: OFDM 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	■ ■ ■ ■	: 全帯域を使用しており、RFID システムで使用される帯域を回避できないことを意味する

- 本製品を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として Ch1/Ch6/Ch11 のいずれかにすることを推奨します。
ただし、無線 LAN (Wi-Fi®) 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の Ch1/Ch6/Ch11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。
(使用チャンネルの設定方法は、「8-5 Wi-Fi」▶ P.74) を参照してください。)

■ 5GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は 5GHz 帯を使用します。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されています。(5.2GHz 帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 陸上移動中継局と通信する場合を除く。)

ただし、5.6GHz 帯は屋外利用可能です。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

IEEE802.11a/n/ac/ax				
W52	W53	W56		
[W52]	5.2GHz 帯 (5170 ~ 5250MHz) Ch36/38/40/42/44/46/48/50 ※屋内限定			
[W53]	5.3GHz 帯 (5250 ~ 5330MHz) Ch52/54/56/58/60/62/64 ※屋内限定			
[W56]	5.6GHz 帯 (5490 ~ 5730MHz) Ch100/102/104/106/108/110/ 112/114/116/118/120/122/ 124/126/128/132/134/136/ 138/140/142/144			

- 本製品は、「5GHz 帯利用のご注意」をディスプレイで電子的に表示しています。
【表示方法】: ホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」- 「デバイス情報」
- 「5GHz 帯利用のご注意」を表示

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

- 本装置は、VCCI 協会の運用規程に基づく技術基準に適合したマークをディスプレイに電子的に表示しています。
- 【表示方法】： ホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「デバイス情報」－「認証」で認証情報を表示

各種暗証番号／PINコード／PUKコードについて

■ 各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■ PIN コードについて

第三者による SIM カードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびに PIN コードの入力を必要にすることができます。また、「SIM カードをロック」をオフにする場合にも入力が必要となります。

PIN コードは 3 回連続で間違えると PIN ロックがかかります。ロックされた場合は、PIN ロックを解除する PUK コードを利用して解除できます。

- SIM カードの PIN コードの初期値は「1234」に設定されています。
- 「SIM カードをロック」をオンにして使用する場合、PIN コードを 4～8 桁のお好きな番号に設定してください。
- 「PIN コード」は工場出荷時の状態に戻してもリセットされません。

■ PUK コードについて

PIN コードがロックされた場合、PUK コードを入力することで PIN ロックを解除できます。

- PUK コードは、SIM カードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている 8 桁の番号で、お買い上げ時に決められています。
- PUK コードを入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
- PUK コードを 10 回連続で間違えた場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- 本製品で各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で操作しましょう。
- 本製品の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの操作は控えましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

1 章 ご利用の準備

1-1 本製品の使いかた.....	14
1-2 各部の名称と機能.....	15
1-3 SIMカードについて	18
1-4 充電する.....	19
1-5 電源を入れる／切る.....	21
1-6 デバイス情報を確認する.....	23
1-7 あらかじめ確認してください.....	24

1-1 本製品の使いかた

ご利用になる前に

本製品は無線基地局と 5G 方式、LTE 方式、WiMAX 2+ 方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は以下の通信モードを選択いただけます。

- 各通信モードの選択、設定方法については、「4-2 通信モードを切り替える」(▶ P.45) を参照してください。

スタンダードモード (ST)	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。
プラスエリアモード (+A)	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。 「スタンダードモード」(ST) より広いエリアでの通信が可能となります。

※ 初期設定は、「スタンダードモード」(ST) です。

！ ご注意

- 「プラスエリアモード」(+A) を設定すると、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合がございますので、ご注意ください。

スマートフォンなどの通信機器との接続

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能によりスマートフォンやパソコンなどの複数の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と接続することができます。また、USB ケーブル (市販品) やドック (同梱) を使って有線で接続することができます。

さらに、接続した端末から本製品を経由して 5G 方式、LTE 方式または WiMAX 2+ 方式を使ったインターネット接続でデータ通信ができます。

- 本製品とスマートフォンやパソコンなどの通信機器との接続については、「3 章 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続 / USB 接続」(▶ P.30) を参照してください。
- 周囲の電波環境によっては接続台数上限まで接続できない場合があります。
- 接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

■ 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する

本製品とスマートフォンやパソコンなどの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続し、データ通信ができます。

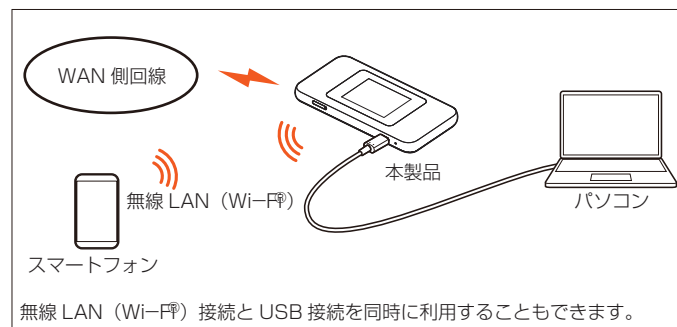
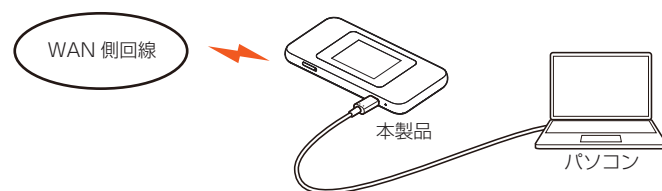
本製品に接続できる無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の台数は使用している Wi-Fi 周波数によって異なります。それぞれの最大接続台数は下記の通りです。

- 2.4GHz のみ利用の場合：20 台
- 5GHz のみ利用の場合：28 台
- 2.4GHz と 5GHz を同時利用している場合：20 台 (2.4GHz) + 28 台 (5GHz)



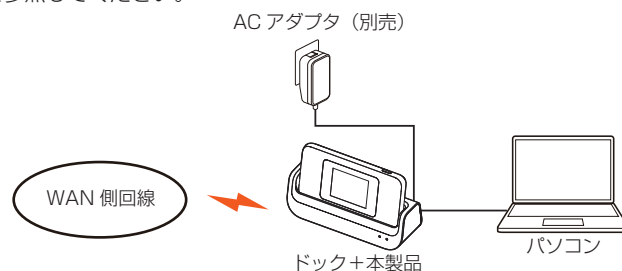
■ USB ケーブル (市販品) で接続する

本製品とパソコンを USB ケーブル (市販品) で接続するだけで、データ通信ができます。詳しくは「3-2 USB で接続する」(▶ P.41) を参照してください。



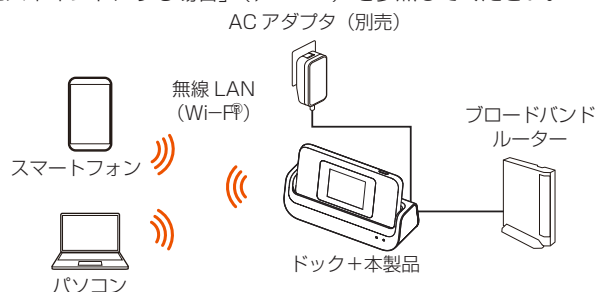
■ ドック (同梱) を使って有線 LAN で接続する

ドック (同梱) を使って、パソコンと有線 LAN 接続することができます。詳しくは「パソコン等を有線 LAN で接続する場合」(▶ P.42) を参照してください。



■ ドック (同梱) を使って無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する

本製品の動作モードは、工場出荷時は「ルーターモード」に設定されていますが、本製品がドックの Ethernet ポートを通して、Ethernet ケーブル (市販品) でブロードバンドルーターに接続されると、自動的に「アクセスポイントモード」に切り替わります。詳しくは「ブロードバンドルーターと有線 LAN 接続して無線 LAN アクセスポイントにする場合」(▶ P.42) を参照してください。

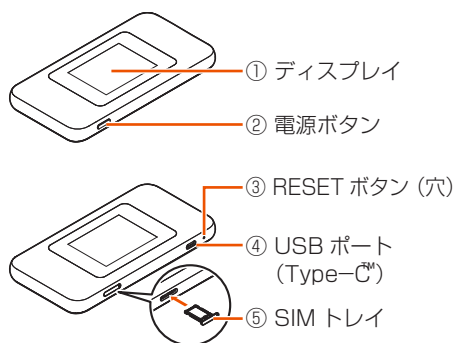


memo

◎ USB 接続または有線 LAN 接続と無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 49 台まで接続できます。

1-2 各部の名称と機能

Speed Wi-Fi本体

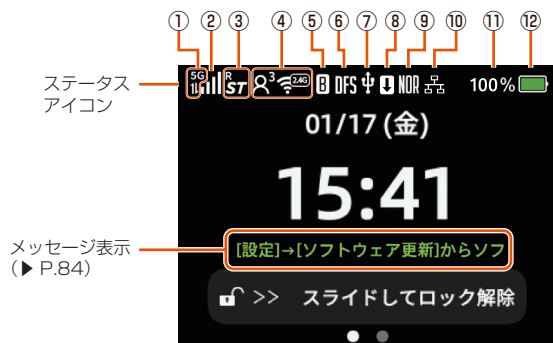


- ・アンテナは、本体に内蔵されています。通信中に本体を手でおおうと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ・外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、取り外すことはできません。

No.	名称	説明
①	ディスプレイ	本製品の状態や通知情報などが表示されます。また、本製品の情報を確認したり、主要な設定ができます。
②	電源ボタン	電源のオン/オフ
		短押し ディスプレイの点灯/消灯 長押し (約 3 秒間) 電源オプション (電源オフ/再起動/機内モード) の表示
③	RESET ボタン (穴)	本製品の電源が入っている状態で、SIM 取り出し用ピン (試供品) を使用して 5 秒間長押しすると、本製品の設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。
④	USB ポート (Type-C*)	USB ケーブル (市販品) を接続するとき、またはドックに接続するときに使用します。
⑤	SIM トレイ	SIM カードを取り付けます。

■ ディスプレイ表示について

＜ホーム画面とステータスアイコン＞



画面を右へフリック ↑ ↓ 画面を左へフリック



memo

◎ セキュリティロックが設定されているときは、 が (緑色) で表示されます (▶ P.21)。

No.	名称	表示	状態	説明
①	接続ネットワーク	5G	点灯	5G で接続しているとき
		4G	点灯	LTE、WiMAX 2+ で接続しているとき
②	電波受信レベル		点灯	WAN 側回線の信号の強度を 4 段階で表示
			点灯	圏外 のとき
③	接続状態	ST	点灯	「通信モード」を「スタンダードモード」に設定しているとき
		+A	点灯	「通信モード」を「プラスエリアモード」に設定しているとき *1
		R ST	点灯	国際ローミングを「使用する」に設定しているとき (海外利用可能な通信事業者をご契約の場合)
④	無線 LAN (Wi-Fi) 帯域		点灯	2.4GHz 帯で接続しているとき (人アイコンの右上の数字は接続台数)
			点灯	5GHz 帯で接続しているとき (人アイコンの右上の数字は接続台数)
			点灯	Wi-Fi 周波数が 2.4G/5G 同時で接続しているとき (人アイコンの右上の数字は接続台数)
⑤	ブリッジモード設定		点灯	ブリッジモードが設定されているとき
⑥	DFS 状態	DFS	点灯	DFS 検出中
⑦	USB テザリング機能		点灯	LAN 側を USB で接続し、USB テザリング機能が有効になるとき
⑧	ソフトウェア更新通知		点灯 (橙)	最新のソフトウェア公開中で、ソフトウェアの更新が必要なとき
⑨	省電力モード	ECO	点灯 (緑)	「ECO モード」(省電力優先) で動作中
		NOR	点灯 (緑)	「ECO モード」がオフで電池残量が少なくなるときに省電力動作中
		NOR	点灯	「ECO モード」がオフ (バランス優先) で動作中
⑩	ドック接続状態		点灯	ドックに Ethernet ケーブルを接続し、Ethernet ケーブルが認識されているとき
⑪	電池残量	100%	点灯	電池残量を % 表示
⑫	電池状態		点灯	電池状態を 11 段階で表示
			点灯	充電中
			点灯	ケアモードを「夜間 (0 時から 5 時) のみ」、または「常時」に設定したとき
⑬	データ使用量表示			データ使用量の表示は、+A モードと ST モード、+A モードの合計データ使用量に分かれています。データ使用量の統計期間は 1 ヶ月です。*2

*1 : 「プラスエリアモード」(+A) へ切り替えてご利用の場合、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合があります。

*2 : ・ SIM カードを交換するとデータ使用量がリセットされます。
・ 国際ローミングのデータ使用量は統計に含まれません。
(海外利用可能な通信事業者をご契約の場合)

<メインメニュー画面>



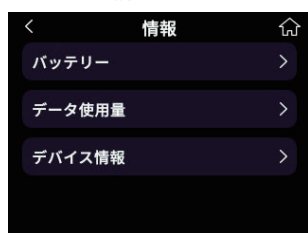
ホーム画面で、[]>>スライドしてロック解除]をスワイプすると表示されます。

< Wi-Fi 画面>



メインメニュー画面で、[Wi-Fi]をタップすると表示されます。

<情報画面>



メインメニュー画面で、[情報]をタップすると表示されます。

<設定画面>



メインメニュー画面で、[設定]をタップすると表示されます。

<デバイス情報画面>



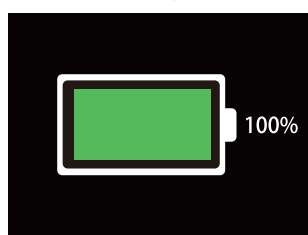
メインメニュー画面で、「情報」→「デバイス情報」をタップすると表示されます。
・電話番号を確認できます

<設定メッセージ表示>



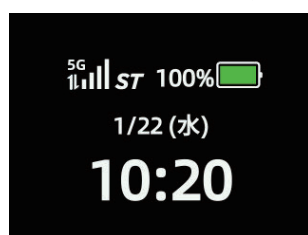
本製品の設定中などに表示されます。

<電源オフ時の表示>



電源オフ時に電源ボタンを押すと表示されます。

<スクリーンセーバー表示>



Speed Wi-F本体をドックに接続して充電中、ディスプレイが自動消灯したときに表示されます。

! ご注意

- 本製品の操作が一定時間*なかったときは、本製品のディスプレイ表示が自動的に消えます。再度ディスプレイを表示させるには、電源ボタンを押してください。

※「ディスプレイ自動オフ」(▶ P.52)と連動しています。「ディスプレイ自動オフ」で設定した時間が経過すると消灯します。(初期設定：15 秒)

memo

- ◎ 本製品は工場出荷時の状態でディスプレイ自動オフ (15 秒)、省電力状態切り替え機能 (自動 Wi-Fi オフ) が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に自動 Wi-Fi オフ状態になります。電源ボタンを押して一時的に解除した場合、一定時間はディスプレイが表示されます。ただし、下記の画面表示中はディスプレイ自動オフ (初期設定：15 秒) は無効となります。

- ・ Wi-Fi
- ・ Wi-Fi 名
- ・ パスワード
- ・ デバイス情報
- ・ WebUI 情報
- ・ 認証
- ・ 設定
- ・ ゲスト Wi-Fi 名
- ・ ゲストパスワード

- ◎ 下記のときはディスプレイ自動オフ (初期設定：15 秒) は無効となります。

- ・ ドック接続して充電中
- ・ ドックのスクリーンセーバーを自動表示中

- ◎ 下記のときは、ディスプレイ自動オフおよび自動オフ時間の設定にかかわらず、2 分間ディスプレイ表示します。

- ・ WPS 接続を待機中
- ・ 最新ソフトウェアがあるか確認中

- ◎ 下記のような使用状況により、Speed Wi-F本体が高温になった場合は、自動的に電源をオフにします。

- ・ 直射日光に当たるところで使用した場合
 - ・ 高温下で充電しながら使用した場合
 - ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合
- その場合、Speed Wi-F本体温度が下がってから電源を入れてください。

- ◎ 下記のような使用状況により、Speed Wi-F本体が低温になった場合は、自動的に電源をオフにします。

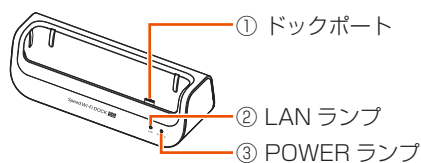
- ・ 冬季の屋外で長時間使用した場合
 - ・ 高山地域で長時間使用した場合
- その場合、Speed Wi-F本体温度が上がってから電源を入れてください。

- ◎ アクセスポイントモードについて、詳しくは「ブロードバンドルーターと有線 LAN 接続して無線 LAN アクセスポイントにする場合」(▶ P.42) を参照してください。

ドック

ドックは、Speed Wi-Fi本体を接続し、据え置きで充電をしたり、有線 LAN 接続やブロードバンドルーターを接続して Wi-Fi アクセスポイントとしてご利用いただけます。ドックの使いかたについて、詳しくは「3-3 ドックで接続する」(▶ P.42) を参照してください。

■ 前面



■ 背面



No.	名称	説明	
①	ドックポート	Speed Wi-Fi本体を接続 (セット) します。	
②	LAN ランプ (有線 LAN 通信状態表示)	緑	点灯 Ethernet ポートのリンクが確立されているとき
		点滅	Ethernet ポートがデータ送受信しているとき
		—	消灯 Ethernet ポートのリンクが確立していないとき
③	POWER ランプ (電源)	緑	点灯 指定の充電用機器 (別売) が接続され、充電しているとき
		—	消灯 指定の充電用機器 (別売) が接続されていないとき
④	充電用機器接続ポート	指定の充電用機器 (別売) と接続します。	
⑤	Ethernet ポート	Ethernet ケーブル (LAN ケーブル) (市販品) で、パソコンなどと接続します。	

- Speed Wi-Fi本体が自動 Wi-Fiオフまたは、電源オフの状態ドックにセットした場合、LAN ランプが点灯や点滅することがありますが、データ送受信はできませんのでご注意ください。

! ご注意

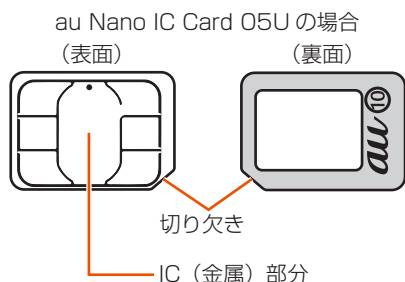
- ドックを使用する際は指定の充電用機器 (別売) を必ず接続してください。パソコンなどの USB ポートからの充電は動作しません。
- 必ず Speed Wi-Fi DOCK 5G 01をご使用ください。他の機器では使用できません。Speed Wi-Fi DOCK 5G 01以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障の原因となります。(「10-4 周辺機器」(▶ P.92) 参照)

memo

- ◎ 充電用機器 (別売) は指定のものをお使いください。Type-C 共通ACアダプタ 02 (0602PQA) (別売) または Type-C 共通ACアダプタ 02U (0602PQV) (別売) のご使用を推奨します。
- ◎ ドックの充電用機器接続ポートでは、USB 通信はできません。電源供給用の接続ポートです。
- ◎ Ethernet ケーブル (市販品) をドックに接続する際は、Ethernet ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

1-3 SIMカードについて

WAN 側回線通信サービスをご利用になるには、ご契約された通信事業者から提供される SIM カードが必要です。SIM カードにはお客様の電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するには SIM カードを Speed Wi-Fi 本体に取り付ける必要があります。SIM カードを取り付けないと、WAN 側回線でのデータ通信などをご利用できません。



- SD カードや、変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因となります。

memo

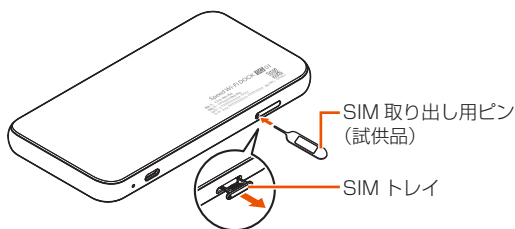
- ◎ SIM カードの取り付け／取り外しは本製品の電源を切ってから行ってください。無理な取り付けや取り外しはしないでください。
- ◎ PIN コードの設定をしている SIM カードをお使いの場合は、PIN コードの入力が必要です。(▶ P.12、▶ P.72)
- ◎ SIM カードには、お客様の電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信などはできません。

SIMカードを取り付ける

- 1 本製品の電源がオンになっているときは、電源ボタンを長押しし、電源オプション画面で「電源オフ」をタップする
- 2 本製品と指定の充電用機器(別売)／USB ケーブル(市販品)／ドックが接続されているときは取り外す
- 3 本製品のディスプレイ面を下にして、本製品側面の SIM トレイを引き出す

※ SIM 取り出し用ピン(試供品)の先端を SIM トレイの穴に差し込み、矢印方向に引き出します。

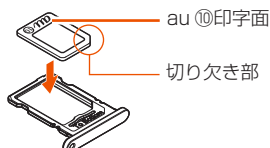
※ SIM 取り出し用ピン(試供品)はしっかりと水平に差し込んでください。まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。



- 4 SIM カードの裏面 (au ⑩印字面) を上にして、SIM トレイにはめ込む

※ 切り欠き部の方向にご注意ください。

※ SIM カードが SIM トレイから浮かないようにはめ込んでください。



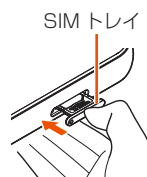
- 5 SIM トレイを本製品にまっすぐに差し込む

※ 正しい挿入方向をご確認ください。故障や破損の原因となります。

※ SD カードや、変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因となります。

※ 無理な押し込みや取り付けはしないでください。故障や破損の原因となります。

※ SIM カードを正しく取り付けしていない場合や SIM カードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

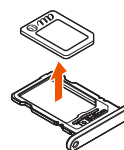


SIMカードを取り外す

- 1 本製品の電源がオンになっているときは、電源ボタンを長押しし、電源オプション画面で「電源オフ」をタップする
- 2 本製品と指定の充電用機器(別売)／USB ケーブル(市販品)／ドックが接続されているときは取り外す
- 3 本製品のディスプレイ面を下にして、本製品側面の SIM トレイを引き出す

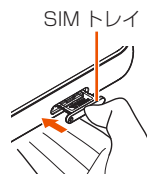


- 4 SIM トレイから SIM カードを取り外す



- 5 SIM トレイを本製品にまっすぐに差し込む

※ 正しい挿入方向をご確認ください。故障や破損の原因となります。



! ご注意

- 取り外した SIM カードは紛失しないようご注意ください。

1-4 充電する

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- ・本製品を充電するときは、Type-C 共通 AC アダプタ 02 (0602PQA) (別売) または Type-C 共通 AC アダプタ 02U (0602PQV) (別売) のご使用を推奨します。
- ・本製品の充電は、電源オフまたは自動電源オフ状態時に行うことをおすすめします。
- ・電源オンの状態やディスプレイが点灯した状態でも充電はできますが、充電時間が長くなります。
- ・電源オンの状態や、Speed Wi-Fi 本体や内蔵電池の温度が高い場合、電池保護のために充電を開始しなかったり、満充電になっていなくても充電を停止することがあります。一時的に充電が停止した場合は、充電時間が長くなります。高温時は電池の温度が下がってから充電してください。充電時間は、本製品の使用環境・状態により異なります。充電時間については「充電時間」(▶ P.20) を参照してください。
- ・USB ケーブル (市販品) を使用してパソコンの USB ポートからの充電も可能です。なお、USB ポートからの充電は、指定の AC アダプタ (別売) で充電したときよりも充電時間が長くなります。
- ・本製品は USB ハブ (市販品) で充電しないでください。

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

ここでは Type-C 共通 AC アダプタ 02 (0602PQA) (別売) または Type-C 共通 AC アダプタ 02U (0602PQV) (別売) を使って充電する方法を説明します。

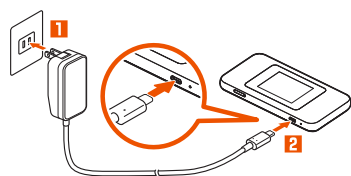
1 AC アダプタ (別売) の電源プラグを電源コンセントに接続する

- ・AC アダプタ (別売) が抜けないようにご注意ください。

2 本製品の USB ポート (Type-C) に、AC アダプタ (別売) の USB コネクタ (Type-C) を接続する

充電が開始されます。

- ・USB コネクタ (Type-C) は本製品の USB ポート (Type-C) にまっすぐに差し込んでください。
- ・無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。
- ・電源オフまたは自動電源オフ状態での充電中に電源ボタンを押すと、充電の状態 (%) が表示されます。



! ご注意

- ・AC アダプタ (別売) は、必ず本製品指定の周辺機器をお使いください。

memo

- ◎「ケアモード」を「夜間 (0 時から 5 時) のみ」または「常時」に設定すると、充電を 80% で止めて、充電時のバッテリー負荷を抑えます。(初期設定:「夜間 (0 時から 5 時) のみ」)

【確認方法】: ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」-「バッテリー」-「ケアモード」

- ◎充電が完了してから長時間指定の指定の充電用機器 (別売) を接続したままにしていると、内蔵電池は充電と放電を繰り返し劣化を早めてしまいます。内蔵電池の充電が完了したら、指定の充電用機器 (別売) を外してください。

- ◎内蔵電池の寿命は、お客さまのご利用環境により変わります。充電のしかたによっては、劣化しやすくなりますので、寿命が短くなりやすい利用方法をおすすめします。

- ・電池残量が十分に残っている状態で充電を繰り返すと劣化が早くなりますので、電池残量が、30%以下になってからの充電をおすすめします。

- ◎ドックに接続して充電する場合の手順は、「ドックを使って充電する」(▶ 右記) を参照してください。

- ◎AC アダプタ (別売) やドックに接続したにもかかわらず充電できない場合は、接続し直してください。

ドックを使って充電する

ここでは Type-C 共通 AC アダプタ 02 (0602PQA) (別売) と同梱のドックを使って充電する方法を説明します。

- ・充電は、Speed Wi-Fi 本体の電源オフまたは自動電源オフ状態時に行うことをおすすめします。
- ・充電用機器 (別売) は指定のものをお使いください。Type-C 共通 AC アダプタ 02 (0602PQA) (別売) または Type-C 共通 AC アダプタ 02U (0602PQV) (別売) のご使用を推奨します。
- ・ドックの充電用機器接続ポートでは、USB 通信はできません。電源供給用の接続ポートです。

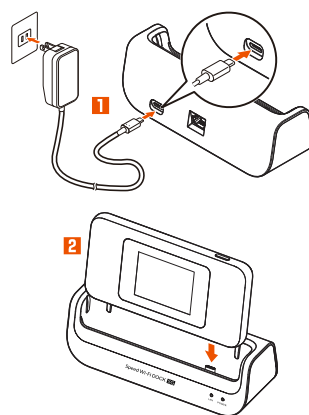
1 ドックの充電用機器接続ポートに、AC アダプタ (別売) の USB コネクタ (Type-C) を接続し、AC アダプタ (別売) の電源プラグを電源コンセントに接続する

USB コネクタ (Type-C) は充電用機器接続ポートの角度に合わせて接続してください。

2 ドックに Speed Wi-Fi 本体をセットする

ドックのドックポートと Speed Wi-Fi 本体の USB ポートを合わせ、まっすぐ奥まで確実にセットしてください。

POWER ランプが点灯し、充電が開始されます。



! ご注意

- ・Ethernet ケーブル (市販品) をドックに接続する際は、Ethernet ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
- ・Speed Wi-Fi 本体が自動 Wi-Fi オフまたは、電源オフの状態でもドックにセットした場合、LAN ランプが点灯や点滅することがありますが、データ送受信はできませんのでご注意ください。
- ・ドックを使ってパソコンと有線 LAN で接続したり、パソコンやスマートフォンなどの無線 LAN 対応端末と無線 LAN (Wi-Fi) で接続することができます。詳細については、「3-3 ドックで接続する」(▶ P.42) を参照してください。

memo

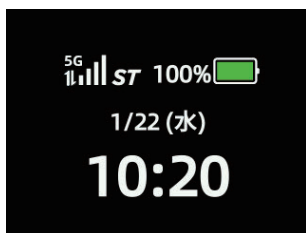
- ◎充電の状態 (電池残量) を確認する場合は、Speed Wi-Fi 本体の電源ボタンを押してください。ディスプレイに % で表示します。(電池残量の表示は目安です。Speed Wi-Fi 本体の使用環境・状態により異なります。)

充電時間については、「充電時間」(▶ P.20) を参照してください。

- ◎Speed Wi-Fi 本体をドックから取り外すときは、ドックを手で押さえながら、Speed Wi-Fi 本体をドックポートからまっすぐに取り外してください。

■スクリーンセーバー機能について

Speed Wi-Fi本体をドックに接続して充電しているときにディスプレイが自動消灯すると Speed Wi-Fi本体はスクリーンセーバーモードになります。



画面に日時（曜日）、接続ネットワーク、電波受信レベル、接続状態、電池残量などの情報が表示され、30 秒ごとに表示位置が切り替わります。

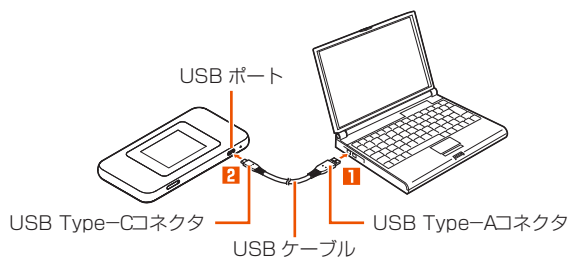
memo

- ◎ スクリーンセーバーモードの状態で電源ボタンを押すと、スクリーンセーバー表示を消灯します。
- ◎ スクリーンセーバーモードの状態で画面をスワイプすると、ホーム画面を表示します。

パソコンを使って充電する

ここではパソコンの充電可能な USB ポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB ケーブル（市販品）の USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続する
- 2 USB ケーブル（市販品）を Speed Wi-Fi 本体の USB ポート（Type-C）に接続する



memo

- ◎ パソコンでの USB 充電を行った場合、指定の AC アダプタ（別売）での充電と比べて時間が長くなります。
- ◎ ドックを使用してパソコンと接続した場合、充電できません。

充電時間

電源オフ時の充電時間（電池残量がない状態から満充電になるまで）

接続する機器	充電時間
TypeC 共通 AC アダプタ 02（0602PQA）（別売）、 TypeC 共通 AC アダプタ 02U（0602PQV）（別売）	約 140 分
ドック	約 140 分
パソコン（USB 充電）	約 630 分

- ・ 充電時間は、Speed Wi-Fi 本体の使用環境・状態により異なります。

電池残量

ホーム画面のステータスバーに電池残量を%表示します。

- ・ 電源オフ状態または自動電源オフ状態での充電中に電源ボタンを押すと、充電の状態（%）が表示されます。
- ・ 電池残量は、WebUI 画面（▶ P.67）やスマートフォンアプリ（▶ P.48）でも確認できます。

- 1 ホーム画面を表示して、ステータスバーで電池残量を確認する



memo

- ◎ 本製品は、工場出荷時の状態でディスプレイ自動オフ（15 秒）、省電力状態切り替え機能（自動 Wi-Fi オフ）が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に自動 Wi-Fi オフ状態になります。

ケアモード

ケアモード機能を「夜間（0 時から 5 時）のみ」または「常時」に設定すると、電池残量が約 80% で充電を停止します。

電池残量が十分ある状態で頻繁に充放電を繰り返すことにより内蔵電池の劣化が早まることを防止します。

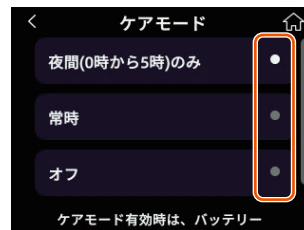
「常時」に設定したときや、「夜間（0 時から 5 時）のみ」に設定したときは充電の上限が約 80% になりますので、使用時間は短くなります。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「バッテリー」－「ケアモード」をタップする



- 2 ケアモードの設定を選んでタップする

- ・ 初期設定：夜間（0 時から 5 時）のみ



memo

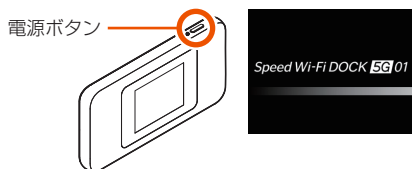
- ◎ ケアモード機能を「夜間（0 時から 5 時）のみ」または「常時」に設定した場合、電池残量が 80% 以上の状態では、充電を開始しません。電池残量を 60% まで消費すると充電を再開します。

1-5 電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源ボタンを長押しする

本製品のディスプレイに「Speed Wi-Fi DOCK 5G 01」と表示されるまで電源ボタンを長押しして、電源を入れてください。起動するまでにしばらくかかります。



memo

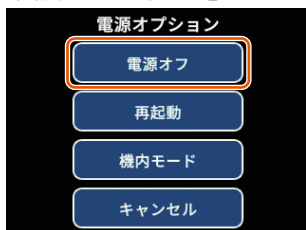
- ◎ 最新のソフトウェアがある場合、ホーム画面にメッセージが表示されます。この場合、ホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「ソフトウェア更新」－「最新ソフトウェアがあるか確認」で確認してください。新しいバージョンが表示されたら、「ダウンロード」をタップして更新してください。ソフトウェアのバージョンアップ方法は、「10-1 ソフトウェアを更新する」（▶ P.86）を参照してください。
- ◎ 電源をオンにしたとき  が表示された場合は、指定の充電用機器（別売）を接続して 30 分以上充電してから電源を入れ直してください。
- ◎ 本製品は、工場出荷時の状態でディスプレイ自動オフ（15 秒）、省電力状態切り替え機能（自動 Wi-Fi オフ）が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に自動 Wi-Fi オフ状態になります。それぞれホーム画面のメインメニューから設定を変更することができます。（▶ P.52）
- ◎ セキュリティロックを設定しているときは、パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力してください。（▶ 右記）

電源を切る

1 電源ボタンを約 3 秒間長押しする

電源オプション画面が表示されます。

2 電源オプション画面で「電源オフ」をタップする



memo

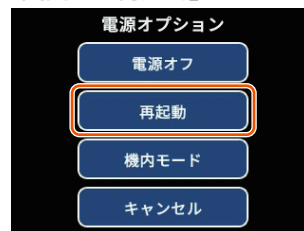
- ◎ 電源オン時の連続待受時間を長くしたいときは、WebUI の「高速起動」を「オフ」にしてから電源を切ってください（▶ P.80）。ただし、「高速起動」を「オフ」に設定して電源を切ったり、自動電源オフとなった場合、本製品を起動する時間が長くなります。
- ◎ 本製品の電源を切ると、本製品と接続されていた無線 LAN（Wi-Fi®）端末との接続が自動的に切れます。

再起動する

1 電源ボタンを約 3 秒間長押しする

電源オプション画面が表示されます。

2 電源オプション画面で「再起動」をタップする



再起動します。

強制的に電源を切って再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切って再起動することができます。

1 電源ボタンを 8 秒以上長押しする

強制的に電源がオフになり、再起動されます。

memo

- ◎ 強制的に電源を切ると、設定した内容などが消失する場合があります。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

端末をロックする／端末ロックを解除する

■ 端末をロックする

1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「セキュリティロック」の「」をタップしてオンにする

・初期設定：オフ



セキュリティロックのパスワード入力画面が表示されます。

2 セキュリティロックのパスワード（お好みの数字 4 桁）を入力し、「OK」をタップする



端末をロックするセキュリティロックがオンになります。

memo

- ◎ セキュリティロックのパスワードは、忘れないように控えておいてください。

■ 端末ロックを解除する

- 1 ホーム画面で「🔒 >> スライドしてロック解除」をスワイプする



パスワード入力画面が表示されます。

- 2 設定したセキュリティロックのパスワード（数字 4 桁）を入力し、「OK」をタップする



端末ロックが解除され、メインメニュー画面が表示されます。

memo

◎ パスワード入力を無効にするときは、本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「セキュリティロック」をオフにします。

1-6 デバイス情報を確認する

ディスプレイのホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」で本製品のデバイス情報を確認できます。

デバイス情報	デバイス名 モデル MAC アドレス IMEI IMSI WebUI 情報 電話番号* 1 ICCID* 1 WAN IP アドレス* 1 LAN IP アドレス* 1 シリアル番号 ソフトウェアバージョン 認証 5GHz 帯利用のご注意
WebUI 情報	WebUI URL WebUI パスワード
認証	電気通信事業法・電波法の技術基準適合認定の番号など

* 1 アクセスポイントモードの状態ドックに接続している場合は、「－」表示します。

デバイス情報の確認方法

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」をタップする



- 2 デバイス情報を確認する



WebUI情報の確認方法

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」をタップする
- 2 「WebUI 情報」をタップする

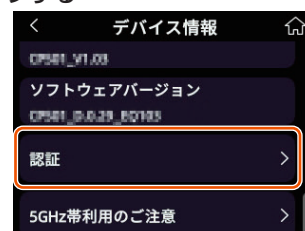


- 3 WebUI 情報を確認する



認証情報の確認方法

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」をタップする
- 2 「認証」をタップする



- 3 認証情報を確認する



1-7 あらかじめ確認してください

本製品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

接続端末の準備

お使いの接続端末が本製品をご利用になれる環境になっているか下記の内容を確認してください。

- Web ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用しない」になっていること（▶ P.25）
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本製品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したまま）と本製品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- WebUI で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと（▶ P.26）

〈無線 LAN（Wi-Fi®）で接続する場合〉

- 無線 LAN（Wi-Fi®）に対応していること

〈USB で接続する場合〉

- USB ポート（USB2.0 以上推奨）が装備されていること
USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 以上でのご使用をおすすめします。

〈ドックを使用して Ethernet ポートに有線で接続する場合〉

- LAN ポートが装備されていること
- TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- パソコンのネットワーク設定を確認すること（▶ 右記）

■ 対応 OS について

本製品は、Windows®、Mac、Linux など TCP/IP プロトコルスタックに対応した OS にて、ご利用いただけます（利用可能 OS は日本語版に限ります）。

ただし、USB 接続時の対応 OS は、以下の通りです。

Windows®11 の日本語版、Windows®10 の日本語版かつ 32bit (x86) 版、または、64bit (x64) 版、macOS 15、14、13 の日本語版

■ 対応ブラウザについて

WebUI で設定を行う場合にご利用いただける Web ブラウザは以下の通りです。また、サポート対象は、以下 OS のプレインストール製品、またはメーカーが以下 OS の利用を保証している製品です。（自作パソコンはサポート対象外です）（2025 年 3 月現在）

Windows®11 の場合

- Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome に対応

Windows®10 の場合

- Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome に対応

macOS（15/14/13）の場合

- Safari に対応

Android（15/14/13/12/11/10）の場合

- Google Chrome に対応

iOS（18.x/17.x/16.x/15.x）の場合

- Safari に対応

iPadOS（18.x/17.x/16.x/15.x）の場合

- Safari に対応

memo

◎ 対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

パソコンのネットワークの確認(USB 接続/有線LAN接続の場合)

パソコンのネットワークの設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

■ Windows パソコンの場合

以下は Windows®11 を例に説明しています。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から「Windows ツール」－「コントロールパネル」をクリックする
- 2 「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」をクリックし、「アダプターの設定の変更」をクリックする
- 3 「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」をクリックする
- 4 「インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）」を選択し、「プロパティ」をクリックする
- 5 「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択する
- 6 「OK」をクリックするか右上の閉じるボタンをクリックする
- 7 「閉じる」をクリックする

memo

◎ 有線 LAN 接続については「3-3 ドックで接続する」(▶ P.42) を参照してください。

◎ Windows®11 の設定により表示内容が異なる場合があります。

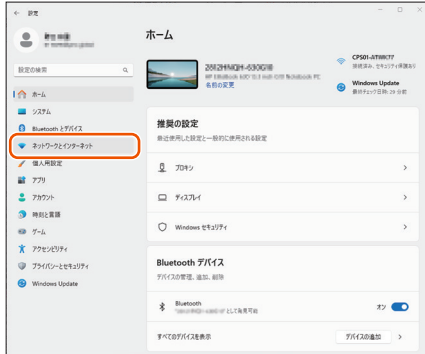
◎ ここでは、Windows®11 の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

Webブラウザの設定確認

Web ブラウザの接続設定を「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows® 11 で Microsoft Edge をご利用の場合の設定方法の一例です。お客さまの使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

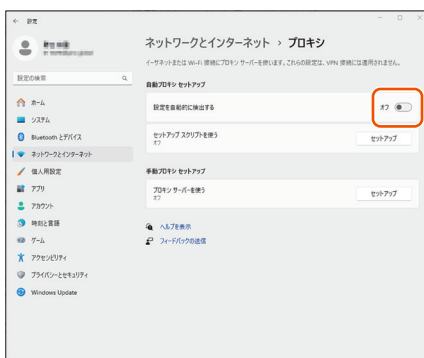
- 1 「Windows」 キーを押し、（設定）をクリックする
- 2 「ネットワークとインターネット」をクリックする



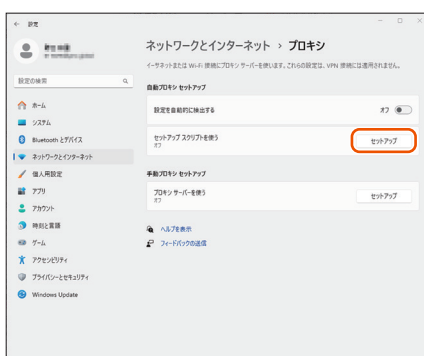
- 3 「プロキシ」をクリックする



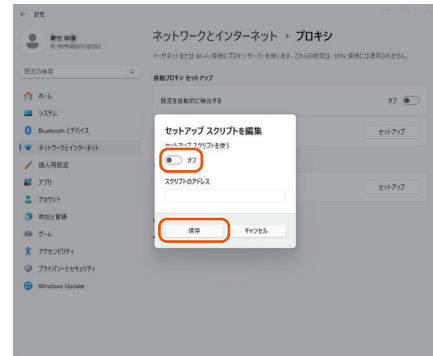
- 4 「自動プロキシ セットアップ」の「設定を自動的に検出する」を「オフ」にする



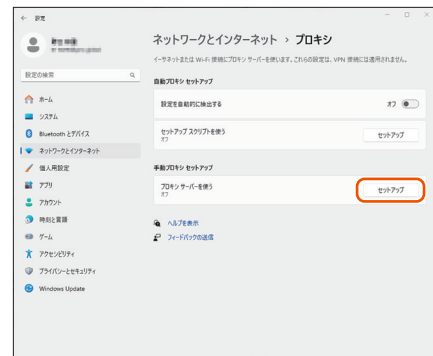
- 5 「自動プロキシ セットアップ」で「セットアップ スクリプトを使う」の「セットアップ」をクリックする



- 6 「セットアップ スクリプトを使う」を「オフ」にして「保存」をクリックする



- 7 「手動プロキシ セットアップ」で「プロキシサーバーを使う」の「セットアップ」をクリックする
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- 8 「プロキシサーバーを使う」を「オフ」にして「保存」をクリックする



memo

◎ 専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルーター接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScriptの設定を確認する

Web ブラウザから WebUI を利用して設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

Web ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本製品の WebUI パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

■ Safari をご利用の場合（Mac 版）

以下は、macOS 15 で Safari を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの「Safari」－「設定」をクリックする
- 3 「セキュリティ」をクリックする
- 4 「JavaScript を有効にする」が無効になっている場合は、「JavaScript を有効にする」のチェックボックスにチェックを入れる
- 5 Safari を終了させる

■ Android 端末で Google Chrome をご利用の場合

以下は、Android 15 をご利用の場合の例です。

Google Chrome のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

- 1 Google Chrome を起動する
- 2 Google Chrome のメニューを開く
- 3 「設定」をタップする
- 4 「サイトの設定」をタップする
- 5 「JavaScript」がブロックになっている場合は、ボタンをタップして許可にする

■ iOS/iPadOS 端末で Safari をご利用の場合

以下は iOS 18.x で Safari を使用している場合の例です。

- 1 ホーム画面の「設定」アイコンをタップする
- 2 設定メニューの「アプリ」アイコンをタップする
- 3 「Safari」をタップする
- 4 「詳細」をタップする
- 5 「JavaScript」が無効になっている場合は、ボタンをクリックして有効にする

2 章 基本操作

2-1 基本操作..... 28

2-1 基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

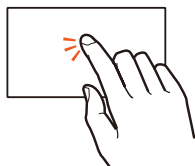
● 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- ・ 手袋をしたままでの操作
- ・ 爪の先での操作
- ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
- ・ 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
- ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ・ 水中での操作

■ タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。

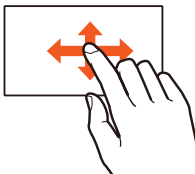
- ・ 画面に表示された項目やアイコンを選択します。



■ スライド／スワイプ

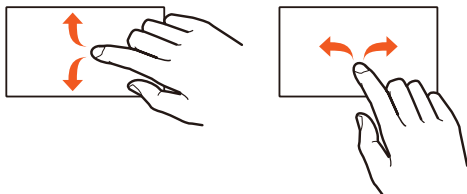
画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

- ・ 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。



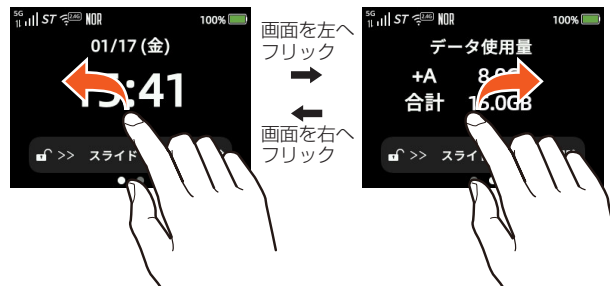
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはうように操作します。



ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリックすると切り替えることができます。



基本的な操作

前の画面に戻る場合

画面左上の をタップします。



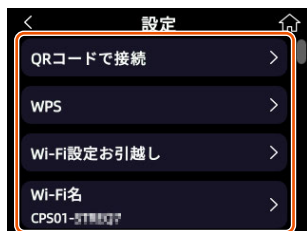
メインメニュー画面に戻る場合

画面右上の をタップします。

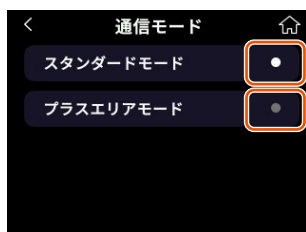


項目を選択する場合

選択する項目をタップします。



（オン）／（オフ）が表示されている場合は をタップしてオンに切り替えます（いずれか 1 つを選択します）。



／が表示されている場合は をタップしてオフに、 をタップしてオンに切り替えます。



文字を入力する場合

入力先によって、文字キーボードが表示されます。
キーボードで文字候補を表示し、文字候補の中から入力する文字をタップし、入力欄に文字を入力します。



①入力欄

文字を入力できます。

パスワードなどを入力した場合は「*」が表示されることがあります。

②キーボード

文字候補を表示します。 は大文字と小文字を切り替えます。

③文字候補

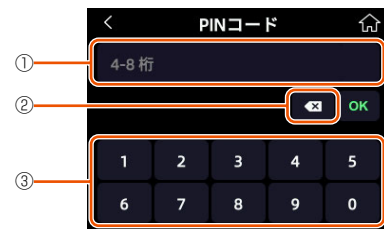
入力する文字を選びます。

④削除キー

文字を消します。

数字を入力する場合

入力先によって、数字キーボードが表示されます。



①入力欄

数字を入力できます。

パスワードなどを入力した場合は「*」が表示されることがあります。

②削除キー

数字を消します。

③キーボード

数字を入力するキーボードです。

3 章 無線 LAN（Wi-Fi®）接続／USB 接続

3-1 無線LAN（Wi-Fi®）で接続する	31
3-2 USB で接続する	41
3-3 ドックで接続する	42

3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する

■ 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について

本製品は IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax の無線 LAN (Wi-Fi®) 規格に準拠しており、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (パソコンやスマートフォンなど) を無線 LAN (Wi-Fi®) で接続して、データ通信ができます。

また、本製品のディスプレイを操作することで WPS※ (Wi-Fi Protected Setup) 機能に対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に簡単に接続することができます。

WPS 機能に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末でも、本製品に設定された Wi-Fi 名 (SSID) とパスワード (暗号化キー) を入力するだけで接続できます。

本製品の Wi-Fi 名 (SSID) やパスワード (暗号化キー) は、本製品のディスプレイメニューから確認できます。本製品の Wi-Fi 名 (SSID) は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じ Wi-Fi 名 (SSID) を使用しています。

なお、本製品の工場出荷時状態における Wi-Fi 名 (SSID) は、「CPS01-XXXXXX」で表示されます。

ご利用の際は画面に表示される情報に従って操作してください。

Windows パソコン、Mac、スマートフォン、iPhone、iPad 端末などとの接続に対応しますが、一部の旧機種種の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末機器には対応していません。

！ ご注意

- iOS 12 より前の端末は、WPA3 暗号化モードをサポートしていません。WPA3 暗号化が有効になっていない端末では、無線 LAN (Wi-Fi®) の接続方法を WPA2 モードに変更してください。
- 接続できない場合は、WPA2 に変更して再接続してください。

memo

- ◎ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されている Wi-Fi 名 (SSID) およびパスワード (暗号化キー) を変更してください。変更のしかたは「8-5 Wi-Fi」▶ P.74) を参照してください。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続のための設定は、本製品と各無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、2 回目以降、自動的に接続が再開されます (無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は無線 LAN (Wi-Fi®) 接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークがあると、自動的に Wi-Fi ネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークが複数ある場合は、最後に設定した Wi-Fi ネットワークに接続されます。
- ◎ 必要に応じて、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「8-5 Wi-Fi」▶ P.74) を参照してください。
- ◎ 本製品に接続できる無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の台数は使用している Wi-Fi 周波数によって異なります。それぞれの最大接続台数は下記の通りです。
 - ・ 2.4GHz のみ利用の場合：20 台
 - ・ 5GHz のみ利用の場合：28 台
 - ・ 2.4GHz と 5GHz を同時利用している場合：20 台 (2.4GHz) + 28 台 (5GHz)
- ◎ 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
- ◎ 本製品の「Wi-Fi 名非表示」機能がオンになっていると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末で本製品を検出できません。Wi-Fi 名非表示機能については、「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.58) を参照してください。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 通信を安定させるために、以下の方法があります。
 - ・ ドックに接続して使用する
ドックに接続することで、より安定してインターネットに接続できます。(▶ P.42)
 - ・ 「IEEE 802.11ax モード」を設定変更する
本製品は IEEE 802.11ax 技術を利用し、複数の端末と同時に安定した通信を実現するため、「IEEE 802.11ax モード」は初期設定でオンに設定されています。(▶ P.74)
「IEEE 802.11ax モード」をオフにすると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては通信が安定する場合があります。
 - ・ 「帯域設定」(チャンネル) を変更する
本製品は W52、W53、W56 に対応しています。
5GHz (屋内 W52、W53) と 5GHz (屋外 W56) (▶ P.74) を選択すると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては通信が安定する場合があります。

■ Wi-Fi 名 (SSID) について

ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末から選択する本製品の Wi-Fi 名です。本製品はマルチ SSID 機能に対応し、2 つの Wi-Fi 名 (SSID) があります。暗号化方式によって使用する「SSID」「WPA Key」が異なります。

- Wi-Fi 名 (SSID) : 暗号化方式が WPA3/WPA2/WPA で接続するとき
に使用します。
WebUI に無線 LAN (Wi-Fi®) で接続するとき
に使用します。
- パスワード (PSK) : 暗号化方式が WPA3/WPA2/WPA で接続するとき
に使用するパスワードです。
- ゲスト Wi-Fi 名 (ゲスト SSID) : ゲスト用に使用する Wi-Fi 名 (SSID) です。

• ゲスト Wi-Fi 名 (ゲスト SSID) について

ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) は、来客者用などに一時的にインターネット環境を作ることができます。本製品では、お買い上げ時の状態で「ゲスト Wi-Fi 名 (SSID)」はご利用になれません。詳しくは、「8-5 Wi-Fi」(▶ P.74) を参照してください。ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、WebUI およびスマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」が利用できません。

■ 5GHz 帯の使用について

• DFS 機能

本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯での電波干渉を避けるため、法令 (電波法) により、DFS 機能を搭載しています。本製品が利用する無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz の周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどの電波干渉が起きる可能性があります。

本製品は 5GHz 帯域のレーダー信号を検出すると、DFS 機能が起動し、自動的に次の利用可能な 5GHz 帯域へ切り替わります。

周囲に同じ無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を使っている無線 LAN (Wi-Fi®) 端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなることがあります。

• DFS チェックについて

無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用して、屋外で本製品を使用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがいないかを最低でも 1 分間確認し、電波干渉を起こさないチャネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFS チェック」と呼びます。本製品を無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯から無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に切り替えたときや、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の設定で本製品の電源を入れたときなどに、DFS チェックが作動します。DFS チェック中は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が一時的に停止され、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再開するまでに 1 分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。本製品に接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で再接続の操作を行ってください。5GHz から 2.4GHz に切り替えるときは、DFS チェックは作動しません。

* DFS チェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

memo

◎ ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に対応しているかご確認ください。ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に 5GHz 帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を 2.4G/5G 同時または 2.4GHz にしてご利用ください。

◎ 周波数を「5GHz」に設定した場合は本製品のディスプレイに確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をタップしてください。その後、「屋内」で利用するか「屋外」で利用するかの確認画面が表示されますので、いずれかをタップしてください。本製品の状態によって、その後の動作は以下のように異なります。

DFS チェック実行中は、本製品のディスプレイに DFS チェック実行中のメッセージが表示されます。

約 1 分間*経過すると DFS チェックが終了し、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯が利用可能になります。

* DFS チェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

また、W56 使用時に気象レーダーなどと干渉した場合は、再度 DFS チェックが実行されます。

◎ 5GHz に切り替える方法については、「5-1 5GHz 帯で利用する」(▶ P.47) または「9-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.82) を参照してください。

◎ 以下の場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再起動することがあります。

- 周波数の 2.4GHz と 5GHz を切り替えるとき
- 無線 LAN (Wi-Fi®) の設定項目を変更するとき

ディスプレイメニューでWi-Fi情報を確認する

■ Wi-Fi 名 (SSID) の場合

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」をタップする



- 2 Wi-Fi 設定画面で、「Wi-Fi 名」(SSID) と「パスワード」を確認する



■ ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) について

本製品には 2 つのネットワーク「Wi-Fi 名 (SSID)」「ゲスト Wi-Fi 名 (SSID)」があります。

本製品では、工場出荷時の状態で、「ゲスト Wi-Fi 名 (SSID)」は利用できません。

本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」→「ゲスト Wi-Fi」をオンにするか、WebUIにて、「Wi-Fi」→「ゲストWi-Fi」→「ステータス」を「オン」にして「適用」をクリックしてください。(▶ P.75)

■ パスワード (暗号化キー) について

接続に使用するパスワードは、セキュリティキー、パスフレーズ、またはネットワークキーとも呼ばれます。

初期値は半角英数 13 桁 (0～9、a～f) のランダム値で設定されています。

- ・13 桁のランダム値：大文字 + 小文字アルファベット + 数字の組み合わせ (ゲスト Wi-Fi のパスワードも同じルールです)。
- ・アルファベットの太文字 (A～F) と小文字 (a～f) は区別されます。
- ・「b」(ビー) と「6」(ロク) を間違えないようご注意ください。なお初期値では以下の文字と数字は使用されません。
 - ・大文字：B、I、O
 - ・小文字：l (小文字の L)
 - ・数字：0、1、8

memo

- ◎ お客さまがパスワードを変更する際は、初期値での文字 / 数字制限は適用されません。

無線LAN(Wi-Fi®)接続する

本製品では、QR コードや WPS 機能を利用して簡単に接続する方法と、Wi-Fi 設定情報を手動入力して接続する方法のいずれかを選択し、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続します。WPS 機能に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を利用する場合は、QR コード、または手動入力で行ってください。

■ QR コードで無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する場合

スマートフォン／タブレット、または iPhone / iPad で、本製品に表示される QR コードを読み取って Wi-Fi 接続します。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」→「QR コードで接続」をタップする
- 2 表示される QR コードをスマートフォン／タブレット、または iPhone / iPad のアプリで読み取る



iPhone / iPad の場合、カメラビュー画面に表示された「ネットワーク "XXX_XXX"」に接続」をタップし、ポップアップされた確認画面で「接続」をタップしてください。

memo

- ◎ 「ECO モード」がオンのときは 5GHz に接続できないため、「Wi-Fi 周波数」の設定が「5GHz」のみオンになっている場合、「ECO モード」をオンにすると QR コードが表示されなくなります。「ECO モード」をオンにして QR コードを表示するには、「Wi-Fi 周波数」の設定で「2.4GHz」をオンにしてください。
- ◎ 工場出荷時、「ゲスト Wi-Fi」は無効に設定されているため、「ゲスト」を選択しても QR コードは表示されません。「ゲスト」の QR コードを表示するには、「ゲスト Wi-Fi」をオンにしてください。(▶ 下記)

■ QR コードでゲスト Wi-Fi に接続する場合

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」→「ゲスト Wi-Fi」の「☒」をタップしてオンにする
 - ・ WebUI で「Wi-Fi」→「ゲストWi-Fi」の「ステータス」を「オン」にして「適用」をクリックすることでも有効にできます。(▶ P.75)
- 2 メインメニューに戻って「Wi-Fi」→「QR コードで接続」をタップする
- 3 「ゲスト」をタップして表示される QR コードをスマートフォン／タブレット、または iPhone / iPad のアプリで読み取る



iPhone / iPad の場合、カメラビュー画面に表示された「ネットワーク "XXX_XXX"」に接続」をタップし、ポップアップされた確認画面で「接続」をタップしてください。

■ WPS 機能を利用して無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する場合

WPS 機能のプッシュボタン方式に対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末であれば、接続するために必要な Wi-Fi 名 (SSID) やセキュリティ方式などを入力することなく、簡単な操作で設定できます。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」－「WPS」をタップする



- 2 「WPS を有効にする」をタップする



「WPS 接続を待機中」画面が表示されます。

- 3 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末で WPS 機能を起動する
無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によって操作方法が異なります。起動方法については、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。
画面に表示される秒数以内に WPS 機能を起動してください。



「WPS 接続に成功しました。」と表示されたら設定終了です。



memo

- ◎ MAC フィルタのホワイトリストに含まれていない場合、またはブラックリストに含まれている場合、接続は失敗する可能性があります。
- ◎ MAC フィルタが設定された無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、WPS 設定に失敗する場合があります。
- ◎ セキュリティなし（オープン）では WPS を実行できません。セキュリティを変更して WPS を試してください。
- ◎ 「Wi-Fi 名非表示」機能がオンのときは WPS を実行できません。「Wi-Fi 名非表示」機能をオフにして再度 WPS を試してください。

■ Wi-Fi 設定お引越し機能について

「Wi-Fi 設定お引越し」機能を使うと、以前に使用していたルーターの無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を、本製品に引き継ぐことができます。設定のやり直しなどの作業が不要です。（「5-3 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う」(▶ P.51) 参照）

memo

- ◎ 本製品の Wi-Fi 名 (SSID) とパスワード (暗号化キー) は、ディスプレイで確認できます。

操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」をタップ

■ 手動で接続する場合

お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が QR コード読み取り機能、および WPS 機能に対応していない場合や、WPS 接続ができない場合などに手動で接続します。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」をタップする

本製品の「Wi-Fi 名」(SSID) と「パスワード」が表示されます。



- 2 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の接続設定画面を表示する

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によって操作方法是異なります。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。

- 3 ネットワークを検索する

無線 LAN (Wi-Fi®) 機能をオンにしたり、「検索する」などして近くにあるネットワークを表示します。

- 4 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のネットワーク一覧から、手順 1 の画面で表示された本製品の Wi-Fi 名 (SSID) を選択する

- 5 手順 1 の画面で表示されたパスワード (暗号化キー) を入力し、設定を保存する

iPhone/iPad/iPad miniを接続する

iOS/iPadOS 端末で Wi-Fi QRコードで接続する方法と手動で接続する方法を説明しています。

■ Wi-Fi QR コードで接続する

- iOS の対応バージョン：13.0 以降
- iPadOS の対応バージョン：13.0 以降

- 1 iOS/iPadOS 端末のカメラを起動し、カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから QR コードを読み取る



- 本製品の表示方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」→「QRコードで接続」→ QRコードを表示

- 2 iOS/iPadOS 端末のカメラビュー画面に表示された「ネットワーク「XXX-XXX」に接続」をタップし、ポップアップされた確認画面で「接続」をタップする

! ご注意

- Wi-Fi QRコードで接続した Wi-Fi 名 (SSID) に対して、手動で接続を試みた場合(「ネットワークの選択」から本製品の Wi-Fi 名 (SSID) を選択した場合)、パスワード (暗号化キー) の再入力が必要となる可能性があります。パスワード (暗号化キー) を 12 ~ 63 文字の ASCII コードで設定すれば接続が可能です。
- ご使用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の機種とバージョンによっては、本製品の「セキュリティ」が「WPA3-SAE」のときは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のカメラビューでは、Wi-Fi QRコードを使った無線 LAN (Wi-Fi®) 接続ができないことがあります。暗号化モード(「セキュリティ」)はディスプレイで確認できます。

操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」→「セキュリティ」をタップ

- 3 本製品のディスプレイで、が表示されていることを確認する
接続台数が右上の数字で表示されます。

■ スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」で接続する

スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」の QR コードスキャン機能を使用して接続します。

- 1 App Store で「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードおよびインストールする
[< App Store >](#)



(2025 年 3 月現在)

上記 QR コードからうまくダウンロードできない場合、下記ホームページの商品ページの「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」タグにある QR コードからダウンロードしてください。

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/5/

memo

© スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応している iOS/iPadOS 端末でご利用いただけます。
2025 年 3 月現在では、iOS 端末 (対応 OS : iOS 13.0 以降) のご利用となります。
なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のデータ通信料はお客様さまご負担となります。

- 2 スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」を起動する
「オフライン」画面が表示されます。

- 3 「QR コードで接続」をタップする



iOS/iPadOS 端末のカメラが起動します。

- 4 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」→「QRコードで接続」をタップする
QRコードが表示されます。
- 5 Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool の QR コードスキャン機能を使用して QR コードを読み取る
本製品の Wi-Fi 名、パスワードが表示されます。
- 6 「接続」をタップする
Wi-Fi ネットワークへの接続確認画面が表示されます。
- 7 「接続」をタップする
ホーム画面が表示され、iOS/iPadOS 端末のステータスバーに Wi-Fi のアイコンが表示されたら、接続完了です。
- 8 本製品のディスプレイで、が表示されていることを確認する
接続台数が右上の数字で表示されます。

■ 手動で接続する

- 1 iOS/iPadOS 端末のネットワーク一覧画面より、本製品の Wi-Fi 名 (SSID) をタップする
本製品の Wi-Fi 名 (SSID) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)
- 2 「パスワード」に本製品のパスワード (暗号化キー) を入力する (半角英数)
本製品のパスワード (暗号化キー) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)
- 3 「接続」をタップする
iOS/iPadOS 端末のステータスバーに Wi-Fi のアイコンが表示されたら、接続完了です。
- 4 本製品のディスプレイで、が表示されていることを確認する
接続台数が右上の数字で表示されます。

スマートフォン／タブレット (Android™ 端末) を接続する

無線 LAN (Wi-Fi®) 対応の Android 端末で Wi-Fi QRコードで接続する方法と手動で接続する方法を説明しています。

■ Wi-Fi QR コードで接続する

・ Android の対応バージョン：Android10.0 以降

- 1 Android 端末のカメラを起動し、カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから QR コードを読み取る



・ 本製品の表示方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」－「QR コードで接続」－ QR コードを表示

- 2 Android 端末のカメラビュー画面下部に表示された「CPS01-XXXXXX」をタップし、Wi-Fi 画面で本製品が「接続済み」表示になっていることを確認する

- 3 本製品のディスプレイで、 が表示されていることを確認する
接続台数が右上の数字で表示されます。

！ ご注意

- ・ 事前に同一 Wi-Fi 名 (SSID) の設定を Android 端末に登録している場合、Android 端末の設定は更新されません。
- ・ ご使用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の機種とバージョンによっては、本製品の「セキュリティ」が「WPA3-SAE」のときは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のカメラビューでは、QR コードを使った無線 LAN (Wi-Fi®) 接続ができないことがあります。

■ スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」で接続する

- 1 Google Play ストアで「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードおよびインストールする

< Google Play ストア >



(2025 年 3 月現在)

上記 QR コードからうまくダウンロードできない場合、下記ホームページの商品ページの「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」タグにある QR コードからダウンロードしてください。

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/5/

memo

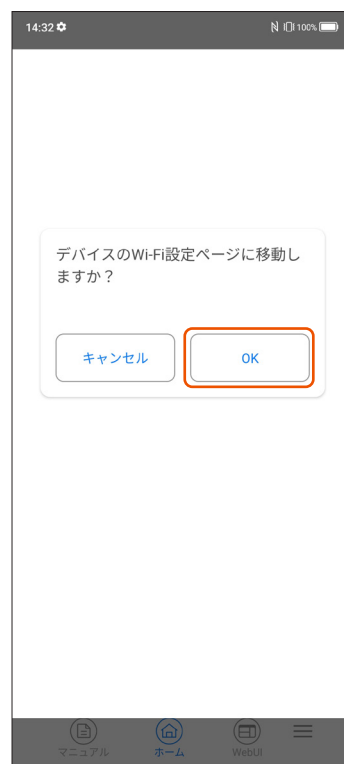
◎ スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。
2025 年 3 月現在では、Android 端末 (Android 10.0 以降) でのご利用となります。
なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のデータ通信料はお客様さまご負担となります。

- 2 スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」を起動する
「オフライン」画面が表示されます。

- 3 「再接続」をタップする



- 4 「OK」をタップする



お手持ちの Android 端末の Wi-Fi 設定画面に移動します。

5 ネットワーク一覧画面より、QR コードスキャン機能を立ち上げる

Android 端末のバージョンによっては QR コードスキャン機能を立ち上げることができません。その場合は「手動で接続する」を参照してください。(▶ 下記)

6 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」－「QR コードで接続」をタップする

QR コードが表示されます。

7 Android 端末の QR コードスキャン機能を使用して QR コードを読み取る

Android 端末のステータスバーに Wi-Fi 接続中のアイコンが表示されたら、接続完了です。

8 本製品のディスプレイで、 が表示されていることを確認する

接続台数が右上の数字で表示されます。

■ 手動で接続する

以下は、Android 端末での接続例です。Android 端末の取扱説明書などを参照してください。

1 Android 端末を起動し、「設定」をタップする**2 「Wi-Fi」をオンにする****3 Android 端末のネットワーク一覧画面より、本製品の Wi-Fi 名 (SSID) をタップする**

本製品の Wi-Fi 名 (SSID) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)

4 本製品のパスワード (暗号化キー) を入力する (半角英数)

本製品のパスワード (暗号化キー) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)

5 「接続」をタップする

Android 端末のステータスバーに Wi-Fi 接続中のアイコンが表示されたら、接続完了です。

6 本製品のディスプレイで、 が表示されていることを確認する

接続台数が右上の数字で表示されます。

WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する

本製品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN (Wi-Fi®) の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側も WPS に対応している必要があります。

WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した無線 LAN (Wi-Fi®) の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

- ・ディスプレイメニューによる設定 (▶ 下記)

！ ご注意

- Android 10.0 以降の端末に対応しています。
- 本製品の暗号化モードに「WPA3-SAE(AES)」または「なし (オープン)」を設定している場合、WPS 機能は使えません。

memo

- ◎ WPS 機能の接続設定は機器によって異なりますので、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。
- ◎ 本製品の設定で「Wi-Fi 名非表示機能 (Wi-Fi 名 (SSID) の隠蔽)」(▶ P.58) がオンのとき、WPS 機能での設定に失敗します。本製品側の設定を確認してください。
- ◎ WPS 機能での設定中は、他の無線 LAN (Wi-Fi®) 接続はいったん切断されることがあります。

ディスプレイメニューによる設定

本製品のディスプレイメニューで WPS 機能を起動させて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続します。設定方法は、「Windows パソコンを接続する」(▶ P.38) を参照してください。

設定の際は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は近くに置いた状態で設定してください。(目安：1m 程度)

- ・操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」－「WPS」

memo

- ◎ 「Wi-Fi Mac フィルタ」が有効になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスがホワイトリストに登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。(▶ P.75)

Windowsパソコンを接続する

Windows®11 で WPS による接続方法と手動で接続する方法を説明します。

■ WPS で接続する

- 1 パソコンの無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を有効にする
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンをクリックする



・ネットワークアイコンが表示されていない場合は、「スタート」キー→「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」→「利用できるネットワークを表示」をクリックする。

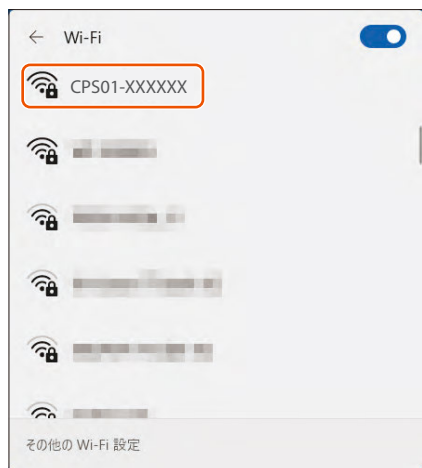
- 3 Wi-Fi アイコンの右側にある をクリックする



・Wi-Fiアイコンが青色ではなく白色の場合は、Wi-Fiがオフになっています。Wi-Fiアイコンをクリックしてオンにしてください。

- 4 ネットワークの一覧の中から、本製品の Wi-Fi 名 (SSID) を選択する

本製品の Wi-Fi 名 (SSID) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)



- 5 「自動的に接続」にチェックを入れて、「接続」をクリックする

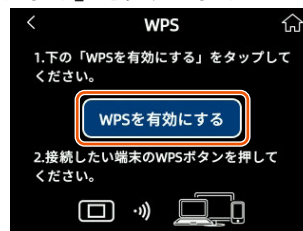


- 6 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」→「WPS」をタップする



WPS 画面が表示されます。

- 7 「WPS を有効にする」をタップする



「WPS 接続を待機中」の画面が表示され自動接続を行います。「WPS 接続に成功しました。」と表示されたら接続完了です。



- 8 本製品のディスプレイで、 が表示されていることを確認する
接続台数が右上の数字で表示されます。

■ 手動で接続する

1 パソコンの無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を有効にする

設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンをクリックする



・ネットワークアイコンが表示されていない場合は、「スタート」キー → 「設定」 → 「ネットワークとインターネット」 → 「Wi-Fi」 → 「利用できるネットワークを表示」をクリックする。

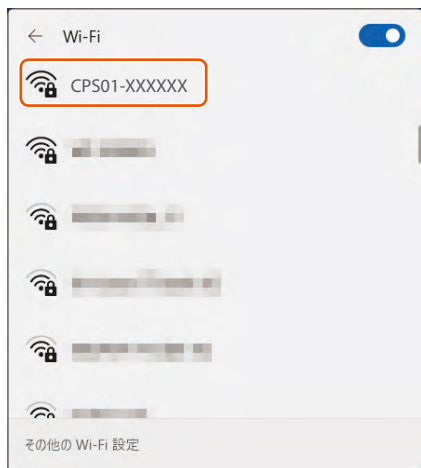
3 Wi-Fi アイコンの右側にある > をクリックする



・Wi-Fiアイコンが青色ではなく白色の場合は、Wi-Fiがオフになっています。Wi-Fiアイコンをクリックしてオンにしてください。

4 ネットワークの一覧の中から、本製品の Wi-Fi 名 (SSID) を選択する

本製品の Wi-Fi 名 (SSID) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)

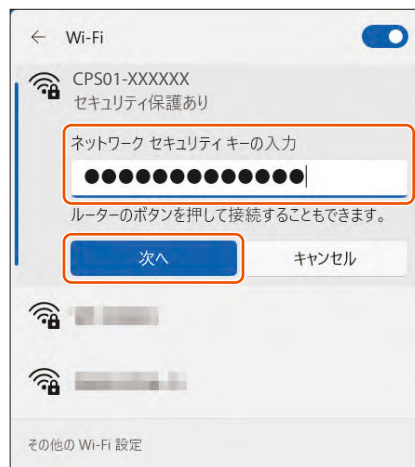


5 「自動的に接続」にチェックを入れて、「接続」をクリックする



6 「ネットワークセキュリティキーの入力」に本製品のパスワード (暗号化キー) を入力し、「次へ」をクリックする

本製品のパスワード (暗号化キー) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)



7 本製品のディスプレイで、👤 が表示されていることを確認する

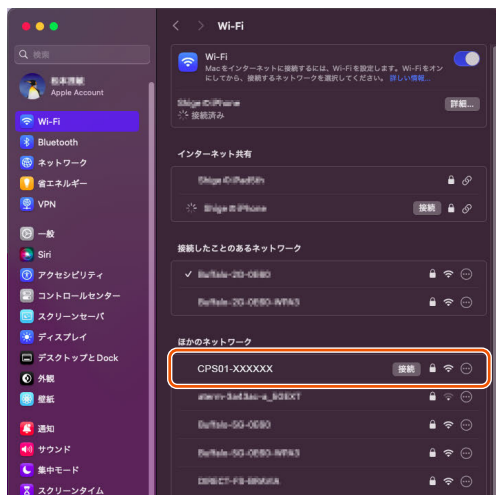
接続台数が右上の数字で表示されます。

Macを接続する

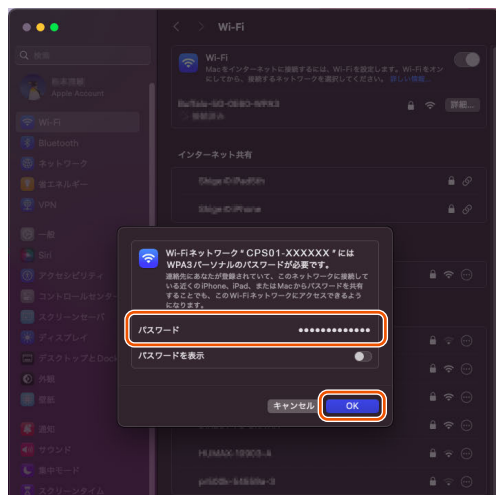
macOS 15 を手動で接続する方法を説明します。

■ 手動で接続する

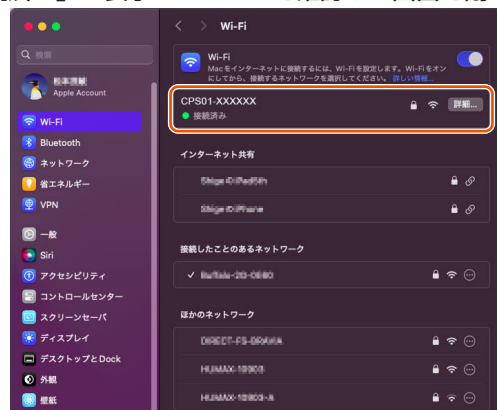
- 1 Mac の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を有効にする
設定方法は、Mac の取扱説明書などを参照してください。
- 2 アップルメニューの「システム設定」－「ネットワーク」アイコンをクリックする
- 3 サービスリストから「Wi-Fi」を選択する
- 4 ネットワークの一覧で本製品の Wi-Fi 名 (SSID) の「接続」をクリックする
本製品の Wi-Fi 名 (SSID) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)



- 5 「パスワード」に本製品のパスワード (暗号化キー) を入力して、「OK」をクリックする
本製品のパスワード (暗号化キー) は、ホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」から確認してください。(▶ P.33)



- 6 「接続済み」と表示されたことを確認して画面を閉じる



- 7 本製品のディスプレイで、 が表示されていることを確認する
接続台数が右上の数字で表示されます。

3-2 USBで接続する

USB接続モードについて

本製品とパソコンを USB ケーブル（市販品）で接続して、充電やデータ通信ができます。

本製品には次の 2 つの接続モードがあります。

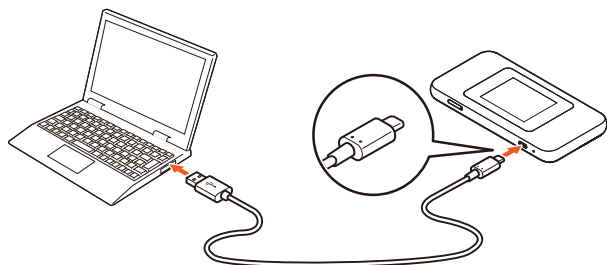
- USB テザリング（オン）： USB 接続したパソコンから充電を行いながら、データ通信ができます。
- USB テザリング（オフ）： USB 接続したパソコンから充電のみを行います。

お買い上げ時の USB 接続モードは USB テザリングはオンに設定されています。USB 接続でデータ通信を行うには、USB 接続モードを USB テザリングをオンに設定したままご利用ください。（▶ P.78）

WindowsパソコンにUSBで接続する場合

1 本製品の USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブル（市販品）で接続する

本製品のディスプレイに USB アイコン  が表示されます。



memo

- ◎ USB コネクタ（Type-C）は本製品の USB ポート（Type-C）にまっすぐに差し込んでください。
- ◎ USB コネクタ（Type-A）の表と裏を逆にすると接続できません。逆にした状態で無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。

MacにUSBで接続する場合

本製品を USB 接続で初めてネットワーク接続するとき、以下の設定が必要な場合があります。

macOS 15 の例：

- 1 本製品の USB ポートと Mac の USB ポートを USB ケーブル（市販品）で接続する**
「アクセサリの接続を許可しますか？」と画面表示されたときは「許可」をクリックします。表示されないときは手順 2 へお進みください。
- 2 アップルメニューの「システム設定」－「ネットワーク」アイコンをクリックする**
「ネットワーク」の画面が表示されます。
- 3 「CPS01」をクリックして、IPv4 の構成で「DHCP サーバを使用」が表示されていることを確認する**

memo

- ◎ USB コネクタ（Type-C）は本製品の USB ポート（Type-C）にまっすぐに差し込んでください。
- ◎ USB コネクタ（Type-A）の表と裏を逆にすると接続できません。逆にした状態で無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。
- ◎ USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB 2.0 以上でのご使用をおすすめします。
なお、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
本製品は USB ハブ（市販品）を使用して接続しないでください。
- ◎ 本製品を USB ケーブル（市販品）経由でパソコンに取り付けた状態で自動電源オフまたは自動 Wi-Fi オフの状態になると、正常に動作しない場合があります。自動電源オフまたは自動 Wi-Fi オフをオンに設定したときは必ず USB ケーブル（市販品）を取り外してください。
また、本製品を USB ケーブル（市販品）経由でパソコンに取り付けた状態で再起動や電源を入ると、正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に USB ケーブル（市販品）を取り外してください。
- ◎ 本製品を USB ケーブル（市販品）経由でパソコンに取り付けても動作しない場合は、いったん USB ケーブル（市販品）を取り外した上で約 5 秒以上待ってから再度取り付けてください。（お使いのパソコンや環境によっては、約 5 秒待ってから取り付けても正しく認識できない場合があります。その場合は、さらに時間をおいて、いったん本製品の電源をオフ / オンしてから取り付けてください。）

3-3 ドックで接続する

ドックでできること

- 指定の充電用機器（別売）を使用することで、Speed Wi-Fi本体を充電することができます。（▶ P.19）
- パソコンと有線 LAN で接続することができます。
- パソコンやスマートフォンなどの無線 LAN 対応端末と無線 LAN（Wi-Fi®）で接続することができます。ドックに接続すると、より安定してインターネットに接続できます。
- Speed Wi-Fi本体を介して WAN 側の回線に接続でき、Speed Wi-Fi本体をルーターとして利用できます。
- Speed Wi-Fi本体をブリッジモードに設定すると、ルーター機能が無効になり、ドックを使って有線 LAN 接続のブリッジモードとして利用できます。
- Speed Wi-Fi本体をドック経由でインターネットに接続されたブロードバンドルーターの有線 LAN ポートに接続すると、Speed Wi-Fi本体を Wi-Fiアクセスポイントとして使用できます（この場合、ドックに接続すると Speed Wi-Fi本体のルーター機能は停止し、WAN 側の回線には接続できません）。

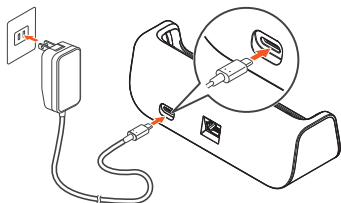
パソコン等を有線LANで接続する場合

Speed Wi-Fi本体の動作モードは、工場出荷時は「ルーターモード」に設定されています。

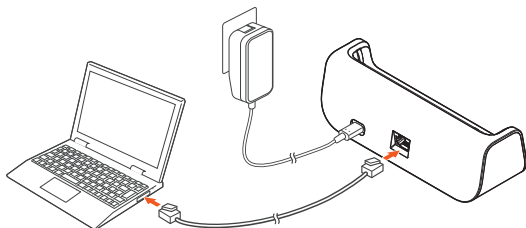
以下、工場出荷時の状態でパソコンと有線 LAN で接続する方法を説明します。

指定の充電用機器（別売）を利用して充電していないと、有線 LAN での通信はできません。

- 1 ドックの充電用機器接続ポートに、AC アダプタ（別売）の USB コネクタ（Type-C）を接続し、AC アダプタ（別売）の電源プラグを電源コンセントに接続する

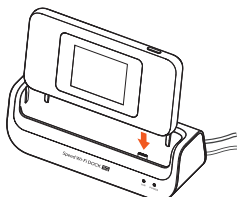


- 2 ドックの Ethernet ポートとパソコンの Ethernet ポートを、Ethernet ケーブル（市販品）で接続する

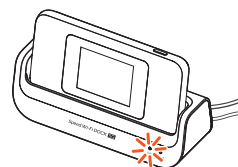


- 3 Speed Wi-Fi 本体の電源を入れる
- 4 ドックに Speed Wi-Fi 本体をセットする

ドックのドックポートと Speed Wi-Fi 本体の USB ポートを合わせ、まっすぐ奥まで確実にセットしてください。



- 5 LAN ランプが緑点灯／緑点滅していることを確認する



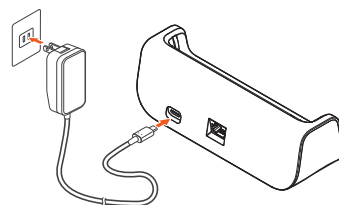
LAN ランプが緑点灯／緑点滅しない場合は、Speed Wi-Fi 本体をドックにセットし直してください。

ブロードバンドルーターと有線LAN接続して無線LANアクセスポイントにする場合

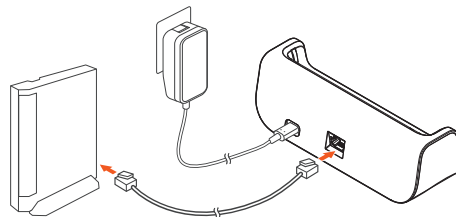
Speed Wi-Fi 本体の動作モードは、工場出荷時は「ルーターモード」に設定されていますが、Speed Wi-Fi 本体がドックの Ethernet ポートを通して、Ethernet ケーブル（市販品）でブロードバンドルーターに接続されると、自動的に「アクセスポイントモード」に切り替わります。

以下、アクセスポイントモードに切り替わる手順を説明します。

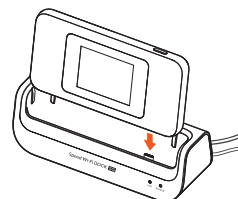
- 1 ドックに AC アダプタ（別売）を接続し、AC アダプタ（別売）の電源プラグを電源コンセントに接続する



- 2 ブロードバンドルーターとドックの Ethernet ポートを Ethernet ケーブル（市販品）で接続する



- 3 Speed Wi-Fi 本体の電源を入れ、ドックにセットする



- 4 パソコンなどを無線 LAN（Wi-Fi®）接続する
無線 LAN（Wi-Fi®）接続については、「3-1 無線LAN（Wi-Fi®）で接続する」（▶ P.31）を参照してください。

4 章 WAN 側回線の接続設定

4-1 WAN側回線接続	44
4-2 通信モードを切り替える.....	45

4-1 WAN側回線接続

本製品は、指定の WAN 側回線のプロファイル（インターネットサービスプロバイダなどとの接続設定）が初期値で設定されていますので、通常はそのままお使いいただけます。

本製品にあらかじめ設定されているプロファイル（プロファイル名「INTERNET」）でインターネットの接続ができます。

新規にプロファイルを作成する場合

新規にプロファイルを作成する場合や、UQ WiMAX 以外でご契約の WiMAX 事業者からインターネット接続に必要な接続設定情報（ユーザー名、パスワードなど）が指定されている場合は、以下の手順に従い WebUI でプロファイルの追加を行ってください。

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.188.1」を入力して WebUI を開く

3 ログイン画面で、WebUI パスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

「パスワード」には WebUI パスワードを入力してください。

- WebUI パスワードについては「WebUI にログインする」(▶ P.68) を参照してください。

- WebUI パスワードは、ディスプレイで確認できます。

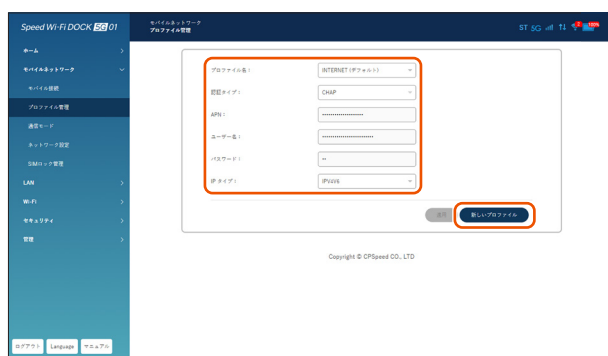
操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」－「WebUI 情報」－「WebUI パスワード」



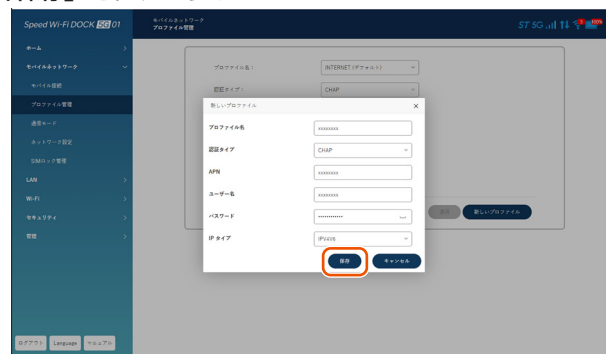
4 「モバイルネットワーク」の「プロファイル管理」をクリックする

5 「新しいプロファイル」を選択して、契約されている WiMAX 事業者の APN などの設定情報を入力する

- 表示内容はグレーアウトされている場合があります。
- ご不明な点は契約された WiMAX 事業者にお問い合わせください。



6 「保存」をタップする



新しいプロファイルが自動で適用されます。

4-2 通信モードを切り替える

WAN 側回線の電波受信レベルが不安定になったり圏外になったりしたときなどは通信モードを切り替えると、電波受信レベルが上がり、安定した WAN 側回線接続ができる場合があります。

本製品は、以下の通信モードを選択いただけます。

スタンダードモード (ST)	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。
プラスエリアモード (+A)	5G、LTE、または WiMAX 2+ ネットワークに接続します。「スタンダードモード」(ST) より広いエリアでの通信が可能となります。

※ 初期設定は、「スタンダードモード」(ST) です。

！ ご注意

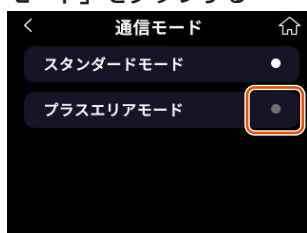
- 「プラスエリアモード」(+A) を設定すると、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合がございますので、ご注意ください。

「プラスエリアモード」(+A)に切り替える

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「通信モード」をタップする

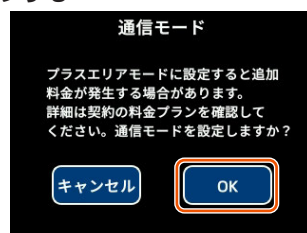


- 2 「プラスエリアモード」をタップする



通信モード切り替えの確認画面が表示されます。

- 3 「OK」をタップする



- 4 ステータスバーに、+A が表示されることを確認する

memo

◎ 「スタンダードモード」(ST) に戻すときは、手順 2 の画面で「スタンダードモード」をタップします。

ネットワークモードを切り替える

以下のネットワークモードを選択いただけます。

5G (推奨)	5G のネットワークを利用します。
4G	4G のネットワークを利用します。5G には接続しません。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「ネットワークモード」をタップする



- 2 設定したいネットワークモードをタップする
・ 初期設定：5G (推奨)



ネットワークモード変更の確認画面が表示されます。

- 3 「OK」をタップする



5G SA機能を設定する

「5G SA」をオンに設定すると、5G SA 方式を利用します。オフに設定すると、5G SA 方式を利用しません。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「5G SA」の「」をタップしてオンまたはオフを設定する
・ 初期設定：オン



！ ご注意

- 表示される内容は、利用する SIM の種類などによって異なる場合があります。
- 「ネットワークモード」を「4G」に設定した場合、「5G SA」の設定／表示はできません。

5 章 便利な機能

5-1 5GHz帯で利用する	47
5-2 スマートフォンアプリを使う.....	48
5-3 Wi-Fi設定お引越し機能を使う.....	51
5-4 省電力に関する機能を使う.....	52
5-5 データ使用量の設定を行う.....	55
5-6 その他の便利な機能.....	56

5-1 5GHz帯で利用する

本製品では、無線 LAN (Wi-Fi®) に 5GHz 帯を利用することができません。

本製品のディスプレイメニューまたは WebUI で設定します。

！ ご注意

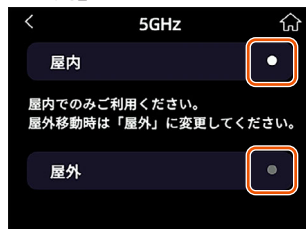
- 5GHz 帯域を使用する場合、5.2GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 「Wi-Fi 周波数」の設定で「5GHz」を「屋内」で使用しているとき、自動電源オフ状態に移行しても、「5GHz」は「屋内」を使用していますので、屋外に移動しないでください。屋外に移動する場合は、設定の「5GHz」を「屋外」または「Wi-Fi 周波数」を「2.4GHz」に変更してください。
- 「Wi-Fi 周波数」の設定で「5GHz」を「屋外」に選択したときは、気象レーダーなどとの干渉を避けるために DFS チェック (▶ P.32) が行われます。
- 「Wi-Fi 周波数」の設定後、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が切断されます。再度、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してください。
- 動作モードが「ブリッジモード」の場合、WebUI で「Wi-Fi 周波数」を設定することはできません。WebUI で「Wi-Fi 周波数」の設定を変更する場合は、「ブリッジモード」をオフにしてから操作してください。

■ ディスプレイメニューで設定する場合

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」
－ 「Wi-Fi 周波数」をタップする
- 2 「5GHz」の「●」をタップしてオンにする



- 3 「屋内」または「屋外」をタップする



設定を変更すると、変更処理中の画面のあと確認画面が表示されます。

- 4 「OK」をタップする。

■ WebUI で設定する場合

- 1 WebUI を起動する (▶ P.67)
- 2 ログイン画面で、WebUI パスワードを入力し「ログイン」をクリックする
「パスワード」には WebUI パスワードを入力してください。
・ WebUI パスワードについては「WebUI にログインする」(▶ P.68) を参照してください。
- 3 「Wi-Fi」の「Wi-Fi 詳細設定」をクリックする
- 4 「5GHz」の「周波数設定」で「屋内」、または「屋外」を選択する
- 5 「適用」をクリックする
メッセージが表示されます。
- 6 内容を確認して「OK」をクリックする

5GHz帯と2.4GHz帯を同時利用する

5GHz 帯と 2.4GHz 帯の周波数帯を同時に利用する設定ができます。

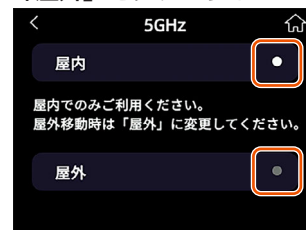
！ ご注意

- 「ECO モード」をオンにすると、Wi-Fi 周波数は「5GHz」がオフになり、「2.4GHz」のみがオンになります。
- 動作モードが「ブリッジモード」の場合、WebUI で「Wi-Fi 周波数」を設定することはできません。WebUI で「Wi-Fi 周波数」の設定を変更する場合は、「ブリッジモード」をオフにしてから操作してください。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」
－ 「Wi-Fi 周波数」をタップする
- 2 「2.4GHz」と「5GHz」がいずれもオンになるように「●」をタップする



- 3 「屋内」または「屋外」をタップする



設定を変更すると、変更処理中の画面のあと確認画面が表示されます。

- 4 「OK」をタップする。

memo

◎ 2.4GHz/5GHz 同時利用設定時のステータスアイコン表示は が表示されます。

5-2 スマートフォンアプリを使う

本製品の情報を、スマートフォンなどにインストールしたアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」(以降「スマートフォンアプリ」)で確認することができます。

<アプリでできること>

確認・操作項目	内容	掲載画面
本製品の状態表示	WAN 側回線の種類	ホーム画面
	アンテナレベルと電波状態	ホーム画面
	通信モード	ホーム画面
	LAN 側状態 (周波数帯と接続台数)	ホーム画面
	電池残量	ホーム画面
	データ使用量 (月間)	ホーム画面
設定操作	言語	アプリ設定画面
	ダークモード設定	アプリ設定画面
	アプリバージョン	アプリ設定画面
アクセス (起動) 操作	WebUI 起動	メニュー画面
	取扱説明書掲載ページ起動	メニュー画面

！ ご注意

- スマートフォンアプリは、ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) に接続しているスマートフォンからはご利用できません。
- 「ブリッジモード」がオンの場合、スマートフォンアプリから WebUI に接続できません。端末設定を変更するには、ウェブブラウザから WebUI の URL (初期設定値は <http://192.168.188.1>) を入力していただくか、「ブリッジモード」をオフにしてからスマートフォンアプリを操作してください。

「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」をダウンロード／インストールする

- 1 スマートフォンなどから、Google Play ストアや App Store で「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードページを開く

< Google Play ストア >

< App Store >



(2025 年 3 月現在)

上記 QR コードからうまくダウンロードできない場合、下記ホームページの商品ページの「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」タグにある QR コードからダウンロードしてください。

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/5/

memo

© 2025 年 3 月現在では、iOS 端末 (対応 OS : iOS 13.0 以降)、Android 端末 (Android 10.0 以降)、iPadOS 端末 (対応 OS : iPadOS 13.0 以降) でのご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のデータ通信料はお客様まで負担となります。

- 2 ダウンロードページからスマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」をダウンロードおよびインストールする

- 3 スマートフォンアプリ「Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool」を起動する

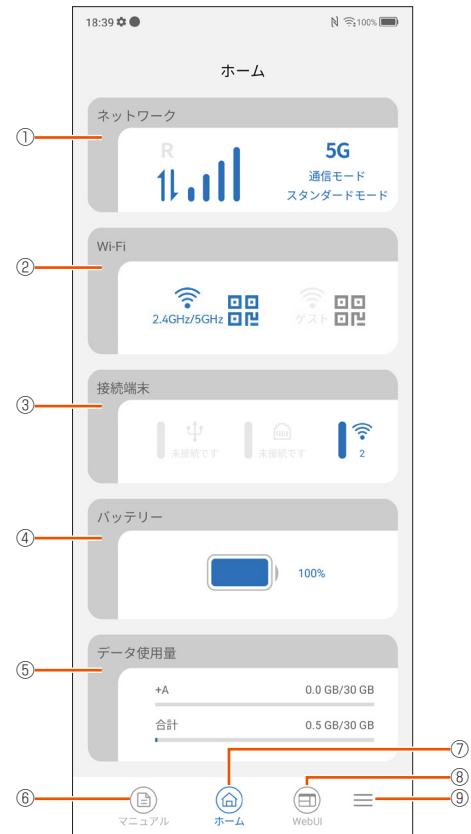
情報表示

情報は、一定間隔で更新されます。

表示内容は OS やバージョンによって異なります。

※ 本製品で、ホーム画面以外を表示中は、スマートフォンアプリで設定できません。また、スマートフォンアプリで設定中に本製品のディスプレイを操作すると、スマートフォンアプリでの設定が中断される場合があります。ディスプレイをホーム画面表示にしてください。

ホーム画面



<Android 端末の画面例>

① ネットワーク

WAN 側回線の信号の強度を 4 段階で表示します。(圏外の場合は、 が表示されます。)

通信しているとき、送信時は が、受信時は が点灯します。

また、国際ローミングをオンに設定していて、ローミングネットワークに接続しているときは が点灯します (海外利用可能な通信事業者をご契約の場合)。

② Wi-Fi

無線 LAN (Wi-Fi®) の状態 (電波状態) と Wi-Fi 周波数を表示します。

③ 接続端末

USB ケーブルや Ethernet ケーブルで接続している端末と、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の台数を表示します。

④ バッテリー

電池アイコンと%で電池残量を表示します。 は充電中の表示です。

⑤ データ使用量

月間のデータ使用量を表示します。

⑥ マニュアル

取扱説明書や WebUI の操作マニュアルなどが掲載されているホームページを表示します。

⑦ ホーム

ホーム画面 (メイン画面) に戻します。

⑧ WebUI

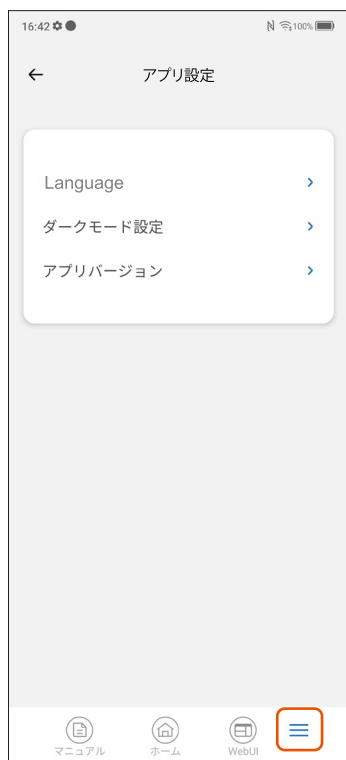
「WebUI」を表示します。

⑨ アプリ設定

アプリ設定 (Language、ダークモード設定、アプリバージョン) を表示します。

アプリ設定

アプリ設定メニュー（Language、ダークモード設定、アプリバージョン）から、各種設定や確認ができます。



<Android 端末の画面例>

言語画面（言語選択画面）

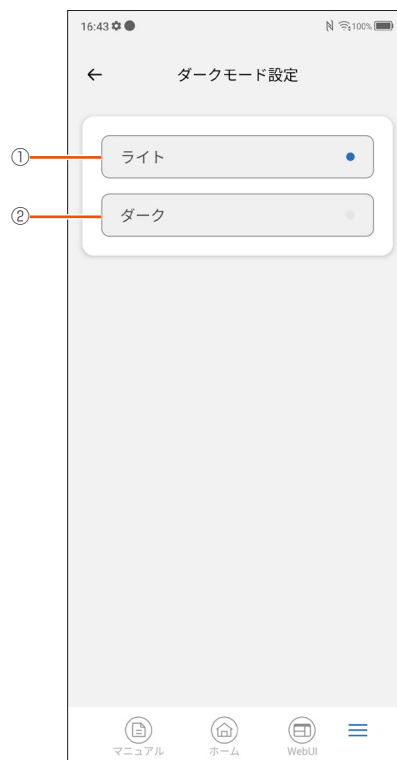


<Android 端末の画面例>

① 言語選択タブ

スマートフォンアプリでの言語表示が選んだ言語に切り替わります。

ダークモード設定画面



<Android 端末の画面例>

① ライト

スマートフォンアプリの表示イメージを明るくします。

② ダーク

スマートフォンアプリの表示イメージを暗くします。

アプリバージョン画面



<Android 端末の画面例>

① 現在のバージョン

現在のスマートフォンアプリのバージョンを表示します。

② 新しいバージョンを確認

スマートフォンアプリの新しいバージョンがあるかどうか、確認します。
現在お使いのバージョンよりも新しいソフトウェアバージョンがある場合、
アプリ内でソフトウェア更新ができます。

お知らせ機能

スマホアプリ

スマートフォンなどにインストールしたスマートフォンアプリで、本製品の電池残量が 20% 以下になるとプッシュ通知します。

！ ご注意

- スマートフォンが通知を受け取れる状態（通知許可）であることが必要です。
- iOS または iPadOS をご利用の場合は、通知が遅くなる場合があります。

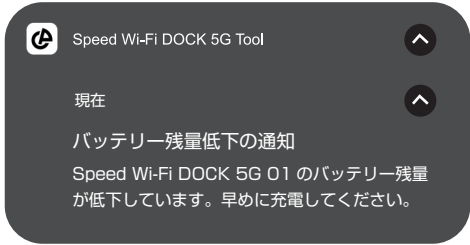
■ 表示内容

メッセージ	表示例	説 明
Speed Wi-Fi DOCK 5G 01 のバッテリー残量が低下しています。早めに充電してください。	①	本製品の電池残量が 20% 以下になるとプッシュ通知します。

■ 表示例

スマートフォンなどのステータスバーに表示される通知内容を確認してください。

①



5-3 Wi-Fi設定お引越し機能を使う

「Wi-Fi設定お引越し」機能を使うと、以前に使用していたルーターの無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を、本製品へ引き継ぐことができます。無線 LAN (Wi-Fi®) 設定のやり直しなどの作業が不要です。

！ ご注意

- これまでお使いのルーターの暗号化モードが「WPA3」設定の場合は、本機能は使用できません。

memo

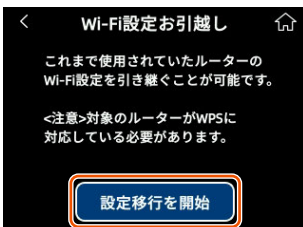
- ◎ これまでお使いのルーターが WPS に対応している必要があります。また、これまでお使いのルーターの機能・設定内容（使用不可の文字や暗号化モードなど）によって、無線 LAN (Wi-Fi®) 設定が引き継がれない場合があります。
- ◎ これまでお使いのルーターから引き継ぐ内容は、下記の通りです。
 - ・ Wi-Fi 名 (SSID)
 - ・ 暗号化モード
 - ・ パスワード (暗号化キー)
 引き継いだ Wi-Fi 名 (SSID) は、Wi-Fi 名 (SSID) に引き継ぎします。（ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) には引き継がれません。）

設定方法

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」－「Wi-Fi 設定お引越し」をタップする



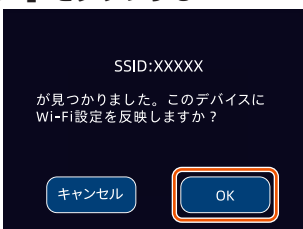
- 2 確認画面を読んで「設定移行を開始」をタップする



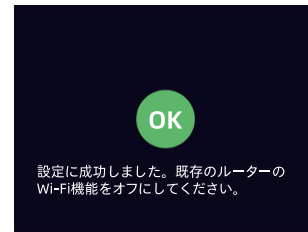
- 3 これまでお使いのルーターの WPS 機能を実行する

WPS 機能の実行のしかたは、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

- 4 確認画面で「OK」をタップする



- 5 設定成功画面が表示されたらこれまでお使いのルーターの電源を切る



- 6 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「Wi-Fi」－「Wi-Fi 名」がこれまでお使いのルーターの Wi-Fi 名 (SSID) になっていることを確認する

memo

- ◎ これまでお使いのルーターの暗号化モードが暗号化なしの場合、Wi-Fi 名 (SSID)・パスワード (暗号化キー) に使えない記号、スペース文字が含まれている場合は、本機能は無効となります。（使用できる文字は、「8-5 Wi-Fi」の「Wi-Fi 基本設定」(▶ P.74) を参照してください。)
- 「文字が無効のため、設定を引き継げません。手動で設定してください。」と表示されるので、「ホームへ」を選択・決定して手動で設定してください。

！ ご注意

- Wi-Fi 設定お引越し機能で引き継いだ Wi-Fi 名 (SSID) とパスワード (暗号化キー) は、控えておいてください。なお、本製品をリセット (初期化) (▶ P.62) すると、工場出荷時の設定に戻ります。

5-4 省電力に関する機能を使う

ディスプレイ設定

ディスプレイが自動消灯するまでの時間や、ディスプレイの明るさを設定できます。

ディスプレイ自動オフ

本製品は、ディスプレイが消灯するまでの時間は工場出荷時「15 秒」に設定されています。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「ディスプレイ」－「ディスプレイ自動オフ」をタップする



- 2 ディスプレイが消灯するまでの時間を選んでタップする



memo

◎ 下記の画面表示中はディスプレイ自動オフ（初期設定：15 秒）は無効となります。

- ・ Wi-Fi
- ・ Wi-Fi 名
- ・ パスワード
- ・ デバイス情報
- ・ WebUI 情報
- ・ 認証
- ・ 設定
- ・ ゲスト Wi-Fi 名
- ・ ゲストパスワード

◎ 下記のときはディスプレイ自動オフ（初期設定：15 秒）は無効となります。

- ・ ドック接続して充電中
- ・ ドックのスクリーンセーバーを自動表示中

◎ 下記のときは、ディスプレイ自動オフおよび自動オフ時間の設定にかかわらず、2 分間ディスプレイ表示します。

- ・ WPS 接続を待機中
- ・ 最新ソフトウェアがあるか確認中

明るさ

ディスプレイの明るさを「暗い」「普通」「明るい」の 3 つから選んで設定できます。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「ディスプレイ」－「明るさ」をタップする



- 2 ディスプレイの明るさを選んでタップする
・ 初期設定：普通



省電力機能

ECOモード

WAN 側回線、無線 LAN (Wi-Fi®) での通信速度を制限することにより電力の消費を抑え、連続動作時間を延ばすことができます。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「省電力機能」をタップする
- 2 「ECO モード」の「☐」をタップしてオンまたはオフを設定する
・ 初期設定：オフ



・ WebUI の「管理」－「省電力設定」の「ECO モード」でも設定できます。（▶ P.78）

メニュー	特徴
ECO モード オフ	・ バッテリーの残量が少ない時でも通信速度を制限しません（バランス優先）。 ・ WAN 側の無線通信状態が優先される場合に適した設定です（性能優先）。
ECO モード オン	・ 通信速度を制限し、バッテリーの連続動作時間を延長します（省電力優先）。

オンにすると確認画面が表示されます。画面の内容を確認して「OK」をタップしてください。

! ご注意

- ・ 「ECO モード」をオンにすると、Wi-Fi 周波数は「5GHz」がオフになり、「2.4GHz」のみがオンになります。

memo

◎ 「ECO モード」をオンにすると、Wi-Fi 接続が中断されることがあります。

◎ 「ECO モード」がオンで通信速度が制限される場合、本機の通信速度性能が低下します。

自動Wi-Fiオフ

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と通信していない時間は自動的に無線 LAN (Wi-Fi®) 機能がスリープし、消費電力を抑える機能です。
本製品は、工場出荷時「自動 Wi-Fi オフ」はオンに設定されています。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「省電力機能」－「待機状態設定」をタップする



- 2 「自動 Wi-Fi オフ」の「」をタップしてオンまたはオフを設定する



自動 Wi-Fi オフするまでの時間を設定することもできます。詳しくは「自動オフ時間設定」(▶ P.54) を参照してください。

- WebUI の「管理」－「省電力設定」の「自動 Wi-Fi オフ」でも設定できます。(▶ P.78)

！ご注意

- 「自動 Wi-Fi オフ」を使用すると、設定された時間になると Wi-Fi 接続が自動的にオフになります。自動 Wi-Fi オフ状態から復帰するには、電源ボタンを 3 秒間長押しすることで Wi-Fi 接続がオンになります。

自動電源オフ

自動電源オフをオンにすると、ディスプレイオフの状態でも Wi-Fi と USB の接続がない状態の場合、自動オフ時間設定で選択された時間（初期設定：10 分）が経過すると、自動で電源がオフになります。自動電源オフは WebUI の「高速起動」を「オン」に設定しているときのみオンにできます。（初期設定：オン）

WAN 側回線通信は切断されます。

自動電源オフ状態に設定した場合、待機時間が長くなります。

本製品は、工場出荷時「自動電源オフ」はオフに設定されています。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「省電力機能」－「待機状態設定」をタップする



- 2 「自動電源オフ」の「」をタップしてオンまたはオフを設定する



自動電源オフするまでの時間を設定することもできます。詳しくは「自動オフ時間設定」(▶ P.54) を参照してください。

- WebUI の「管理」－「省電力設定」の「自動電源オフ」でも設定できます。(▶ P.78)

<自動電源オフ状態からの復帰>

電源ボタンを 3 秒間長押しすると「Speed Wi-Fi DOCK 5G 01」と表示され、本製品が起動します。

memo

◎ 下記の場合は自動電源オフ機能が無効となります。

- ソフトウェアバージョンを更新している
- データ通信量計測機能を使用している
- USB 接続している
- 高速起動をオフに設定している

自動オフ時間設定

「自動 Wi-Fi オフ」および「自動電源オフ」をオンにしたときに、オフにするまでの時間を設定します。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「省電力機能」－「待機状態設定」をタップする

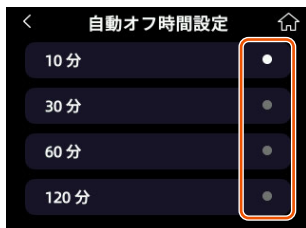


- 2 「自動オフ時間設定」をタップする



- 3 自動でオフになるまでの時間を選んでタップする

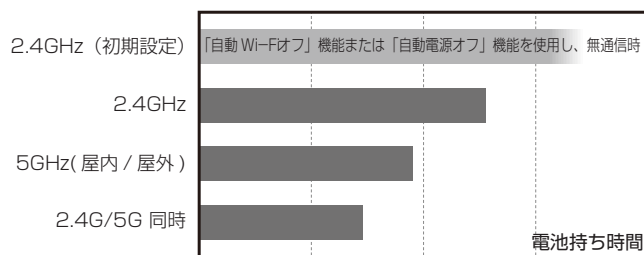
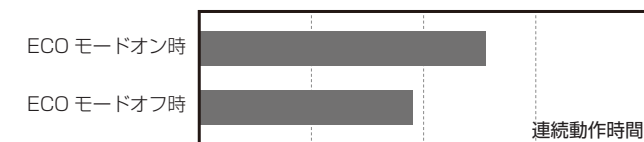
・初期設定：10 分



memo

◎ 本製品の設定と連続動作時間の関係は次の通りです。

- ・「ECO モード」がオンで、「Wi-Fi 周波数」設定が「2.4GHz」の場合、連続動作時間が長くなります。
- ・「自動 Wi-Fi オフ」機能または「自動電源オフ」機能をオンにすると、通信していないときの電池持ちが長くなります。



※ グラフは目安です。

5-5 データ使用量の設定を行う

月ごとのデータ使用量に応じて、通知する使用量を設定したり、表示最大使用量を設定することができます。

また、通知設定を「通知して通信を停止する」にすると、通知使用量に達したときに通知して通信が停止するため通信を制限できます。

通知使用量

ここで設定したデータ使用量に達すると本製品に通知、あるいは通知して通信を停止します。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「データ使用量」－「設定」－「通知使用量」をタップする



- 2 通知する使用量を入力して「OK」をタップする



「表示最大使用量」の範囲内で入力してください。

- WebUI の「管理」－「データ使用量」の「通知使用量」(GB) でも設定できます。詳しくは「8-7 管理」の「データ使用量」(▶ P.78) を参照してください。

表示最大使用量

本製品で利用できるデータの最大量を設定します。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「データ使用量」－「設定」－「表示最大使用量」をタップする



- 2 表示最大使用量を入力して「OK」をタップする



150 までの範囲内で入力してください。

- WebUI の「管理」－「データ使用量」の「表示最大使用量」(GB) でも設定できます。詳しくは「8-7 管理」の「データ使用量」(▶ P.78) を参照してください。

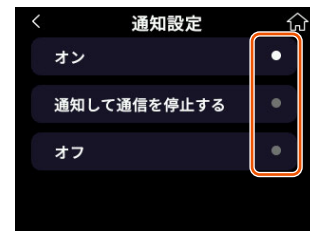
通知設定

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「データ使用量」－「設定」－「通知設定」をタップする



- 2 通知設定を選んでタップする

- 初期設定：オン



オン	通知使用量で設定したデータ使用量に達したときに通知します。
通知して通信を停止する	通知使用量で設定したデータ使用量に達したときに通知して、通信を停止します。
オフ	通知はされません。

- WebUI の「管理」－「データ使用量」の「通知設定」でも設定できます。詳しくは「8-7 管理」の「データ使用量」(▶ P.78) を参照してください。

5-6 その他の便利な機能

IPフィルタ機能

あらかじめ設定した条件に従って、インターネットへ通過するパケットを制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

本製品では、「ホワイトリスト/ブラックリスト」を最大 32 個追加できます。WebUI で設定します。(▶ P.76)

ポートマッピング

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。

本機能によりグローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。

必要に応じて NAT エントリ設定をすることで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルーター機能ではアドバンスド NAT 機能 (NAPT) が働いてオンラインゲームができなくなる場合があります。

これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、オンラインゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

このほか、本製品のルーター機能を使っている環境に外部からアクセスすることが可能です。

WebUI で設定します。(▶ P.77)

ブリッジモード

本製品の「ブリッジモード」をオンにすると、ルーター機能を停止し、接続できる端末は 1 台だけになります。(初期設定：オフ)

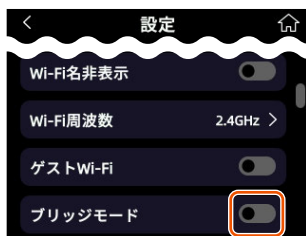
ブリッジモードをオンにした本製品をドックに接続し、有線 LAN 接続のブリッジモードとして利用できます。

！ ご注意

- ブリッジモードをオンに設定すると本製品は再起動します。ブリッジモードで起動後は、最初の 1 台だけ接続できます。

ブリッジモードに設定する

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」をタップする
- 2 「ブリッジモード」の「」をタップしてオンまたはオフを設定する



オンにすると確認画面が表示されます。画面の内容を確認して「OK」をタップしてください。

本製品が再起動されます。

表示言語を切り替える

ディスプレイに表示される言語を日本語以外の、英語、中国語、韓国語に切り替えることができます。

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「Language」をタップする



- 2 表示したい言語をタップする



- WebUI のトップページ、および詳細設定画面でも選択できます。詳しくは「WebUI のトップページ」(▶ P.67) または「WebUI の詳細設定画面」(▶ P.68) を参照してください。

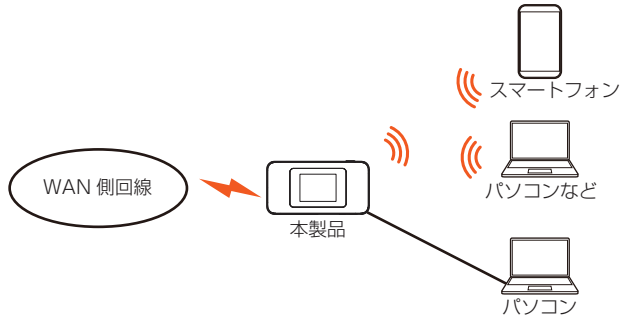
6 章 セキュリティ対策をする

6-1 セキュリティ機能について.....	58
6-2 初期パスワードの変更について.....	61

6-1 セキュリティ機能について

セキュリティ機能について

本製品には、WAN 側からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能と、無線 LAN (Wi-Fi®) ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないためのセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの対策を行うことができます。セキュリティ対策の詳細については各ページを参照してください。



WAN 側セキュリティ

- ・ IP フィルタ機能 (▶ P.56)
- ・ アドバンスド NAT (NAPT) (▶ P.59)
- ・ 不正アクセス検出機能 (▶ P.59)

無線 LAN (Wi-Fi®) 内ネットワークセキュリティ

- ・ 暗号化* (▶ 右記)
- ・ MAC フィルタ機能 (▶ P.59)
- ・ Wi-Fi 名非表示機能 (Wi-Fi 名 (SSID) の隠蔽) (▶ 右記)
- ・ プライバシーセパレーター機能 (▶ P.59)

* 本製品は、工場出荷時の状態で「Wi-Fi 名 (SSID)」と「ゲスト Wi-Fi 名 (SSID)」に AES の暗号化が設定されています。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

- ◎ インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることとなります。悪意のある第三者から、パソコンやルーターに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることもあります。特にインターネットに常時接続したり、サーバーなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本製品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをおすすめします。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末による無線通信を行う場合は、無線 LAN (Wi-Fi®) 内のセキュリティを行うことをおすすめします。無線 LAN (Wi-Fi®) 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、お客さまになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

暗号化

本製品で使用しているパスワード (暗号化キー) (任意の文字列) と同じキーを登録した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のみ無線 LAN (Wi-Fi®) 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

1 つのネットワークでご利用になれる暗号化モードは 1 つです。

■ 暗号化モードについて

● TKIP/AES

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) は、Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2/WPA3) に採用された暗号化モードです。

一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行います。

AES (Advanced Encryption Standard) は、米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化モードです。TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

memo

- ◎ 暗号化の設定は必ず本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末で同じ設定にしてください。
- ◎ 複数の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を使用する場合、すべての無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に本製品と同じパスワード (暗号化キー) を設定してください。
- ◎ TKIP、AES の暗号化モードをご利用になるには、対応した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が必要です。
- ◎ 本製品をリセット (初期化) した場合は、Wi-Fi 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

Wi-Fi 名非表示機能 (Wi-Fi 名 (SSID) の隠蔽)

無線 LAN (Wi-Fi®) 機器が、通信するお互いを識別する ID として Wi-Fi 名 (SSID と呼びます) があります。

この Wi-Fi 名 (SSID) が一致しないと無線 LAN (Wi-Fi®) 通信ができません。

一般に、Wi-Fi 名 (SSID) は無線 LAN (Wi-Fi®) 端末から検索することができますため、本製品に接続していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からも本製品の Wi-Fi 名 (SSID) が見えてしまいます。

この機能を利用し、外部から Wi-Fi 名 (SSID) を検索されたときに知らせないことでセキュリティを強化することができます。

■ 設定方法

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」 - 「Wi-Fi 名非表示」の「」をタップしてオンにする
確認画面が表示されるので、内容をご確認ください。

- 2 「OK」をタップする

WebUI の「Wi-Fi」 - 「Wi-Fi 基本設定」の「Wi-Fi 名非表示」でも設定できます。詳しくは「8-5 Wi-Fi の「Wi-Fi 基本設定」 (▶ P.74) を参照してください。

memo

- ◎ Wi-Fi 名非表示機能をオンにすると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末から、検索できなくなるため、Wi-Fi 名 (SSID)、暗号化モード、パスワード (暗号化キー) を直接入力してください。
- ◎ お客さまのご利用の端末 (OS) によっては、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続後に Wi-Fi 名非表示機能をオンにすると、無線 LAN (Wi-Fi®) が切断され、自動で再接続されない場合があります。この場合、再度手動で無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を行ってください。

MACフィルタ機能

本製品は、工場出荷時の状態で無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定 (暗号化) されていますが、MAC フィルタ機能を設定することでさらに無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティを強化することができます。ブラックリストとホワイトリストをサポートしています。

- ブラックリストに追加し、MAC フィルタリング機能を有効にすると、リストに含まれる端末はネットワークにアクセスできなくなります。
- ホワイトリストに追加し、MAC フィルタリング機能を有効にすると、リストに含まれる端末のみがネットワークにアクセスできるようになります。

memo

- ◎ 事前に MAC アドレスをブラックリストまたはホワイトリストに設定することで、ネットワークアクセスの制御が可能となり、無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティがさらに向上します。

設定方法

- 1 WebUI の「セキュリティ」－「MAC フィルタ」で許可したい MAC アドレスを登録する (▶ P.76)

memo

- ◎ MAC フィルタ設定後に無線 LAN (Wi-Fi®) 設定する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスをあらかじめ登録するか、いったん MAC フィルタの設定を解除する必要があります。
- ◎ Android や Windows などの端末で MAC アドレスをランダム設定にしていると本機能が正しく動作しません。本機能を利用する場合は、MAC アドレスを「固定」に設定してください。(設定方法は、ご利用端末の取扱説明書などを参照してください。)

プライバシーセパレーター機能

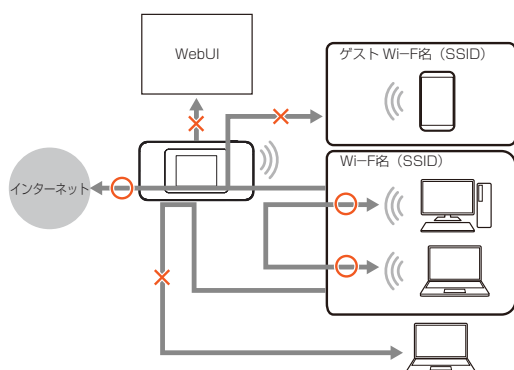
本製品は、プライバシーセパレーター機能を設定することで、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続された端末の通信を制限することができます。

設定方法

- 1 WebUI の「Wi-Fi」－「プライバシーセパレーター機能」で「オン」を選択して「適用」をクリックする (▶ P.75)

設定した Wi-Fi 名 (SSID) 側の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、本製品の WAN 側と、同一の Wi-Fi 名 (SSID) 側の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末へのアクセスのみ可能になります。

本製品の設定画面や他の Wi-Fi 名 (SSID) 側の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末へのアクセスができなくなります。



memo

- ◎ ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) で接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末では、プライバシーセパレーター機能の設定を変更できません。

アドバンスド NAT(NAPT)

アドバンスド NAT(NAPT) とは、WAN 側の 1 つの IP アドレスを LAN 側の複数のプライベートアドレスに変換する機能です。

これにより、1 つの IP アドレスで、プライベート IP アドレスを持つ複数のパソコンなどが同時にインターネット接続することができます。通信事業者によっては WAN 側にプライベート IP アドレスを割り当てる場合があります。

不正アクセス検出機能

外部からの不正と思われるアクセスを監視し、不正パケットを廃棄します。

検出できる不正アクセスの種類は、下記の通りです。

- LAND 攻撃
- Smurf 攻撃
- IP Spoofing 攻撃

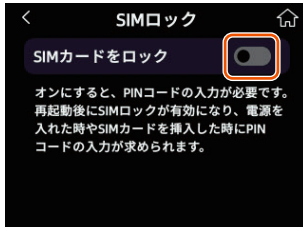
SIMカードをロックする／ロックを解除する

「SIMカードをロック」をオンにすると、電源を入れたときやSIMカードを挿入したときにPINコードの入力が求められます。

■ SIMカードをロックする

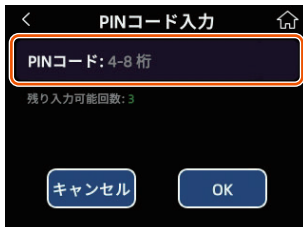
- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「SIMロック」－「SIMカードをロック」の「」をタップしてオンにする

・初期設定：オフ



PINコード入力画面が表示されます。

- 2 PINコード入力欄をタップする



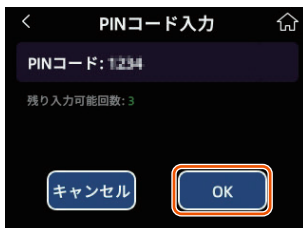
- 3 PINコードを入力して「OK」をタップする

・初期設定：1234



PINコードは3回連続で間違えるとPINロックがかかります。(▶ P.12)

- 4 「OK」をタップする



「SIMカードがロックされました」と表示されて、「SIMカードをロック」がオンになります。

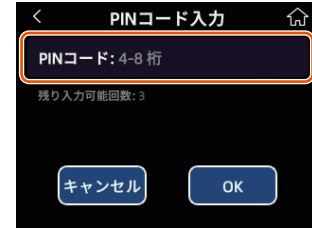
■ SIMカードのロックを解除する

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「SIMロック」－「SIMカードをロック」の「」をタップしてオフにする



PINコード入力画面が表示されます。

- 2 PINコード入力欄をタップする



- 3 ロック時に入力したPINコードを入力して「OK」をタップする



PINコードは3回連続で間違えるとPINロックがかかります。(▶ P.12)

- 4 「OK」をタップする



「SIMカードのロックが解除されました」と表示されて、「SIMカードをロック」がオフになります。

6-2 初期パスワードの変更について

セキュリティを確保するため、お買い上げ時の初期パスワード（WebUI パスワードとパスワード（暗号化キー））は変更してください。

- WebUI パスワード初期値は、ディスプレイで確認できます。

操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」－「WebUI 情報」－「WebUI パスワード」



WebUI パスワード	WebUI の詳細設定にログインするときに必要なパスワード
パスワード（暗号化キー）	無線 LAN（Wi-Fi）に接続するときに Wi-Fi 名（SSID）と共に使用するパスワード

WebUI でパスワード変更

WebUI

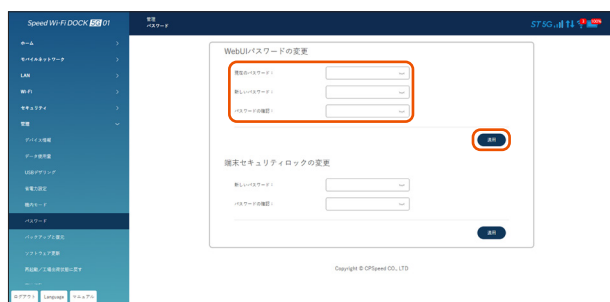
WebUI で、WebUI パスワードとパスワード（暗号化キー）を変更します。

memo

◎ 変更した WebUI パスワードは、控えておいてください。

WebUI パスワードの変更

- 1 WebUI にログインする（▶ P.68）
- 2 「管理」－「パスワード」をクリックする
- 3 「WebUI パスワードの変更」の「現在のパスワード」欄に現在の WebUI パスワードを入力し、「新しいパスワード」「パスワードの確認」欄に新しい WebUI パスワードを入力し、「適用」をクリックする
 - パスワードに使用できる文字は、数字（0～9）、大文字アルファベット（A～Z）、小文字アルファベット（a～z）、記号（!#\$()*+,-./=:;<?@^_`{|}~）で、半角 8 文字以上、最大半角 63 文字まで有効です。
 - 最低でも大文字アルファベット、小文字アルファベット、数字の組み合わせが必要です。



（パソコンの画面）

パスワード(暗号化キー)の変更

- 1 WebUI にログインする（▶ P.68）
- 2 「Wi-Fi」－「Wi-Fi 基本設定」をクリックする
- 3 「パスワード」欄に新しいパスワード（暗号化キー）を入力し、「適用」をクリックする
 - パスワードに使用できる文字は、数字（0～9）、大文字アルファベット（A～Z）、小文字アルファベット（a～z）で、半角 12 文字以上、最大半角 63 文字まで有効です。

パスワード(暗号化キー)の変更(ゲスト Wi-Fi 名 (SSID))

- 1 WebUI にログインする（▶ P.68）
- 2 「Wi-Fi」－「ゲスト Wi-Fi」をクリックする
- 3 「パスワード」欄に新しいパスワード（暗号化キー）を入力し、「適用」をクリックする
 - パスワードに使用できる文字は、数字（0～9）、大文字アルファベット（A～Z）、小文字アルファベット（a～z）で、半角 12 文字以上、最大半角 63 文字まで有効です。

7 章 工場出荷時の状態に戻す（初期化）

7-1 ディスプレイメニューでリセットする.....	63
7-2 WebUIで初期化する.....	64
7-3 RESETボタン（穴）で初期化する	65

7-1 ディスプレイメニューでリセットする

リセット（初期化）とは、本製品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。

本製品がうまく動作しない場合は、本製品をリセットしてはじめてから設定し直すことをおすすめします。

リセットをしても、お客さまがバージョンアップしたソフトウェアはそのままです。

！ ご注意

- 設定値をリセットすると、今までに設定した内容は消去されます。バックアップした設定内容を復元したい場合は、WebUI の「管理」→「バックアップと復元」で現在の設定内容をバックアップし、リセット後に復元してください。

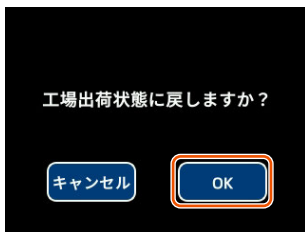
ディスプレイメニューでリセットする

- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」→「工場出荷状態に戻す」をタップする



「工場出荷状態に戻しますか？」と表示されます。

- 2 「OK」をタップする



- ・「復元中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。



- ・リセット完了後はホーム画面が表示されます。

7-2 WebUIで初期化する

WebUIで初期化する

WebUI

1 パソコンまたはスマートフォンを起動する

本製品とパソコンまたはスマートフォンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に

「http://192.168.188.1」を入力して WebUI を開く

3 ログイン画面で、WebUI パスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

「パスワード」には WebUI パスワードを入力してください。

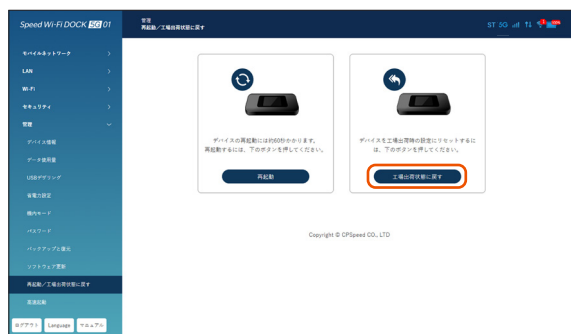
- WebUI パスワードについては「WebUI にログインする」(▶ P.68) または「WebUI を起動する」(▶ P.67) を参照してください。
- WebUI パスワードは、ディスプレイで確認できます。

操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」－「WebUI 情報」－「WebUI パスワード」



4 「管理」の「再起動／工場出荷状態に戻す」をクリックする

5 「工場出荷状態に戻す」をクリックする



(パソコンの画面)

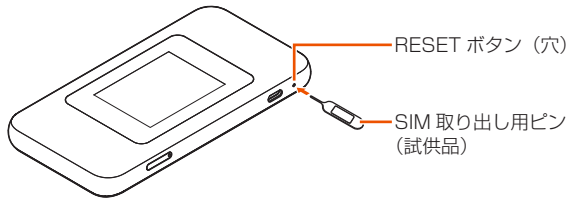
6 「OK」をクリックする

再起動し、工場出荷時の状態に戻ります。

7-3 RESETボタン(穴)で初期化する

本製品の RESET ボタン（穴）を SIM 取り出し用ピン（試供品）で 5 秒間長押しすることでも工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 1 本製品の電源が入っている状態で、SIM 取り出し用ピン（試供品）の先端を RESET ボタンの穴に差し込む



- 2 RESET ボタン（穴）を 5 秒間長押しする

- ・「復元中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。



- ・リセット完了後はホーム画面が表示されます。

8 章 機能設定

- 8-1 WebUIについて 67
- 8-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）..... 70
- 8-3 モバイルネットワーク..... 71
- 8-4 LAN..... 73
- 8-5 Wi-Fi..... 74
- 8-6 セキュリティ..... 76
- 8-7 管理..... 78

8-1 WebUIについて

本製品に接続したパソコンなどの Web ブラウザから、Speed Wi-Fi DOCK 5G 01 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。

以下の手順は無線 LAN (Wi-Fi®) で接続した場合を例にしています。本製品では、Speed Wi-Fi DOCK 5G 01 の設定ツールを「WebUI」と呼びます。

memo

- ◎ WebUI が利用できる Web ブラウザについては、「接続端末の準備」(▶ P.24) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ WebUI の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、WebUI を表示できません。

WebUIを起動する

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

(「3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する」(▶ P.31)、「3-2 USB で接続する」(▶ P.41) 参照)

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.188.1」を入力する

上記 URL は初期値となります。

WebUI が表示されます。

※以降のパソコン画面は Microsoft Edge の例となります。

! ご注意

- 本製品のメニュー操作中など、ディスプレイ点灯中に、WebUI で設定変更すると「WebUI で操作するには、端末のディスプレイをオフにしてください。」と表示されます。その場合は、メニュー操作をやめ、ホーム画面表示に戻るか、ディスプレイをオフにしてから設定変更を行ってください。
- ディスプレイ表示中 (ホーム画面以外) のときは、WebUI で設定できません。また、WebUI で設定中に本製品のボタンを操作すると、WebUI での設定が中断される場合があります。

WebUIのトップページ

① ピクト表示

以下の状態を表示します。

- WAN 接続 (5G/4G) の電波状態
- 通信モード (ST/+A)
- 無線 LAN (Wi-Fi®) の電波状態
- 接続端末の台数
- 通信の送受信
- 国際ローミング (R)
(海外利用可能な通信事業者をご契約の場合)
- 電池残量

② ログイン

以下の情報を表示します。

- デバイス名
- ソフトウェアバージョン

詳細設定する場合は、WebUI パスワードを入力してログインをし、各種機能の詳細設定をします。

③ 基本情報

以下の情報を表示します。

- 通信事業者
- 電話番号
- IMEI
- データ使用量 (プラスエリアモード)
- データ使用量 (合計)
- 通信モード
- プロファイル設定
- QR コードで接続

④ Language

日本語と英語、中国語、韓国語への切り替えができます。

⑤ マニュアル

取扱説明書や WebUI の操作マニュアルなどが掲載されているホームページを表示します。

WebUIにログインする

- 1 WebUI のログインページで、WebUI パスワードを入力し、「ログイン」をクリックする



Speed Wi-Fi DOCK 5G 01

ログインページ

デバイス名: Speed Wi-Fi DOCK 5G 01

ソフトウェアバージョン: CP501_2019_10_0102

パスワードを入力

パスワード

ログイン

基本情報

通信事業者: KDDI

「パスワード」には、WebUI パスワードを入力してください。

- WebUI パスワードは、ディスプレイで確認できます。

操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」－「WebUI 情報」－「WebUI パスワード」



WebUIの詳細設定画面



① ピクト表示

以下の状態を表示します。

- WAN 接続 (5G/4G) の電波状態
- 通信モード (ST/+A)
- 無線 LAN (Wi-Fi) の電波状態
- 接続端末の台数
- 通信の送受信
- 国際ローミング (R)
(海外利用可能な通信事業者をご契約の場合)
- 電池残量

② Wi-Fi 情報

Wi-Fi 2.4GHz、Wi-Fi 5GHz およびゲスト Wi-Fi の以下の情報を表示します。

- 状態
- Wi-Fi 名 (SSID)
- パスワード

③ インターネット情報

以下の情報を表示します。

- インターネットモード
- ネットワーク状態
- 接続タイプ
- 接続稼働時間
- データ使用量 (プラスエリアモード)
- データ使用量 (合計)
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- プライマリ DNS サーバー
- セカンダリ DNS サーバー
- IPv6 アドレス
- IPv6 プライマリ DNS サーバー
- IPv6 セカンダリ DNS サーバー

④ 接続端末

接続している端末のホスト名、MAC、IP、タイプ、接続稼働時間、オプションといった情報を表示します。

⑤ ホーム

ステータスを表示します。

⑥ モバイルネットワーク

以下のページを表示します。

- モバイル接続
- プロファイル管理
- 通信モード
- ネットワーク設定
- SIM ロック管理

⑦ LAN

以下のページを表示します。

- DHCP
- DHCP 手動割当

⑧ Wi-Fi

以下のページを表示します。

- Wi-Fi 基本設定
- Wi-Fi 詳細設定
- ゲスト Wi-Fi
- プライバシーセパレーター機能
- Wi-Fi MAC フィルタ
- PMF

⑨ セキュリティ

以下のページを表示します。

- MAC フィルタ
- IP フィルタ
- ポートマッピング
- DMZ 設定
- ブリッジモード

⑩ 管理

以下のページを表示します。

- デバイス情報
- データ使用量
- USB テザリング
- 省電力設定
- 機内モード
- パスワード
- バックアップと復元
- ソフトウェア更新
- 再起動／工場出荷時の状態に戻す
- 高速起動

⑪ マニュアル

取扱説明書や WebUI の操作マニュアルなどが掲載されているホームページを表示します。

⑫ Language

日本語と英語、中国語、韓国語への切り替えができます。

⑬ ログアウト

WebUI をログアウトします。

再度ログインする際、ログインできない場合は、Web ブラウザを一度終了したあと、再度開き直してください。

8-2 各種機能の詳細設定をする （詳細設定）

詳細設定する機能を選択します。

- モバイルネットワーク
WAN 側回線の接続に関する詳細機能を設定します。（▶ P.71）
- LAN
有線 LAN 回線に関する詳細機能を設定します。（▶ P.73）
- Wi-Fi
無線 LAN（Wi-Fi®）機能に関する詳細機能を設定します。（▶ P.74）
- セキュリティ
本製品が改ざんや盗用などによって不正に利用されないように、さまざまなセキュリティ機能を設定することができます。（▶ P.76）
- 管理
ソフトウェアの更新やパスワードの変更、再起動・初期化など本製品の管理に関する詳細機能を設定します。（▶ P.78）

8-3 モバイルネットワーク

WAN 側回線への接続方法や省電力モードなどを設定します。

モバイル接続

WebUI

モバイルデータの設定ができます。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
モバイルデータ	モバイルデータ通信を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

2 「適用」をクリックする

プロファイル管理

WebUI

プロファイル（インターネットサービスプロバイダなどとの接続設定）の登録、編集ができます。

■ プロファイルを新規作成する場合

1 「新しいプロファイル」をクリックする

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	英文字 (a～z, A～Z)、 数字 (0～9)、 記号 (!#\$%()*- /=@[]^_`{ }~) 長さ: 1～31 文字	INTERNET (デフォルト) * 1
認証タイプ	認証タイプは、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報で選択します。	なし、 自動、 PAP、 CHAP	なし
APN	APN（接続先情報）は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	英文字 (a～z)、 数字 (0～9)、 記号 (-) 長さ: 最大 63 文字	—
ユーザー名	ユーザー名は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	英文字 (a～z)、 数字 (0～9)、 記号 (-./@_) 長さ: 最大 63 文字	—
パスワード	パスワードは、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	英文字 (a～z, A～Z)、 数字 (0～9)、 記号 (!#\$%&()*- /=@[]_!<>+;:;?) * 2 長さ: 最大 63 文字	—
IP タイプ	IP タイプは、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報で選択します。	IPv4 & IPv6、 IPv4、 IPv6	IPv4 & IPv6

* 1 お買い上げ時に設定されているプロファイル「INTERNET (デフォルト)」は、変更、削除できません。

* 2 スペースで始めることはできません。

3 「保存」をクリックする

保存されたプロファイルが本製品に適用されます。

■ プロファイルを選択する場合

複数のプロファイルがある場合、プルダウンから選択できます。

1 プロファイル名のプルダウンメニューから選択したいプロファイルを選択する

2 「適用」をクリックする

■ 作成したプロファイルを編集する場合

1 プロファイル名のプルダウンメニューから編集したいプロファイルを選択する

2 編集が終了したら「適用」をクリックする

memo

◎ 作成したプロファイルを個別に削除するときは、プロファイル名のプルダウンメニューからプロファイルを指定して「削除」をクリックします。

! ご注意

- リセット（初期化）にて工場出荷時の状態に戻した場合、お買い上げ時に設定されているプロファイル以外はすべて削除され、その他の設定済みの項目も工場出荷時の状態に戻ります。

通信モード

WebUI

通信モードの設定ができます。「スタンダードモード」、「プラスエリアモード」から選択します。

「プラスエリアモード」に切り替えてご利用の場合、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合があります。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
通信モード* 1	通信モードを選択します。	スタンダードモード、 プラスエリアモード	スタンダードモード

* 1 国際ローミングをオンに設定しているときは通信モードの設定はできません。

2 「適用」をクリックする

ネットワーク設定

WebUI

ネットワークモードや 5G SA の設定、および国際ローミングと検索モードの設定ができます。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
ネットワークモード	ネットワークモードを選択します。	5G（推奨）、4G	5G（推奨）
5G SA	5G SA 方式を使用する場合は、「オン」にします。	オン、オフ	オン
国際ローミング* 1	海外利用が可能な通信事業者サービスをご契約で、国際ローミング機能を使用する場合は、「オン」にします。	オフ、オン	オフ
通信事業者選択方法	国際ローミングをオンにすると設定できるようになります。通信事業者を選択する方法を選択します。 「自動」を選択した場合には、SIM に保存されているネットワーク/キャリアを自動的に選択します。 「手動」を選択した場合は、通信事業者から選択します。	自動、手動	自動

* 1 契約する WiMAX 事業者によっては、表示されないことがあります。

2 「適用」をクリックする

SIMロック管理

WebUI

SIM ロックの設定ができます。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
SIM ロック	SIM ロックを設定します。	オフ、オン PIN コード変更*1	オフ
PIN コード	PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	1234
新しいPINコード*2	変更する新しいPIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—
PIN の確認*2	変更する新しいPIN コードを確認のため入力します。	4 ～ 8 桁の数字	—

* 1 「SIM ロック」を「オン」に設定すると表示されます。

* 2 「SIM ロック」で「PIN コード変更」を選択すると表示されます。

2 「適用」をクリックする

memo

◎「SIM ロック」を「オン」にするには PIN コードの入力が必要です。「オン」に設定すると、再起動後に SIM ロックが有効になり、電源を入れたときや SIM カードを挿入したときに PIN コードの入力が必要になります。

8-4 LAN

本製品の LAN 側の設定ができます。

DHCP

WebUI

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
DHCPサーバー	本製品の DHCP サーバーを使用する場合は、「オン」にします。	オン、オフ	オン
IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、WAN 側の IP アドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。	有効な IPv4 アドレス (192.168.188.1 など)	192.168.188.1
サブネットマスク	本製品の LAN 側のサブネットマスクを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、WAN 側の IP アドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。	有効なネットワークマスクアドレス (255.255.255.0 など)	255.255.255.0
DHCP IP 範囲	DHCP サーバーによって割り当てられる IP アドレスの範囲を入力します。	1 ~ 254 * 1	100 から 200
DHCP リース時間	DHCP サーバーでクライアントに割り当てる IP アドレスの貸出時間が変更可能です。	120 ~ 604800	86400
DNS モード	DNS モードを選択します。	自動、手動	自動
プライマリ DNS サーバー	プライマリ DNS サーバーアドレスを設定します。DNS モードが「手動」に設定されたときに表示されます。	有効なサーバーアドレス	—
セカンダリ DNS サーバー	セカンダリ DNS サーバーアドレスを設定します。DNS モードが「手動」に設定されたときに表示されます。	有効なサーバーアドレス (設定しなくても問題ありません)	—

* 1 サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合、IP アドレスプールの範囲は 1 ~ 254 になります。サブネットマスクが変更されると、それに応じて IP アドレスの範囲も変更されます。

2 「適用」をクリックする

DHCP手動割当

WebUI

特定の MAC アドレスに固定 IP アドレスを割り当てます。

1 「追加」をクリックする

DHCP 手動割当エントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
ホスト名	ホスト名を設定します。	英文字 (a ~ z, A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、記号 (-) 英文字または数字で始める必要があります。 長さ: 1 ~ 32 文字	—
LAN IP アドレス	特定端末に割り当てを行う固定の IP アドレスを入力します。「MAC アドレス」で指定した端末に「IP アドレス」で指定した IP アドレスを入力します。	有効な LAN IP アドレス (例: 192.168.188.x (現在のデフォルトゲートウェイを除く))	—
MAC アドレス	特定端末に固定の IP アドレスを割り当てる場合に入力します。	[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で入力	—
状態	設定内容を有効にする場合は「オン」を選択します。設定内容を有効にしない場合は「オフ」を選択します。状態が「オフ」の場合、追加された設定は表示されますが、設定は有効になりません。	オン、オフ	オン

3 「保存」をクリックする

4 DHCP 手動割当画面に登録内容が表示されていることを確認する

8-5 Wi-Fi

無線 LAN (Wi-Fi®) 機能の各種設定ができます。

Wi-Fi基本設定

WebUI

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi®) アクセスポイント (親機) としてセキュリティ設定 (暗号化機能、Wi-Fi 名非表示機能) を行うことができます。本製品の Wi-Fi 名 (SSID) は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じ Wi-Fi 名 (SSID) を使用しています。

■ Wi-Fi 名 (SSID) (WPA3/WPA2/WPA) を設定する場合

1 各項目を設定する

以下の項目は、Wi-Fi 名 (SSID) で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
周波数設定	帯域を選択します。	2.4GHz、5GHz、2.4GHz & 5GHz	2.4GHz
Wi-Fi オン / オフ	無線 LAN (Wi-Fi®) を使用する場合は「オン」にします。	オン、オフ	オン
Wi-Fi 名 (SSID)	無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に表示される本製品の Wi-Fi 名 (SSID) を変更できます。	英文字 (a~z, A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!#\$()*?<>+., &%-/'=@[]^_ ') 長さ: 1 ~ 32 文字	CPS01-XXXXXX * 1 XXXXXX はランダムに生成された 6 桁の英数字です。
セキュリティモード	セキュリティモードを選択します。	WPA2-PSK / WPA3-SAE(AES)、WPA3-SAE(AES)、WPA-PSK / WPA2-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)、なし (オープン)	WPA2-PSK / WPA3-SAE(AES)
パスワード	パスワードを設定します。	英文字 (a~z, A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!#\$()*?<>+., &%-/'=@[]^_ ') 長さ: 12 ~ 63 文字 * 2	●●●●●●
Wi-Fi 名非表示* 3	Wi-Fi 名非表示機能を使用する場合は「非表示」にします。あらかじめ本製品の Wi-Fi 名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi®) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。	表示、非表示	表示

* 1 ご利用の端末ごとの Wi-Fi 名 (SSID) が表示されます。

* 2 暗号化モードに「WPA3-SAE(AES)」または「WPA2-PSK / WPA3-SAE(AES)」を設定している場合、長さ 12 ~ 63 文字の ASCII キーを手動で入力する必要があります。

* 3 お客様のご利用の端末 (OS) によっては、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続後に Wi-Fi 名非表示機能を「非表示」にすると、無線 LAN (Wi-Fi®) が切断され、自動で再接続されない場合があります。この場合、再度手動で無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を行ってください。

2 「適用」をクリックする

Wi-Fi詳細設定

WebUI

無線 LAN (Wi-Fi®) の詳細設定をします。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
2.4GHz			
802.11 モード	802.11 モードを選択します。	802.11b、802.11b/g、802.11b/g/n、802.11b/g/n/ax	802.11b/g/n/ax
Wi-Fi チャンネル	Wi-Fi で使用するチャンネルを選択します。「自動」を選択した場合、本製品が空きチャンネルを自動検出し、電波状態の良いチャンネルを選びます。電波干渉が発生した場合は、使用する Wi-Fi チャンネルを手動で変更してください。特に、複数のアクセスポイントが近くにある環境では、干渉を避けるために他のチャンネルに切り替えることを推奨します。	自動、1 ~ 13	自動
現在のチャンネル	現在使用している Wi-Fi チャンネル番号が表示されます。	—	Wi-Fi 環境によって表示されるチャンネルは異なります
チャンネル幅	チャンネル幅を選択します。	自動、20MHz、40MHz	自動
最大接続端末数	本製品に無線 LAN (Wi-Fi®) 接続できる端末の最大数を設定します。	1 ~ 19	12
最大接続端末数 (ゲスト Wi-Fi)	本製品のゲスト Wi-Fi に無線 LAN (Wi-Fi®) 接続できる端末の最大数を設定します。	1 ~ 8	8
5GHz			
802.11 モード	802.11 モードを選択します。	802.11a、802.11a/n、802.11a/n/ac、802.11a/n/ac/ax	802.11a/n/ac/ax
周波数設定	屋内で使用するか、屋外で使用するかを選択します。	屋内、屋外	屋内
現在のチャンネル* 1	現在使用している Wi-Fi チャンネル番号が表示されます。	—	Wi-Fi 環境によって表示されるチャンネルは異なります
チャンネル幅	チャンネル幅を選択します。	自動、20MHz、40MHz、80MHz、160MHz	自動
最大接続端末数	本製品に無線 LAN (Wi-Fi®) 接続できる端末の最大数を設定します。	1 ~ 28	28

* 1 「Wi-Fi 周波数」で「5GHz」がオンになっているときに表示されます。

2 「適用」をクリックする

memo

◎ 2.4GHz に設定したときの最大接続端末数は、Wi-Fi とゲスト Wi-Fi を合わせて最大 20 台までです (例: Wi-Fi に 12 台接続した場合、ゲスト Wi-Fi には最大 8 台まで接続可能です)。また、ゲスト Wi-Fi には最低 1 台の接続が必要です (ゲスト Wi-Fi へ接続しない場合は、最大 19 台までとなります)。

ゲストWi-Fi

WebUI

ゲスト Wi-Fi に関する設定ができます。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
ステータス	ゲスト Wi-Fi を「オン」にするか「オフ」にするかを設定します。	オフ、オン	オフ
Wi-Fi 名 (SSID)	ゲストの無線 LAN (Wi-Fi) 端末に表示される本製品の Wi-Fi 名 (SSID) を変更できます。	英文字 (a~z, A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!#\$()*?<>+., &%-/=@[]^_{ }) 長さ: 1~32 文字	CPS01-XXXXXX-Guest *1 XXXXXX はランダムに生成された 6 桁の英数字です。
セキュリティモード	セキュリティモードを選択します。	WPA2-PSK/ WPA3-SAE(AES)、 WPA3-SAE(AES)、 WPA-PSK/ WPA2-PSK(TKIP/AES)、 WPA2-PSK(AES)、 なし (オープン)	WPA2-PSK/ WPA3-SAE(AES)
パスワード	パスワードを設定します。	英文字 (a~z, A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!#\$()*?<>+., &%-/=@[]^_{ }) 長さ: 12~63 文字 *2	xxxxxxxxxxx xxx

* 1 ご利用の端末ごとの Wi-Fi 名 (SSID) が表示されます。

* 2 暗号化モードに「WPA3-SAE(AES)」または「WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)」を設定している場合、長さ 12~63 文字の ASCII キーを手動で入力する必要があります。

2 「適用」をクリックする

プライバシーセパレーター機能

WebUI

プライバシーセパレーター機能のオン / オフを選択できます。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
プライバシーセパレーター機能	プライバシーセパレーター機能を使用する場合は、「オン」を選択します。「オン」を選択した場合、設定した SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi) 端末は、本製品の WAN 側と、同一の SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi) 端末へのアクセスのみ可能になります。本製品の設定画面や他の SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi) 端末へのアクセスができなくなります。	オフ、オン	オフ

2 「適用」をクリックする

Wi-Fi MAC フィルタ

WebUI

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi) 端末以外は接続できなくなります。

・登録できる無線 LAN (Wi-Fi) 端末の MAC アドレス数は、16 件です。

! ご注意

- Wi-Fi MAC フィルタ設定後に、接続したい無線 LAN (Wi-Fi) 端末が正常に使用できない場合は、対象端末の MAC アドレスがブラックリストに登録されていないか (ブラックリストが有効な場合)、またはホワイトリストに登録されているか (ホワイトリストが有効な場合) を確認してください。
- 設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi) 接続が切断されます。無線 LAN (Wi-Fi) 接続し直してください。
- Android や Windows などの端末で MAC アドレスをランダム設定にしていると本機能が正しく動作しません。本機能を利用する場合は、MAC アドレスを「固定」に設定してください。(設定方法は、ご利用端末の取扱説明書などを参照してください。)

1 「状態」から「ブラックリスト」、「ホワイトリスト」または「無効にする」を選択する

- 「無効にする」に設定すると Wi-Fi MAC フィルタが無効になります。
- 「ホワイトリスト」では、登録された Wi-Fi MAC アドレスを持つ端末のみが接続を許可されます。
- 「ブラックリスト」では、登録された Wi-Fi MAC アドレスを持つ端末の接続が拒否されます。

2 「追加」をクリックする

MAC アドレス入力欄が表示されます。

3 MAC アドレスを入力して、「オプション」欄の「OK」をクリックする

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
MAC アドレス	本製品に設定する無線 LAN (Wi-Fi) 端末の MAC アドレスを入力します。	XX:XX:XX:XX:XX:XX	—

追加した MAC アドレスが一覧に表示されます。

4 「適用」をクリックする

5 Wi-Fi MAC フィルタ画面で登録した MAC アドレスが表示されていることを確認する

PMF

WebUI

PMF の設定をします。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
PMF	Wi-Fi 管理フレームの一部を保護する機能 (PMF) を設定します。PMF を「オン」にすると、本機能の使用を要求してきた無線 LAN (Wi-Fi) 端末に対してのみ、保護機能が働きます。	オン、オフ	オン

2 「適用」をクリックする

8-6 セキュリティ

本製品が改ざんや盗用などによって不正に利用されないように、さまざまなセキュリティ機能を設定することができます。

MACフィルタ

WebUI

本製品は、工場出荷時の状態で無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定 (暗号化) されていますが、MAC フィルタ機能を設定することでさらに無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティを強化することができます。ブラックリストとホワイトリストをサポートしています。

1 「状態」から「ブラックリスト」、「ホワイトリスト」または「オフ」を選択する。

- ・「オフ」に設定すると MAC フィルタが無効になります。
- ・「ホワイトリスト」は、登録された MAC アドレスを持つ端末のみがインターネットに接続できるようになります。ホワイトリストが空の場合、インターネットに接続できません。
- ・「ブラックリスト」は、登録された MAC アドレスを持つ端末のインターネット接続が拒否されます。

2 「追加」をクリックする

MAC アドレス追加画面が表示されます。

3 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
ホスト名	本製品でセットアップする Wi-Fi 端末のホスト名を入力します。		
MAC アドレス	本製品でセットアップする Wi-Fi 端末の MAC アドレスを入力します。 設定方法が手動設定の場合は、[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で直接 MAC アドレスを入力してください。 選択設定の場合は、Wi-Fi 端末リストからセットアップする Wi-Fi 端末の MAC アドレスを選択してください。 複数の MAC アドレスを追加する場合は、登録する Wi-Fi 端末に接続し、一つずつ MAC アドレスを追加してください。 なお、マルチキャスト MAC アドレスは登録できません。	xx:xx:xx:xx:xx:xx	—
状態	MAC フィルタに使用されるステータスを表示します。	オン、オフ	オン

4 「保存」をクリックする

5 MAC フィルタ画面で登録した内容が表示されていることを確認する

IPフィルタ

WebUI

インターネットとの通信について、設定したルールに従い、LAN 側 (送信側) と WAN 側 (送信先) の各アドレスからファイアウォールを通過させるかどうかを判断します。

1 「状態」から「ブラックリスト」、「ホワイトリスト」または「オフ」を選択する。

- ・「オフ」に設定すると IP フィルタが無効になります。
- ・「ホワイトリスト」は、ユーザーがアクセスできる Web サイトを設定します。ホワイトリストが空の場合、ユーザーはインターネットに接続できません。
- ・「ブラックリスト」は、ユーザーにアクセスさせたくない Web サイトを設定します。

2 「追加」をクリックする

IP アドレス追加画面が表示されます。

3 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
LAN IP アドレス	ポートフォワーディングを適用する LAN 側ホストの IP アドレス (コンピュータの IP アドレスなど) を入力します。 右側のドロップダウン矢印をクリックして、接続された端末の LAN IP アドレスを選択します。 アドレスは IPv4 と IPv6 をサポートします。LAN IP アドレスと WAN IP アドレスは同じタイプである必要があります。	有効な LAN IP アドレス (例: 192.168.188.x (現在のデフォルトゲートウェイを除く))	—
LAN ポート	プロトコルを TCP または UDP に設定する場合、マッピングされている LAN ポート番号を入力します。	1 ~ 65535	—
WAN IP アドレス	ポートフォワーディングを適用する WAN 側ホストの IP アドレスを入力します。 このアドレスは IPv4 と IPv6 をサポートします。 LAN IP アドレスと WAN IP アドレスは同じタイプである必要があります。	正式な IP アドレス (例: X.X.X.X)	—
WAN ポート	ポートマッピングの対象となる WAN 側のポート番号を入力します。	1 ~ 65535	—
プロトコル	ターゲットプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP	TCP/UDP
状態	設定内容を有効にする場合は「オン」を選択します。 設定内容を有効にしない場合は「オフ」を選択します。 状態が「オフ」の場合、追加された設定は表示されますが、設定は有効になりません。	オン、オフ	オン

4 「保存」をクリックする

5 IP フィルタ画面で登録した内容が表示されていることを確認する

ポートマッピング

WebUI

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。グローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。必要に応じて NAT エントリ設定することで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルーター機能ではアドバンスド NAT 機能 (NAPT) が働いてオンラインゲームができなくなる場合があります。これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、オンラインゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

1 「追加」をクリックする

NAT エントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
名前	ポートマッピングのルールに任意の名前を付けます。	英文字 (a~z, A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!#\$()*<?>+.\&%-/=@[]^_`{ }~) 長さ: 1 ~ 31 文字	—
WAN ポート	サービスを提供するコンピュータのポートを設定します。(単一ポート)	1 ~ 65535	—
LAN IP アドレス	LAN 内でサービスを提供するコンピュータを指定します。	有効な LAN IP アドレス (例: 192.168.188.x (現在のデフォルトゲートウェイを除く))	—
LAN ポート	サービスを提供するコンピュータのポート (単一ポート) を設定します。	1 ~ 65535	—
プロトコル	サービスのプロトコルを選択します。	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP
状態	設定内容を有効にする場合は「オン」を選択します。設定内容を有効にしない場合は「オフ」を選択します。状態が「オフ」の場合、追加された設定は表示されますが、設定は有効になりません。	オン、オフ	オン

3 「保存」をクリックする

4 ポートマッピング画面で登録内容が表示されていることを確認する

5 ポートを開放する機器に、以下の情報を設定する

- ・ IP アドレス : LAN 側ホストに入力した IP アドレス
- ・ ネットマスク : 255.255.255.0 (本製品の初期値)
- ・ ゲートウェイ : 192.168.188.1 (本製品の IP アドレス初期値)
- ・ プライマリ DNS : 192.168.188.1 (本製品の IP アドレス初期値)

DMZ設定

WebUI

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
DMZ ステータス	DMZ 設定によって外部に公開する端末 (ホスト) の設定ができます。使用する場合は「オン」にします。NAPT 機能を使用する場合のみ有効です。	オフ、オン	オフ
DMZ IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを入力します。本製品の LAN 側の設定で指定したネットワークアドレス範囲内の IP アドレスを入力してください。	192.168.188.x (現在のデフォルトゲートウェイを除く)	(設定値を表示します)

2 「適用」をクリックする

ブリッジモード

WebUI

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
ブリッジモード	本製品をブリッジモードで使用するときは「オン」にします。	オフ、オン	オフ

2 「適用」をクリックする

! ご注意

- ブリッジモードをオンにすると、デバイスが再起動し WebUI との接続が切れます。再び WebUI にアクセスする場合は、デバイスの WebUI 情報に記載された URL にアクセスし、再度ログインしてください。

8-7 管理

本製品のさまざまな設定ができます。

デバイス情報

WebUI

本製品のデバイス情報を表示します。

データ使用量

WebUI

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
データ使用量 (合計)	現在のデータ使用量を表示します。		
表示最大使用量 (GB)	表示最大使用量 (GB) を設定します。通知使用量 (GB) より小さい値は設定できません。	1 ~ 150	30
通知使用量 (GB)	通知使用量 (GB) を入力します。表示最大使用量 (GB) より大きい数値は設定できません。	1 ~ 150	29
通知設定	使用する通知設定を選択します。「オン」に設定した場合、通知使用量 (GB) で設定したデータ使用量を超えると「データ使用量が XGB を超えました。」と表示され、通知します。「通知して通信を停止する」の場合、通知と合わせて通信を停止します。	オン、通知して通信を停止する、オフ	オン
カウント開始日 (日) *	データ使用量のカウント開始日を入力します。毎月、カウント開始日に通信量カウントをリセットします。	1 ~ 31 (日)	1

* 「カウント開始日」を毎月 31 日に設定したとき、31 日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

2 「適用」をクリックする

memo

◎ 「データ使用量をリセット」をクリックすることで、総データ使用量のカウントをリセットすることができます。

USBテザリング

WebUI

USB 接続した端末でデータ通信を行う設定ができます。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
USB テザリング	USB 接続した端末でデータ通信を行うときは「オン」に設定します。	オン、オフ	オン

2 「適用」をクリックする

省電力設定

WebUI

本製品の省電力に関する設定をします。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
ECO モード	ECO モードを「オン」にすることで、通信速度を制限して、連続動作時間が長くなるようにします。(省電力優先)	オフ、オン	オフ
充電時の ECO モード	充電時に ECO モードに切り替わるように設定することができます。	ECO モードオフ、ECO モードオン	ECO モードオフ
自動 Wi-Fi オフ	「自動オフ時間設定 (分)」で設定した時間内に操作、通信がなかった場合、自動で Wi-Fi をオフにするかどうか設定します。	オン、オフ	オン
自動電源オフ	「自動オフ時間設定 (分)」で設定した時間内に操作、通信がなかった場合、自動で電源をオフにするかどうか設定します。	オフ、オン	オフ
自動オフ時間設定 (分)	「自動 Wi-Fi オフ」および「自動電源オフ」を「オン」に設定した場合、自動でオフになるまでの時間を入力します。	10、30、60、120 (分)	10 (分)

2 「適用」をクリックする

機内モード

WebUI

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
機内モード	機内モードを「オン」にすると、無線ネットワークおよび Wi-Fi が無効になります。	オフ、オン	オフ

2 「適用」をクリックする

パスワード

WebUI

本製品の WebUI パスワードや端末セキュリティロックを変更できます。

WebUI パスワードは WebUI の各種設定をするために詳細設定へログインするときに必要です。

- WebUI パスワードは、ディスプレイで確認できます。

操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」－「WebUI 情報」－「WebUI パスワード」

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
WebUI パスワードの変更			
現在のパスワード	現在の WebUI パスワードを入力します。		—
新しいパスワード	新しい WebUI パスワードを入力します。	英文字 (a~z, A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!#\$()*.-/=@[^_`{ }) 最低でも 1 つの大文字、1 つの小文字、および 1 つの数字が含まれている必要があります。 長さ：8 ~ 63 文字	—
パスワードの確認	確認のため新しいパスワードを再入力します。	英文字 (a~z, A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!#\$()*.-/=@[^_`{ }) 最低でも 1 つの大文字、1 つの小文字、および 1 つの数字が含まれている必要があります。 長さ：8 ~ 63 文字	—
端末セキュリティロックの変更			
現在のパスワード* 1	セキュリティロックがオンの場合、現在設定されているパスワードを入力します。入力することで新しいパスワードを設定できます。	4 桁の数字	—
新しいパスワード	セキュリティロックをオンにするために、新しいパスワードを入力します。* 2	4 桁の数字	—
パスワードの確認	セキュリティロックをオフまたはオンにするために、新しいパスワードを再入力します。	4 桁の数字	—

* 1 セキュリティロックが無効の場合は、表示されません。

* 2 セキュリティロックのパスワードは工場出荷時の状態に戻すことでリセットされます。

2 「適用」をクリックする

バックアップと復元

WebUI

本製品の設定内容を保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。

！ ご注意

- iOS システムでは、Safari のポップアップを許可する必要があります。
- 設定値のファイルは圧縮形式となっており、編集はできません。

■ バックアップ方法

1 「バックアップ」をクリックする



2 パソコンのデスクトップなどわかりやすい場所へバックアップファイルを保存する

お使いのパソコンの環境によっては、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。

■ 復元方法

1 「復元」欄にある「復元ファイルを選択」ボタンをクリックする



表示された画面で復元するバックアップファイルを選択します。

2 選択したファイルが「復元」欄に入るので、「復元」ボタンをクリックする



再起動のメッセージが表示され、本製品が再起動します。
再起動が完了後は、WebUI ログイン画面が表示されます。

ソフトウェア更新

WebUI

ソフトウェアとは、本製品を動かすプログラムのことです。ソフトウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ソフトウェアは最新のバージョンで使用してください。

詳細は、「10-1 ソフトウェアを更新する」(▶ P.86) を参照してください。

■ 自動更新設定

自動でソフトウェアを更新するよう設定することができます。以下の手順で設定してください。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
自動更新	自動更新を使用する場合は、「オン」にします。	オン、オフ	オン
自動更新時間	自動更新を実行する時刻を選択します。	開始: 00 ~ 23 (時) 終了: 01 ~ 24 (時) 開始時刻の範囲は 00 ~ 23、終了時刻の範囲は 01 ~ 24 です。開始時刻は終了時刻よりも早い必要があり、開始時刻と終了時刻を同じにすることはできません。	開始: 02:00 終了: 04:00

2 「適用」をクリックする

最新のソフトウェアがある場合は、設定した自動更新時間にソフトウェア更新が開始されます。

■ 手動更新

1 「アップデートを確認する」をクリックする

「新しいバージョンを確認中です、しばらくお待ちください。」と表示されます。

その後、「現在のバージョンは最新です。」と表示された場合はバージョンアップの必要はありません。

新しいバージョンが見つかった場合は手順 2 へお進みください。

2 「ソフトウェア更新」をクリックする

ポップアップ画面が表示されるので注意事項を確認してください。

3 「OK」をクリックする

新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

ダウンロード中はブラウザを閉じたり、ページを更新しないでください。

ダウンロードが完了すると引き続きアップデートが行われます。アップデート中もブラウザを閉じたり、ページを更新しないでください。

アップデートが完了すると「アップデートに成功しました」と表示された後、WebUI ログイン画面が表示されます。

再起動／工場出荷時の状態に戻す

WebUI

■ 再起動する

本製品を再起動することができます。

1 「再起動」をクリックする

2 「OK」をクリックする

「デバイスが再起動中です ... しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されます。

再起動するまでに時間がかかる場合があります。

！ ご注意

- 再起動後は、本製品にアクセスできなくなる場合があります。その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と無線 LAN (Wi-Fi®) 接続し直して、Web ブラウザを再度起動してください。

■ 工場出荷時に戻す

設定内容を工場出荷時の状態に戻すこともできます。

1 「工場出荷状態に戻す」をクリックする

2 「OK」をクリックする

再起動後、工場出荷時の状態に戻ります。

！ ご注意

- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、「バックアップと復元」(▶ P.79) で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。
- 工場出荷時の状態に戻してもお客さまが設定した SIM カードの PIN コードはリセットされません。
- 再起動後は、本製品にアクセスできなくなる場合があります。その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と無線 LAN (Wi-Fi®) 接続し直して、Web ブラウザを再度起動してください。

高速起動

WebUI

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
高速起動	高速起動を「オン」にすると、起動時間を短縮できます。	オン、オフ	オン

2 「適用」をクリックする

memo

◎ 高速起動を「オン」にして使用している場合、消費電力が増加し、バッテリー寿命が短くなる可能性があります。

9 章 本製品のディスプレイメニューについて

9-1 ディスプレイメニュー一覧.....	82
9-2 メッセージ一覧 (ディスプレイ).....	84

9-1 ディスプレイメニュー一覧

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期設定	初期化対象	設定値の保存&復元
ホーム				
Wi-Fi				
QRコードで接続	2.4GHz/5GHz、ゲスト	—	—	—
WPS	—	—	—	—
Wi-Fi設定お引越し	—	—	—	—
Wi-Fi名	—	CPS01-XXXXXX	○	○
パスワード	—	XXXXXXXXXXXXXX	○	○
情報				
バッテリー				
ケアモード	夜間（0時から5時）のみ、常時、オフ	夜間（0時から5時）のみ	○	○
データ使用量				
データ使用量（プラスエリアモード）	—	—	—	—
データ使用量（合計）	—	—	—	—
設定				
通知使用量	1GB～150GB	29GB	○	○
表示最大使用量	1GB～150GB	30GB	○	○
通知設定	オン、通知して通信を停止する、オフ	オン	○	○
デバイス情報				
デバイス名	—	Speed Wi-Fi DOCK 5G 01	—	—
モデル	—	CPS01	—	—
MAC アドレス	—	—	—	—
IMEI	—	—	—	—
IMSI	—	—	—	—
WebUI 情報				
WebUI URL	—	http://192.168.188.1	—	—
WebUI パスワード	—	—	○	○
電話番号	—	—	—	—
ICCID	—	—	—	—
WAN IP アドレス	—	—	—	—
LAN IP アドレス	—	192.168.188.1	—	—
シリアル番号	—	—	—	—
ソフトウェアバージョン	—	—	—	—
認証	—	—	—	—
5GHz 帯利用のご注意	—	—	—	—
設定				
QRコードで接続	2.4GHz/5GHz、ゲスト	—	—	—
WPS	—	—	—	—
Wi-Fi設定お引越し	—	—	—	—
Wi-Fi名	—	CPS01-XXXXXX	○	○
パスワード	—	XXXXXXXXXXXXXX	○	○
セキュリティ	WPA2-PSK/WPA3-SAEWPA3-SAE、WPA-PSK/ WPA2-PSK、WPA2-PSK、なしオープン)	WPA2-PSK/ WPA3-SAE	○	○
Wi-Fi名非表示	オン、オフ	オフ (非表示にしない)	○	○
Wi-Fi周波数* ¹				
2.4GHz	オン、オフ	オン	○	○
5GHz	オン、オフ	オフ	○	○
5GHz	屋内、屋外	屋内	○	○
ゲスト Wi-Fi* ²	オン、オフ	オフ	○	○
ブリッジモード	オン、オフ	オフ	○	○
モバイルデータ	オン、オフ	オン	○	○
国際ローミング* ³				
国際ローミング	オン、オフ	オフ	○	○
通信事業者検索	自動、手動	自動	○	○
通信モード	スタンダードモード、プラスエリアモード* ⁴	スタンダードモード	○	○
ネットワークモード* ⁵	5G（推奨）、4G	5G（推奨）	○	○
5G SA* ⁶	オン、オフ	オン	○	○

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期設定	初期化対象	設定値の保存&復元
設定（つづき）				
APN 選択	—	INTERNET	○	○
APN 情報				
プロファイル名	—	INTERNET	○	○
APN 名	—	—	○	○
ユーザー名	—	—	○	○
パスワード	—	—	○	○
認証タイプ	—	CHAP	○	○
IP タイプ	IPv4 & IPv6、IPv4、IPv6	IPv4 & IPv6	○	○
機内モード	オン、オフ	オフ	○	○
データ使用量				
データ使用量（プラスエリアモード）	—	—	—	—
データ使用量（合計）	—	—	—	—
設定				
通知使用量	1GB ～ 150GB	29GB	○	○
表示最大使用量	1GB ～ 150GB	30GB	○	○
通知設定	オン、通知して通信を停止する、オフ	オン	○	○
USB デザリング*1	オン、オフ	オン	○	○
ディスプレイ				
ディスプレイ自動オフ	15 秒、30 秒、60 秒、120 秒	15 秒	○	○
明るさ	暗い、普通、明るい	普通	○	○
バッテリー				
ケアモード	夜間（0 時から 5 時）のみ、常時、オフ	夜間（0 時から 5 時）のみ	○	○
省電力機能				
ECO モード	オン、オフ	オフ	○	○
待機状態設定				
自動 Wi-Fi オフ	オン、オフ	オン	○	○
自動電源オフ	オン、オフ	オフ	○	○
自動オフ時間設定	10 分、30 分、60 分、120 分	10 分	○	○
セキュリティロック	オン、オフ	オフ	○	○
SIM ロック	オン、オフ	オフ	○	○
Language	日本語、English、簡体中文、한국어	日本語	○	○
ソフトウェア更新				
自動更新	オン、オフ	オン	○	○
自動更新時間	0:00 ～ 24:00	2:00-4:00	○	○
再起動	—	—	—	—
工場出荷状態に戻す	—	—	—	—
デバイス情報				
デバイス名	—	Speed Wi-Fi DOCK 5G 01	—	—
モデル	—	CPS01	—	—
MAC アドレス	—	—	—	—
IMEI	—	—	—	—
IMSI	—	—	—	—
WebUI 情報				
WebUI URL	—	http://192.168.188.1	—	—
WebUI パスワード	—	—	○	○
電話番号	—	—	—	—
ICCID	—	—	—	—
WAN IP アドレス	—	—	—	—
LAN IP アドレス	—	192.168.188.1	—	—
シリアル番号	—	—	—	—
ソフトウェアバージョン	—	—	—	—
認証	—	—	—	—
5GHz 帯利用のご注意	—	—	—	—

* 1 「ブリッジモード」がオンに設定されているときは、設定／表示できません。

* 2 オフの場合、ゲスト Wi-Fi 名（SSID）およびゲストパスワードが表示されません。

* 3 ・契約する WiMAX 事業者によっては表示されないことがあります。

・SIM カードが挿入されていない、または UQ の SIM カードを使用しているときは、表示されません。

・国際ローミングの利用可否はご契約の通信事業者へお問い合わせください。

・国際ローミングをオフにしているときは、通信事業者検索に「手動」が表示されません。

* 4 「プラスエリアモード」に切り替えてご利用の場合、お客さまの料金プランによっては追加料金がかかる場合があります。

* 5 実際のモデムで取得した対応ネットワーク方式に基づいて表示されます。

* 6 ・表示される内容は、利用する SIM の種類などによって異なる場合があります。

・「ネットワークモード」を「4G」に設定した場合、設定／表示できません。

9-2 メッセージ一覧(ディスプレイ)

■ 本製品のディスプレイに表示されるメッセージ

メッセージは、ディスプレイ画面に表示されます。(▶ P.15)

メッセージ	チェック内容	参照ページ
SIM カードなし	SIM カードが取り付けられていません。SIM カードを取り付けてください。または無効な SIM カードが挿入されています。	P.18
SIM ロック	SIM カードがロックされているときに表示されます。SIM カードの PIN コードを入力して、SIM カードのロックを解除してください。	P.60
PUK コード	SIM カードの PIN コードの入力を 3 回失敗して、ロックされているときに表示されます。PIN ロック解除コード (PUK) と新しい PIN コードを入力してください。	P.12
ネットワークサービスなし	APN (接続先) 設定内容が間違っている場合に表示されます。APN 設定内容を確認してください。ネットワーク障害のときも、このメッセージが表示されます。	P.44 P.71 P.83
国際ローミング使用中	国際ローミング使用中に表示されるメッセージです。	P.72
データ使用量が XGB を超えました。	データ使用量が設定した通知使用量を超過したときに表示されます。	P.55 P.78
データ使用量が XGB を超えました。 通信を停止しましたので、再度通信を使いたい場合は [設定] - [モバイルデータ] をオンにしてください。	データ使用量が設定した通知使用量を超過したときに表示されます。再度通信を使いたい場合は「設定」 - 「モバイルデータ」をオンに設定してください。	P.55 P.78
[設定] → [ソフトウェア更新] からソフトウェア更新をしてください	ソフトウェアをバージョンアップしてください。	P.86
国際ローミングが有効な場合、通信モードは変更できません。	国際ローミング使用中に、スタンダードモードからプラスエリアモードへの変更しようとする時に表示されるメッセージです。	P.72
SIM カードが再挿入されたため、再起動します。	本製品の再起動が完了までお待ちください。	—
USB コネクタ周辺が高温のため、充電を停止しました。再充電したい場合はしばらくしてから再起動してください。	充電中またはパソコンと USB ケーブル (市販品) で接続中の本製品が高温になっています。 USB ケーブル (市販品) を取り外し、本製品の温度が下がるまでお待ちください。 本製品の温度が下がったら再起動してください。	P.19 P.20
本体が高温になっているため、充電を停止しました。	充電中、本製品が高温になっています。本製品の温度が下がるまでお待ちください。	—
本体が高温になっています。高温状態が続く場合は自動的に電源が切れます。	使用中、本製品が高温になっています。本製品の温度が下がるまでお待ちください。	—
本体が高温になったため、自動的に電源を切ります。		
本体が低温になっているため、充電を停止しました。	充電中、本製品が低温になっています。本製品の温度が上がるまでお待ちください。	—
本体が低温になっています。低温状態が続く場合は自動的に電源が切れます。	使用中、本製品が低温になっています。本製品の温度が上がるまでお待ちください。	
本体が低温になったため、自動的に電源を切ります。		
バッテリー異常のため、充電を停止しました。ご契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。	バッテリー異常のため、契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。	—
本体が高温です。しばらくしてから電源を入れてください。	本製品が高温のため、電源が入りません。本製品の温度が下がるまでお待ちください。	—
本体が低温です。しばらくしてから電源を入れてください。	本製品が低温のため、電源が入りません。本製品の温度が上がるまでお待ちください。	—

10章 付録

10-1 ソフトウェアを更新する.....	86
10-2 故障とお考えになる前に.....	88
10-3 アフターサービスについて.....	91
10-4 周辺機器.....	92
10-5 製品仕様.....	93
10-6 データ通信端末の比吸収率（SAR）について.....	94
10-7 輸出管理規制.....	95
10-8 知的財産権について.....	96
10-9 索引.....	97

10-1 ソフトウェアを更新する

ソフトウェアとは、本製品を動作させるプログラムのことです。ソフトウェアを更新（バージョンアップ）することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ソフトウェアは最新のバージョンで使用してください。

！ ご注意

- 本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。
- ソフトウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が 25% 未満のときは、バージョンアップをすることはできません。（充電中は電池残量が 25% 未満でもバージョンアップできます。）
- メインメニューで「設定」－「データ使用量」－「設定」－「通知設定」を「通知して通信を停止する」に設定していて、現在のデータ使用量が「通知使用量」の値まで残り 200MB 未満の場合、ソフトウェアダウンロードが中断される場合があります。
- ソフトウェアのバージョンアップ中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- ルーターモードでソフトウェアをバージョンアップする際は、電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。また、ソフトウェアのバージョンアップ中は、移動しないでください。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

memo

◎「省電力機能」の「ECO モード」はオフの状態でのバージョンアップをおすすめします。

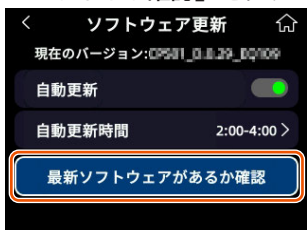
ディスプレイメニューからのアップデート

本製品のホーム画面に「[設定] → [ソフトウェア更新] からソフトウェア更新をしてください」と表示された場合は、新しいソフトウェアが存在しています。その場合、ディスプレイで「設定」－「ソフトウェア更新」－「最新ソフトウェアがあるか確認」－「ダウンロード」をタップしてソフトウェアの更新を行うことができます。

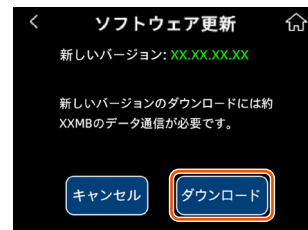
- 1 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「ソフトウェア更新」をタップする



- 2 「最新ソフトウェアがあるか確認」をタップする

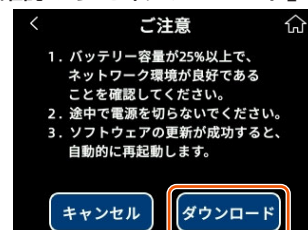


- 3 ディスプレイに新しいバージョンが表示されたら、「ダウンロード」をタップする

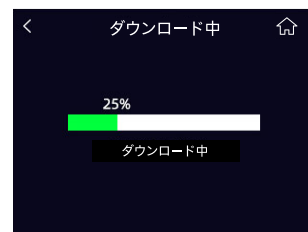


ディスプレイに注意事項が表示されます。

- 4 注意事項をご確認のうえ「ダウンロード」をタップする



ディスプレイに「ダウンロード中」と表示されます。ダウンロード後のバージョンアップ中は WAN 側接続はいったん切断されます。



バージョンアップ後は再起動を行います。「新しいバージョンの更新に成功しました。」と表示されたらソフトウェアの更新は完了です。

！ ご注意

- ディスプレイに「新しいバージョンの更新に失敗しました」と表示された場合は、手順 1 からやり直してください。

WebUI画面でのバージョンアップ

WebUI からソフトウェアのバージョンアップを行うことができます。

！ ご注意

- 本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。

1 パソコンまたはスマートフォンを起動する

本製品とパソコンまたはスマートフォンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に

「http://192.168.188.1」を入力して WebUI を開く

上記 URL は初期値となります。

3 ログイン画面で、WebUI パスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

「パスワード」には WebUI パスワードを入力してください。

- WebUI パスワードについては「WebUI にログインする」(▶ P.68) を参照してください。
- WebUI パスワードは、ディスプレイで確認できます。

操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」－「デバイス情報」－「WebUI 情報」の「WebUI パスワード」



4 「管理」の「ソフトウェア更新」をクリックする

ソフトウェア更新画面が表示されます。

「現在のソフトウェアバージョン」が表示されます。

5 「アップデートを確認する」をクリックする



「新しいバージョンを確認中です、しばらくお待ちください。」と表示され新しいバージョンがあるか確認します。

その後、「現在のバージョンは最新です。」と表示された場合はバージョンアップの必要はありません。

新しいバージョンが見つかった場合は次の手順へお進みください。

6 「ソフトウェア更新」をクリックする

ポップアップ画面が表示されるので注意事項を確認してください。

7 「OK」をクリックする

新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

ダウンロード中はブラウザを閉じたり、ページを更新しないでください。

ダウンロードが完了すると引き続きアップデートが行われます。

アップデート中もブラウザを閉じたり、ページを更新しないでください。

アップデートが完了すると「アップデートに成功しました」と表示された後、WebUI ログイン画面が表示されます。

！ ご注意

- ソフトウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ソフトウェア更新失敗」と表示されたら、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

10-2 故障とお考えになる前に

本書を参照して設定を行っても、インターネット接続ができない場合など、お困りのときは、以下の項目をご確認ください。

症状	原因と対策
充電できない	● 充電用機器（別売）は指定のものをお使いください。 ・ Type-C共通 AC アダプタ 02（0602PQA）（別売）または Type-C共通 AC アダプタ 02U（0602PQV）（別売）のご使用を推奨します。 ● 以下の状態により、充電できない場合があります。 ・ バッテリーのケアモード有効時は最大充電容量が約 80% になります。また、いったん電池残量が 60% 以下にならないと充電を開始しない場合があります。（▶ P.20） ・ 電源オンの状態で AC アダプタやドックを長時間接続状態にすると、電池保護のため徐々に電池残量を減少させて、ケアモードが有効の状態（最大充電容量 約 80%）になります。 ・ 高温時や低温時、長時間充電しても 100% 充電できないことがあります。 ● AC アダプタ（別売）またはドックとの接続をいったん外して、10 秒以上待ってから再度接続すると、充電を再開します。
電池残量が減るのが早く感じる	● 省電力機能の「ECO モード」をオフに設定すると、電池消費が早くなります。「ECO モード」をオンに変更してください。 ● 省電力機能と消費電力の関係は次の通りです。「ECO モード」オン < 「ECO モード」オフ Wi-Fi 周波数設定と消費電力の関係は次の通りです。 2.4GHz < 5GHz（屋内 / 屋外） < 2.4G/5G 同時 ※「ECO モード」をオンにすると、「Wi-Fi 周波数」は「2.4GHz」のみ設定できます。
電源が入らない	● 電池残量がない場合は、充電してください。（▶ P.19）
電源が切れてしまった	● 電池残量がありません。充電してください。（▶ P.19） ● 下記のような使用状況により、Speed Wi-Fi 本体が高温になった場合は、自動的に電源をオフにします。 ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合 ● その場合、Speed Wi-Fi 本体の温度が下がってから電源を入れてください。
インターネットに接続できない	● サービスエリア内であることを確認してください。 ● 本製品が起動しているか確認してください。 ● 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良い場所でもう一度接続してください。 ● ディスプレイに「ST」または「+A」のアイコンが表示されないときは、WebUI を起動し、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。 ● ご契約された WiMAX 事業者から接続先情報が提供されている場合は、正しく設定されているか WebUI などでご確認ください。 ● Windows® 11 で「Wi-Fi 名非表示機能（Wi-Fi 名（SSID）の隠蔽）」（▶ P.58）がオンになっているとネットワークに接続できない場合があります。 → 本製品の「Wi-Fi 名非表示」をオフにするか、以下の手順で接続を行ってください。 ①「Windows」キーをクリックし、ポップアップリストから「Windows ツール」を選択し、「コントロールパネル」を開く ②「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「新しい接続またはネットワークのセットアップ」の順にクリックする ③「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックする ④ Wi-Fi 名（SSID）とパスワード（暗号化キー）を入力して「次へ」をクリックする その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。 ● 無線 LAN（Wi-Fi®）端末の暗号化方式が「WPA3- SAE（AES）」の場合、一部の古い機種から接続できない可能性があるため、無線 LAN（Wi-Fi®）端末の暗号化設定を「WPA2」または「WPA2/WPA3」に変更してください。

症状	原因と対策
通信がすぐ切れる、通信が安定しない	● 電波状態が良くない場合があります。電波受信レベルを確認し、電波状態の良いところに移動してください。 ● ディスプレイの 5G と 4G のアイコン表示が安定しない場合、ネットワークモード（▶ P.45）を「5G（推奨）」→「4G」に変更すると、改善する場合があります。 ● 電池残量が少ない場合は、充電してから接続し直してください。 ● 本製品とパソコンなどが、無線 LAN（Wi-Fi®）や USB ケーブル（市販品）で正しく接続されているか確認してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN（Wi-Fi®）で接続している場合は、本製品を再起動してください。 ● 周辺に複数のアクセスポイントが設置されているなど、他のネットワークからの電波干渉がある場合は、本製品の「使用チャンネル」を変更することで改善される場合があります。（▶ P.74） ● 最新のソフトウェアであることを確認してください。 確認方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」→「ソフトウェア更新」 ソフトウェアのバージョンアップ方法は、「10-1 ソフトウェアを更新する」を参照してください。（▶ P.86）
通信速度が遅く感じる	● 接続先が混雑している場合があります。時間を置いて再度試してください。 ● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth® 機能などの電波を発射する装置で電波干渉がある。 → WebUI を起動して「Wi-Fi」→「Wi-Fi 詳細設定」の「2.4GHz」または「5GHz」で「現在のチャンネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。 ● 本製品と無線 LAN（Wi-Fi®）端末が近すぎる。 → 1m 以上離してください。 ● 「ECO モード」がオンの場合は、5G 接続できません。
無線 LAN（Wi-Fi®）接続できない	● 電波状態やご利用帯域によっては、WPS を使った無線 LAN（Wi-Fi®）接続ができない場合があります。 → 手動での無線 LAN（Wi-Fi®）接続を行ってください。 ● Windows® 11 で「Wi-Fi 名非表示機能（Wi-Fi 名（SSID）の隠蔽）」（▶ P.58）がオンになっているとネットワークに接続できない場合があります。 → 本製品の「Wi-Fi 名非表示」をオフにするか、以下の手順で接続を行ってください。 ①「Windows」キーをクリックし、ポップアップリストから「Windows ツール」を選択し、「コントロールパネル」を開く ②「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「新しい接続またはネットワークのセットアップ」の順にクリックする ③「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックする ④ Wi-Fi 名（SSID）とパスワード（暗号化キー）を入力して「次へ」をクリックする その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。 ● 無線 LAN（Wi-Fi®）端末の暗号化方式が「WPA3- SAE（AES）」の場合、一部の古い機種から接続できない可能性があるため、無線 LAN（Wi-Fi®）端末の暗号化設定を「WPA2」または「WPA2/WPA3」に変更してください。

症状	原因と対策
Web ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.188.1」と入力しても WebUI が表示されない	● お使いのパソコンなどが本製品と接続されているか確認してください。(▶ P.33) ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(▶ P.24) ● 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続して WebUI を表示させる場合、ゲスト Wi-Fi 名 (SSID) に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続していると、WebUI は表示できません。その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から Wi-Fi 名 (SSID) に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続して WebUI を表示してください。 ● JavaScript が無効に設定されている。 → Web ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(▶ P.26) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。
Web ブラウザで WebUI にアクセスすると、WebUI パスワードを要求される	● WebUI パスワードは、ディスプレイで確認できます。 操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」→「デバイス情報」→「WebUI 情報」→「WebUI パスワード」
WebUI パスワードがわからない、忘れてしまった	● WebUI パスワードは、ディスプレイで確認できます。 操作方法：ホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」→「デバイス情報」→「WebUI 情報」→「WebUI パスワード」 ● 本製品を工場出荷時の状態にリセット (初期化) してください。この場合、設定した値はすべて初期設定に戻ってしまいます。(▶ P.63) ただし、WebUI の「管理」→「バックアップと復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをおすすめします。(▶ P.79) ● SIM ロックの PIN コード (▶ P.60) と WebUI パスワードを両方忘れてしまった場合、本製品のリセット (初期化) ができないため、本製品のご利用ができなくなります。お問い合わせ先 (▶ 巻末) までご連絡ください。

症状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス http://192.168.188.1 は、ハードウェアのアドレスが と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● 「OK」をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 ＜ IP アドレスの再取得 ＞ ＜ Windows[®]11 の場合 ＞ ① 「Windows」キーをクリックし、表示された一覧から「Windows ツール」→「コマンドプロンプト」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックする ③ 「ipconfig/release」と入力して「Enter」キーを押し、IP アドレスを解放する ④ 「ipconfig/renew」と入力して「Enter」キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.188.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) ＜ macOS の場合 ＞ 以下は macOS 15 の場合の例です。 ① アップルメニューの「システム設定」を開き、「ネットワーク」アイコンを選択する ② 「ネットワーク」画面で「Wi-Fi」を選択し、「詳細」をクリックする ③ 「TCP/IP」をクリックする ④ 「DHCP リースを更新」をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.188.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) ＜ iOS/iPadOS の場合 ＞ 以下は iOS 18 の場合の例です。 ① ホーム画面の「設定」アイコンをタップする ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③ チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある (i) ボタンをタップする ④ 「リースを更新」をタップする ⑤ 「リースを更新」をタップする ※ iOS/iPadOS のバージョンによっては、「リースを更新」は表示されません。
本製品のバージョンを確認したい	● 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「情報」→「デバイス情報」で「ソフトウェアバージョン」を確認します。 ● WebUI トップページ「ソフトウェアバージョン」欄で確認します。
ブラウザからの応答がなくなりました	● WebUI では、「適用」をクリックすると設定値は即時有効となりますので、「モバイルネットワーク」や「LAN」、「Wi-Fi」などの設定を変更して、「適用」をクリックすると Web ブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったん WebUI を終了させてください。(Wi-Fi 設定を変更した場合は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末との無線設定をし直して、接続を確立させてください。)
タッチパネルでディスプレイの操作ができない	● 以下の手順で一度強制的に電源オフしてから再度電源を入れてください。 ① 本製品のディスプレイに「電源オプション」と表示されるまで (約 3 秒間) 電源ボタンを長押しして、「電源オフ」をタップして強制的に電源オフする ② ディスプレイ消灯後に、再度ディスプレイに「Speed Wi-Fi DOCK 5G 01」と表示されるまで電源ボタンを長押しして電源を入れる

症状	原因と対策
ドックの LAN ランプが点灯／点滅しない	● Ethernet ケーブル（市販品）が正しく接続されているか確認してください。 ● 指定の充電用機器（別売）が接続されているか確認してください。 ● ドックに Speed Wi-Fi 本体をセットし直してください。
ドックの LAN ランプが点灯、点滅していても、データ送受信ができない	● Speed Wi-Fi 本体が自動 Wi-Fi オフまたは、電源オフの状態になっている場合、データ送受信ができません。Speed Wi-Fi 本体の電源ボタンを押して Speed Wi-Fi 本体が起動しているか、または Wi-Fi がオフになっていないか確認してください。
Speed Wi-Fi 本体をドックにセットしたときにうまく動作しない	● ドックを使用する際は、指定の充電用機器（別売）を必ず接続してください。 ● Speed Wi-Fi 本体をドックから取り外して、ホーム画面が表示されたことを確認してから、ドックにセットし直してください。
本製品を工場出荷時の状態に戻したい	● 本製品のホーム画面でメインメニューを表示し、「設定」－「工場出荷状態に戻す」をタップします。本製品をリセット（初期化）すると、すべての設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

10-3 アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理についてはご契約された WiMAX 事業者までお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づいて、無償 / 有償を判定し、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客さまが新規購入された日より 1 年間です。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- Speed Wi-Fi 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- 本製品の Speed Wi-Fi 本体およびドック以外の付属品は無償修理保証の対象外です。

補修用性能部品について

当社はこの Speed Wi-Fi DOCK 5G 01 本体およびドック（同梱）の補修用性能部品を、製造終了後 4 年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

アフターサービスについて

ご契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。

SIMカードについて

SIM カードは、ご契約された通信事業者からお客さまにお貸し出ししたのになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、ご契約された通信事業者までお問い合わせください。

10-4 周辺機器

充電するときやパソコンなどとの接続に使用可能な周辺機器は以下の通りです。

ドック（＊1、2）	CPS01PUA（別売）/ CPS01PUU（別売）
Type-C共通 AC アダプタ 02	0602PQA（別売）
Type-C共通 AC アダプタ 02U	0602PQV（別売）

別売のドックは本製品（Speed Wi-Fi DOCK 5G 01）に同梱されているドックと同じ機種です。

（＊1）本製品と別売のドックを接続するときは、ドックに同梱されている『ドック取扱説明書』を参照してください。

（＊2）本製品を別売のドックにセットして充電するときは、Type-C 共通ACアダプタ 02（0602PQA）（別売）または Type-C 共通ACアダプタ 02U（0602PQV）（別売）のご使用を推奨します。

※ 周辺機器は、au オンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。トップページから「au +1 collection・オプション品」→「UQ WiMAX 関連商品」を選択してください。
<https://onlineshop.au.com/>

※ 最新の対応周辺機器については、ご契約の通信事業者のホームページをご覧ください。

10-5 製品仕様

Wi-Fiルーター本体仕様

項目		諸元および機能		備考
WAN インタ フェース	5G/4G LTE/ WiMAX 2+	周波数範囲	5G 4G LTE WiMAX 2+	
		伝送速度 (*1)	下り最大：3.5Gbps 上り最大：286Mbps	
		アンテナ	5G/4G LTE/WiMAX 2+：送信最 大 1 × 受信最大 4 (内蔵アンテナ)	
無線 LAN (Wi-Fi®) インタ フェース	IEEE802.11ax	周波数範囲 ／チャンネル	2.4GHz 帯 Ch1 ～ 13 (*3) 5GHz 帯 W52、W53、W56 (*4)	
		伝送速度 (*2)	最大 2,400Mbps	
	IEEE802.11ac	周波数範囲 ／チャンネル	5GHz 帯 W52、W53、W56 (*4)	
		伝送速度 (*2)	最大 1,732Mbps	
	IEEE802.11n	周波数範囲 ／チャンネル	2.4GHz 帯 Ch1 ～ 13 (*3) 5GHz 帯 W52、W53、W56 (*4)	
		伝送速度 (*2)	最大 300Mbps	
	IEEE802.11a	周波数範囲 ／チャンネル	5GHz 帯 W52、W53、W56 (*4)	
		伝送速度 (*2)	最大 54Mbps	
	IEEE802.11g	周波数範囲 ／チャンネル	2.4GHz 帯 Ch1 ～ 13 (*3)	
		伝送速度 (*2)	最大 54Mbps	
	IEEE802.11b	周波数範囲 ／チャンネル	2.4GHz 帯 Ch1 ～ 13 (*3)	
		伝送速度 (*2)	最大 11Mbps	
	アンテナ		送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)	
	セキュリティ		なし (オープン)、WPA2-PSK (AES)、 WPA-PSK/WPA2-PSK TKIP/AES)、WPA3- SAE (AES)、WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)	
最大同時接続数 (*5)		Wi-Fi®： ・2.4GHz のみ利用の場合：20 台 ・5GHz のみ利用の場合：28 台 ・2.4GHz と 5GHz を同時利用している場合： 20 台 (2.4GHz) + 28 台 (5GHz) USB：1 台		
外部インタ フェース	USB ポート	USB 3.1 Type-C コネクタ × 1	USB 2.0 以上推 奨 (*6)	
	ドックポート	USB 3.1 Type-C コネクタ×1		
	SIM カードス ロット	Nano SIM		
連続通信 時間 (*1) (*7)	初期設定時	約 540 分		
連続待受 時間 (*7) (日本国内 使用时)	初期設定時	約 880 時間		
ヒューマ ンインタ フェース	ディスプレイ	約 2.4 インチ TFT LCD タッチパネル		
	ボタン	電源ボタン× 1 RESET ボタン (穴) × 1		

項目	諸元および機能	備考
外形寸法	約 140 (W) × 72 (H) × 15.4 (D) mm	
内蔵電池	リチウムイオン電池、 公称電圧 3.85V/ 定格容量 5,400mAh	
電源	5V DC 3A/7V DC 3A/9V DC 3A/ 12V DC 2.25A	
消費電力	最大約 10W	本体のみ
質量	約 198 g	
動作環境	温度 5 ～ 35℃、 湿度 35 ～ 85%	結露しないこと
充電時間	約 140 分	Type-C 共通AC アダプタ 02 (0602PQA) (別売) 使用時
その他	中国製	

- (*1)：表記の通信速度は試験環境での最大通信速度となります。通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などに応じて変化します。
- (*2)：表記の通信速度はシステム上の最大通信速度となります。通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などに応じて変化します。
- (*3)：オートチャンネルセレクト時：2.4GHz は Ch1/Ch6/Ch11
- (*4)：[W52] 5.2GHz 帯 (5170 ～ 5250MHz)
Ch36/38/40/42/44/46/48/50 ※屋内限定
[W53] 5.3GHz 帯 (5250 ～ 5330MHz)
Ch52/54/56/58/60/62/64 ※屋内限定
[W56] 5.6GHz 帯 (5490 ～ 5730MHz)
Ch100/102/104/106/108/110/112/114/116/
118/120/122/124/126/128/132/134/136/138/
140/142/144
- (*5)：USB 接続または有線 LAN 接続と無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 49 台まで接続できます。接続台数、通信環境、ネットワークの混雑状況などの要因によって、通信速度が低下する場合があります。
- (*6)：USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 以上でのご使用をおすすめします。なお、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
- (*7)：お使いの通信ネットワークにより、連続待受時間・連続通信時間は変わります。

ドック仕様

項目		諸元および機能	備考
Ethernet ポート (*1)	物理インタ フェース	8 ピンモジュラージャック (RJ-45) ×1 ポート	最大接続数： 1 台
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX	
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps	
	全二重／半二重	全二重／半二重	
充電用機 器接続 ポート	物理インタ フェース	USB コネクタ (Type-C) (レセプタクル) × 1 ポート	USB 通信はで きません。
ドックポート (Speed Wi-Fi 本体とのイン タフェース)		USB コネクタ (Type-C) (プラグ) × 1 ポート	
状態表示 ランプ	POWER	電源通電時点灯	
	LAN	有線 LAN の通信状態表示	
電源		5V DC 3A	
外形寸法		約 160 (W) X54 (H) X52 (D) mm	
質量		約 132g	

- (*1)：HUB などの機器を経由した接続では正常に動作しない場合があります。HUB などを利用した接続の動作は保証いたしません。
- ※Wi-Fiルーター本体の電源オン時にドックで充電する場合は、消費電力が大きいので、Type-C 共通 AC アダプタ 02 (0602PQA) (別売) または Type-C 共通 AC アダプタ 02U (0602PQV) (別売) をご使用ください。

10-6 データ通信端末の比吸収率（SAR）について

この機種 Speed Wi-Fi DOCK 5G 01は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※ 1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合の SAR の最大値は 1.926W/kg（※ 2）です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされるいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ：

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

○C P S p e e d 株式会社のホームページ：

https://www.cpspeed.co.jp/s_products/cps01/

○UQ コミュニケーションズのホームページ：

https://www.uqwimax.jp/signup/body_s/

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

※ 2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

10-7 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。

詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

10-8 知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、Macintosh、Mac OS、macOS、OS X、iPadOS、AirMac、iPad、iPhone、iPod、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。
- Google、Android、Google Chrome、Google Play は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi CERTIFIED[®]、WPA[™]、WPA2[™]、WPA3[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C は、USB Implementers Forum の商標です。
- その他本文中に記載されている会社名、商品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

© CPSPeed CO.,LTD. 2025

CPSPeed 株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

10-9 索引

記号

+A..... 14、15、45

数字

2.4GHz 帯..... 11、15、47、74、93
 5GHz 帯..... 11、15、32、47、74、93
 5GHz 帯利用のご注意 11
 5G SA 45、72

A

AC アダプタ 19、92、93
 AES 58、74、75、93
 APN..... 44、71、84

D

DHCP 73
 DHCP サーバー 73
 DHCP 手動割当 73
 DMZ 設定 77

E

ECO モード 15、52、54、78
 Ethernet ポート 17、93

I

IEEE802.11a..... 93
 IEEE802.11ac 93
 IEEE802.11ax 93
 IEEE802.11b..... 93
 IEEE802.11g 93
 IEEE802.11n..... 93
 IP フィルタ 56、76

J

JavaScript 26

L

LAN..... 73
 Language..... 49、56、67、69
 LAN ランプ 17
 LTE..... 14

M

MAC フィルタ..... 59、76

N

NAPT 59

P

PIN コード..... 12
 PMF..... 75
 POWER ランプ 17
 PUK コード 12、84

Q

QR コード 33、35、36

R

RESET ボタン (穴)..... 15、65

S

SIM カード 3、10、18、60、84、91
 SIM カードスロット 93
 SIM トレイ 15、18
 SIM ロック 60、72、84
 Speed Wi-Fi DOCK 5G Tool 35、36、48
 SSID..... 32、33、58、61、74、75
 ST 14、15、45

T

TKIP 58、74、93

U

USB ケーブル 2、14、15、41
 USB テザリング 41、78
 USB で接続する 24、41
 USB ポート 15、41、93

W

WAN 側回線 15、44、45、48、71
 WebUI..... 23、67
 WebUI 情報 23
 WebUI パスワード 23、61、68、79
 WebUI パスワードの変更 61、79
 Web ブラウザの設定 24、25
 Wi-Fi 74
 Wi-Fi MAC フィルタ 75
 Wi-Fi 基本設定 74
 Wi-Fi 周波数 47
 Wi-Fi 詳細設定 74
 Wi-Fi 情報 33、68
 Wi-Fi 設定お引越し 34、51
 Wi-Fi 名 (SSID) 32、33、74、75
 Wi-Fi 名非表示 58、74
 WiMAX 2+ 14
 WPS..... 31、34、37、38、51

あ

明るさ 52
 アクセスポイントモード 14、42
 アドバンスド NAT (NAPT) 59
 アフターサービス 91
 アプリ設定メニュー 49
 暗号化 58、74、75
 暗号化キー 31、33、61
 安全上のご注意 6
 お知らせ機能 50

か

外部インタフェース 93
 各種機能の詳細設定 70
 各部の名称と機能 15
 管理 78
 機内モード 78
 基本的な操作 29

ケアモード	15、20
ゲスト Wi-Fi	32、33、75
工場出荷状態に戻す	63、64、83
高速起動	80
国際ローミング	72、82、84
故障とお考えになる前に	88

さ

再起動	21、80
材質一覧	9
自動 Wi-Fi オフ	53、78
自動オフ時間設定	54、78
自動電源オフ	53、78
充電時間	20、93
充電する	19
周波数設定	74
周辺機器	92
詳細設定	68、70
省電力機能	52、53、54
省電力設定	78
商標	96
情報表示	48
使用量表示	15
初期化	64、65、82
初期パスワード	61
スタンダードモード	14、15、45、71
ステータスアイコン	15
スマートフォンアプリ	35、36、48
製品仕様	93
セキュリティ	76
セキュリティ機能	58
セキュリティロック	21、22、79
接続状態	15
接続する	31、33、35、36、37、38、40、41、42
接続設定	25、44、71
接続台数	14、31
接続端末の準備	24
設定メッセージ表示	16
ソフトウェア更新	80、84、86、87

た

タッチパネルの使いかた	28
知的財産権	96
注意事項	6
通信モード	14、45、48、71
通知使用量	55、78
通知設定	55、78
ディスプレイ自動オフ	16、52
ディスプレイ表示	15
ディスプレイメニュー	33、82
データ使用量	15、48、55、78、84
電源オプション	21
電源ボタン	15、21
電源を入れる／切る	21
電池残量	15、20、48、50、67
電池状態	15
電波受信レベル	15、45
同梱品一覧	2
ドック	2、14、15、17、19、42、92、93
ドックポート	17、93
取り扱い上のご注意	9
取扱説明書について	2

な

内蔵電池	10、19、93
認証情報	23
ネットワーク設定	72
ネットワークモード	45、72

は

バージョンアップ	86、87
パスワード	31、32、33、58、61、74、75、79
パソコンのネットワークの確認	24
バックアップと復元	79
比吸収率 (SAR)	94
ヒューマンインタフェース	93
表示最大使用量	55、78
ファイアウォール	24
不正アクセス検出機能	59
プライバシーセパレーター機能	59、75
プラスエリアモード	14、15、45、71
ブリッジモード	15、56、77
プロファイル管理	44、71
便利な機能	46、56
ポートマッピング	56、77
ホーム画面	15、28
本製品のご利用について	6
本製品の使いかた	14

ま

マニュアル	48、67、69
無線 LAN (Wi-Fi) 帯域	15
無線 LAN (Wi-Fi) で接続する	14、31
メッセージ	15、50、84
目次	4
モバイル接続	71
モバイルネットワーク	71

や

輸出管理規制	95
--------	----

ら

リセット	63、65
リチウムイオン電池	10、93
ログイン	67、68

お客さま各位

このたびは、Speed Wi-Fi DOCK 5G 01 をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

Speed Wi-Fi DOCK 5G 01『取扱説明書 詳細版』の記載内容に誤りがありましたので、以下の内容を変更させていただきます。

《1.2 版》

■ プロファイルを新規作成する場合 (P.71)

2 各項目を設定する

変更前：

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
APN	APN（接続先情報）は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	英文字（a～z、A～Z）、 数字（0～9）、 記号（.-） 長さ：最大 63 文字	—
ユーザー名	ユーザー名は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	英文字（a～z、A～Z）、 数字（0～9）、 記号（.-/@） 長さ：最大 63 文字	—

変更後：

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
APN	APN（接続先情報）は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	英文字（a～z）、 数字（0～9）、 記号（.-） 長さ：最大 63 文字	—
ユーザー名	ユーザー名は、ご契約の WiMAX 事業者より提供される情報を入力します。	英文字（a～z）、 数字（0～9）、 記号（.-/@） 長さ：最大 63 文字	—

《1.1 版》

■ 「5GHz 帯と 2.4GHz 帯を同時利用する」のご注意 (P.47)

変更前：

-  **ご注意**
- 「ECO モード」をオンにすると、Wi-Fi 周波数は「5GHz」がオフになり、「2.4GHz」のみがオンになります。
 - 動作モードが「ブリッジモード」の場合、「Wi-Fi 周波数」を設定することはできません。

変更後：

-  **ご注意**
- 「ECO モード」をオンにすると、Wi-Fi 周波数は「5GHz」がオフになり、「2.4GHz」のみがオンになります。
 - 動作モードが「ブリッジモード」の場合、WebUI で「Wi-Fi 周波数」を設定することはできません。WebUI で「Wi-Fi 周波数」の設定を変更する場合は、「ブリッジモード」をオフにしてから操作してください。

お問い合わせ先

ご契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。

<UQ WiMAXをご契約の場合>

【Webチャットによるお問い合わせ】

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！
AIが24時間素早く回答、コミュニケーターが詳しくお応えします。
<https://www.uqwimax.jp/chat/>



<UQ WiMAX以外のWiMAX事業者をご契約の場合>

事業者一覧はこちら

<https://www.uqwimax.jp/wimax/shoplist/mvno/>



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発煙・発火等
の原因となり大変危険です。



モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客さまが
不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブラ
ンド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、
リサイクルを行っています。